

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

GFX 100sII

FF230002

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記ウェブサイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



章目次

メニュー一覧	iv
1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	37
3 基本的な撮影と再生	57
4 動画の撮影と再生	65
5 撮影に関する設定	73
6 撮影メニュー	123
7 画像の再生と再生メニュー	211
8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー	239
9 セットアップメニュー	303
10 ショートカット機能	347
11 オプション品・外部機器の使い方	365
12 資料	381

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

静止画撮影や動画撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (📖 123)。

静止画撮影メニュー

 と  の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

📖	画質設定	📖
1/4	画像サイズ	124
	画質モード	125
	RAW 記録方式	126
	JPEG/HEIF 選択	127
	フィルム シミュレーション	128
	モノクローム カラー	130
	グレイン・エフェクト	130
	カラークローム・エフェクト	131
2/4	カラークローム ブルー	131
	スムーズスキン・エフェクト	131
	ダイナミックレンジ	132
	D レンジ優先	133
	ホワイトバランス	134
	トーンカーブ	138
	カラー	138
	シャープネス	138

📖	画質設定	📖
3/4	高感度ノイズ低減	138
	明瞭度	139
	長秒時ノイズ低減	139
	点像復元処理	139
	色空間	139
	  ピクセルマッピング	140
	 カスタム登録 / 編集	140
カスタム登録内容の自動更新	140	
4/4	  マウントアダプター設定	141

AF MF フォーカス設定		
1/3	フォーカスエリア選択	144
	AF モード	144
	ゾーンカスタム設定	144
	AF モードオール設定	144
	AF-C カスタム設定	145
	縦 / 横位置 AF モード切替	148
	AF ポイント表示  	149
	  フォーカスポイント循環	149
2/3	フォーカス点数切り替え	149
	プリ AF	150
	AF 補助光	150
	 顔検出 / 瞳 AF 設定	151
	被写体検出 AF 設定	153
	AF+MF	155
	MF アシスト	156
	MF アシストフォーカスリング連動	156
3/3	フォーカスチェック	157
	測光&フォーカスエリア連動	157
	  ワンプッシュ AF 時の動作	157
	  被写界深度スケール	158
	レリーズ優先 / フォーカス優先	158
	  フォーカスリミッター	159
	タッチパネルモード	160

撮影設定		
1/3	セルフタイマー	162
	セルフタイマー設定保持	163
	セルフタイマーランプ	163
	インターバルタイマー撮影	164
	1/3 インターバルタイマー撮影露出平準化	166
	インターバルタイマー撮影間隔優先	166
	AE ブラケットング設定	167
	フィルムシミュレーション BKT	167
	フォーカス BKT 設定	167
	測光	167
2/3	シャッター方式	168
	フリッカー低減	169
	フリッカーレス S.S. 設定	169
	感度	169
	プレ防止モード	170
	35mm フォーマットモード	170
3/3   ワイヤレス通信	171	
フラッシュ設定		
フラッシュ機能設定	172	
赤目補正	172	
TTL-LOCK モード	173	
LED ライト設定	173	
コマンダー設定	174	
CH 設定	174	

動画撮影メニュー



📷 と 🎥 の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

📷 動画設定		📖
1 ³	動画設定一覧	175
	動画モード	176
	🎥 セルフタイマー	177
	メディア記録設定	178
	HDMI 出力設定	181
	動画クロップ倍率固定モード	182
	F-Log/HLG 撮影	183
	データレベル設定	185
2 ³	🎥 測光	185
	🎥 フリッカーレス S.S. 設定	185
	🎥 ブレ防止モード	186
	🎥 ブレ防止モードブースト	186
	🎥 感度	187
	ゼブラ設定	187
	ゼブラレベル	187
3 ³	ウェーブフォーム / ベクトルスコープ	188
	動画専用操作モード 📷 🎥	189
	🎥 REC 枠表示	189
	タリーランプ	190
	🎥 カスタム登録 / 編集	191
	🎥 カスタム登録内容の自動更新	191
	📷 🎥 ワイヤレス通信	191

📷 画質設定		📖
1 ²	🎥 フィルム シミュレーション	192
	🎥 モノクローム カラー	192
	🎥 ダイナミックレンジ	193
	🎥 ホワイトバランス	193
	🎥 トーンカーブ	193
	🎥 カラー	193
	🎥 シャープネス	194
	🎥 高感度ノイズ低減	194
2 ²	フレーム間ノイズリダクション	194
	📷 🎥 ピクセルマッピング	194
	🎥 周辺光量補正	195
	📷 🎥 マウントアダプター設定	195

AF MF フォーカス設定 	
1/2	フォーカスエリア選択 196
	AF モード 196
	AF-C カスタム設定 197
	フォーカスポイント循環 197
	顔検出 / 瞳 AF 設定 198
	被写体検出 AF 設定 198
	AF+MF 199
	MF アシスト 199
2/2	MF アシストフォーカス リング連動 199
	フォーカスチェック 200
	ワンプッシュ AF 時の動作 200
	被写界深度スケール 200
	フォーカスリミッター 200
	タッチパネルモード 201
	フォーカスチェックロック 202
オーディオ設定 	
内蔵マイクレベル設定 203	
外部マイクレベル設定 203	
マイク端子設定 204	
マイクレベルリミッター 204	
風音低減 204	
ローカットフィルター 205	
ヘッドホン音量 205	
XLR マイクアダプター設定 206	
TC タイムコード設定 	
タイムコード表示 207	
開始時間設定 207	
カウントアップ設定 208	
ドロップフレーム 208	
HDMI タイムコード出力 209	
タイムコード同期設定 209	

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 218)。

再生メニュー		📖
1/3	スロット切り替え	218
	RAW 現像	219
	HEIF を JPEG/TIFF に変換	221
	消去	222
	同時消去	224
	トリミング	224
	リサイズ	225
プロテクト	226	

再生メニュー		📖
2/3	画像回転	227
	ボイスメモ設定	228
	レーティング	229
	画像コピー	230
	スマートフォンに画像転送	231
	 ワイヤレス通信	233
3/3	フォトブックアシスト	234
	プリント予約 (DPOF)	236
	instax プリンタープリント	237
表示比率	238	

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (P.303)。

基本設定		目次	音設定		目次
1/2	フォーマット	304	1/2	AF 合焦音量	311
	🏠 エリア設定	305		セルフタイマー音量	311
	日時設定	305		操作音量	312
	世界時計	306		🎧 REC 開始終了音量	312
	🗣️ 言語/LANG.	307		MSEF 電子シャッター音量	312
	📷 マイメニュー設定	307		MSEF 電子シャッター音	313
	🎧 マイメニュー設定	307		ES 電子シャッター音量	313
	センサークリーニング	308		ES 電子シャッター音	313
	バッテリー劣化度	308		2/2	再生音量
2/2	ファームウェアアップデート	309	4ch 音声再生		314
リセット	309				
	認証	310			

表示設定		目録
1/4	VIEW MODE 設定	315
	EVF 明るさ	315
	EVF 鮮やかさ	315
	EVF 色調整	316
	LCD 明るさ	317
	LCD 鮮やかさ	317
	LCD 色調整	317
	撮影画像表示	318
2/4	縦横自動回転表示	318
	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	319
	ナチュラルライブビュー	319
	F-Log ビューアシスト	320
	電子水準器設定	320
	フレーミングガイド	320
	縦横自動回転再生	321
	再生時拡大倍率	321
3/4	距離指標の単位	321
	2 画面モード表示設定	322
	画面のカスタマイズ	322
	情報表示拡大モード (EVF)	323
	情報表示拡大モード (LCD)	324
	情報表示拡大 表示設定	325
	情報表示コントラスト調整	325
位置情報表示	326	

表示設定		目録
4/4	サブ液晶モニター設定	326
	サブ液晶モニター背景色	329
	📷 クイックメニュー背景設定	329
	📱 クイックメニュー背景設定	329

操作ボタン・ダイヤル設定 	
1 ^{/3}	フォーカスレバー設定 330
	 クイックメニュー登録 / 編集 330
	 クイックメニュー登録 / 編集 330
	ファンクション (Fn) 設定 331
	コマンドダイヤル設定 331
	 S.S. 操作設定 332
	コマンドダイヤル回転方向 332
	半押し AF 332
2 ^{/3}	半押し AE 333
	レンズなしレリーズ 333
	カードなしレリーズ 333
	フォーカスリング 334
	フォーカスリング操作 334
	AE/AF-LOCK 設定 334
	AWB-LOCK 設定 335
	露出補正ボタン設定 335
3 ^{/3}	 Fn1 ボタン設定 336
	タッチパネル設定 337
	ロック 338

消費電力設定 	
	自動電源 OFF 339
	パフォーマンス 340
	撮影スタンバイモード 341
	オートパワーセーブ 341
	自動電源 OFF 温度 341

保存設定 	
1 ^{/2}	コマ NO. 342
	ファイル名編集 343
	 カードスロット設定 343
	スロット選択 ( 順次記録時) 343
	フォルダ選択 344
	著作権情報 344
	デフォルトキャプション 345
	IPTC 345
2 ^{/2}	位置情報記録 346

ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク接続や USB 接続の設定を変更するメニューです。

 詳細はネットワーク /USB 設定メニューをご覧ください (📖 284)。

 ネットワーク /USB 設定	
接続セット登録 / 編集	284
接続セット選択	289
機内モード	290
Bluetooth/ スマートフォン 設定	291
1/2 instax プリンター接続設定	295
Frame.io Camera to Cloud	295
FTP オプション設定	298
USB 給電 / 通信設定	300
情報表示	301
2/2 ネットワーク /USB 設定 初期化	301



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	viii
セットアップメニュー	ix
ネットワーク / USB 設定メニュー	xii
付属品一覧	xxvii
本書について	xxviii
本書で使われている記号について	xxviii
画面のイラストや写真について	xxviii
表記について	xxviii

1 このカメラの概要

1

カメラの各部名称と機能	2
銘板プレート	6
メモリーカードスロットカバー（着脱可）	6
フォーカスレバー	6
モードダイヤル	7
静止画 / 動画切替スイッチ	8
DRIVE ボタン	8
コマンドダイヤル	9
インジケーターランプ	10
液晶モニター	11
アイカップ	12
視度調節ダイヤル	13
撮影時の表示画面	14
EVF の表示画面	14
LCD の表示画面	16
EVF と LCD の切り替え	18
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	20
縦表示について	20
情報表示の切り替え	20
2 画面について	22
画面の表示について	23

電子水準器について	25
サブ液晶モニター	26
メニューの使い方	29
メニュー画面について	29
メニュータブへの移動	30
タッチ操作について	31
撮影時のタッチ操作について	31
再生時のタッチ操作について	35

2 撮影の準備 37

ストラップを取り付ける	38
レンズを取り付ける	39
バッテリーを入れる	41
メモリーカードを入れる	43
2枚のメモリーカードを使用する場合	45
使用可能なメモリーカード	46
メモリーカードの代わりに外付け SSD を使用する	47
バッテリーを充電する	48
電源をオンにする / オフにする	52
バッテリー残量の表示	53
初期設定を行う	54
言語を変更する	56
日時を変更する	56

3 基本的な撮影と再生 57

プログラムで静止画を撮影する	58
静止画を再生する	61
HDMI 出力	62
画像を消去する	64

4 動画の撮影と再生 65

動画を撮影する	66
動画の設定について	70
動画を再生する	71

5	撮影に関する設定	73
	P、S、A、Mで撮影する.....	74
	プログラム (P) 撮影.....	74
	シャッタースピード優先 (S) 撮影.....	76
	絞り優先 (A) 撮影.....	78
	マニュアル (M) 撮影.....	80
	カスタムモード.....	84
	オートフォーカス撮影.....	90
	フォーカスモード.....	91
	AFモードの選択.....	93
	フォーカスエリアの変更.....	95
	マニュアルフォーカス撮影.....	99
	ピントの確認方法.....	101
	ISO感度を変更.....	104
	AUTO設定について.....	105
	測光モードを変更.....	106
	露出補正.....	107
	AE/AFロック撮影.....	108
	ボタンによるAE/AFロック.....	109
	ブラケティング撮影.....	110
	ISO ISOブラケティング.....	111
	WB ホワイトバランス BKT.....	111
	BKTブラケティング.....	112
	連続撮影 (連写).....	115
	多重露出撮影.....	117
	ピクセルシフトマルチショット.....	119
6	撮影メニュー	123
	画質設定 (静止画).....	124
	画像サイズ.....	124
	画質モード.....	125
	RAW記録方式.....	126
	JPEG/HEIF選択.....	127
	フィルムシミュレーション.....	128
	モノクロームカラー.....	130
	グレイン・エフェクト.....	130

カラークローム・エフェクト.....	131
カラークローム ブルー.....	131
スムーススキン・エフェクト.....	131
ダイナミックレンジ.....	132
D レンジ優先.....	133
ホワイトバランス.....	134
トーンカーブ.....	138
カラー.....	138
シャープネス.....	138
高感度ノイズ低減.....	138
明瞭度.....	139
長秒時ノイズ低減.....	139
点像復元処理.....	139
色空間.....	139
  ピクセルマッピング.....	140
 カスタム登録 / 編集.....	140
カスタム登録内容の自動更新.....	140
  マウントアダプター設定.....	141
フォーカス設定 (静止画).....	144
フォーカスエリア選択.....	144
AF モード.....	144
ゾーンカスタム設定.....	144
AF モードオール設定.....	144
AF-C カスタム設定.....	145
縦 / 横位置 AF モード切替.....	148
AF ポイント表示  	149
  フォーカスポイント循環.....	149
フォーカス点数切り替え.....	149
プリ AF.....	150
AF 補助光.....	150
 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	151
被写体検出 AF 設定.....	153
AF+MF.....	155
MF アシスト.....	156
MF アシストフォーカスリング連動.....	156
フォーカスチェック.....	157

測光 & フォーカスエリア連動.....	157
  ワンプッシュ AF 時の動作.....	157
  被写界深度スケール	158
レリーズ優先 / フォーカス優先	158
  フォーカスリミッター	159
タッチパネルモード	160
撮影設定 (静止画).....	162
セルフタイマー.....	162
セルフタイマー設定保持	163
セルフタイマーランプ	163
インターバルタイマー撮影.....	164
インターバルタイマー撮影露出平準化.....	166
インターバルタイマー撮影間隔優先	166
AE ブラケティング設定.....	167
フィルムシミュレーション BKT.....	167
フォーカス BKT 設定.....	167
測光.....	167
シャッター方式.....	168
フリッカー低減.....	169
フリッカーレス S.S. 設定.....	169
感度.....	169
ブレ防止モード.....	170
35mm フォーマットモード.....	170
  ワイヤレス通信.....	171
フラッシュ設定 (静止画).....	172
フラッシュ機能設定.....	172
赤目補正.....	172
TTL-LOCK モード.....	173
LED ライト 設定.....	173
コマンダー 設定.....	174
CH 設定	174
動画設定 (動画).....	175
動画設定一覧	175
動画モード.....	176
 セルフタイマー	177
メディア記録設定.....	178

HDMI 出力設定.....	181
動画クロップ倍率固定モード.....	182
F-Log/HLG 撮影.....	183
データレベル設定.....	185
 測光.....	185
 フリッカーレス S.S. 設定.....	185
 ブレ防止モード.....	186
 ブレ防止モードブースト.....	186
 感度.....	187
ゼブラ設定.....	187
ゼブラレベル.....	187
ウェーブフォーム / ベクトルスコープ.....	188
動画専用操作モード 	189
 REC 枠表示.....	189
タリーランプ.....	190
 カスタム登録 / 編集.....	191
 カスタム登録内容の自動更新.....	191
  ワイヤレス通信.....	191
画質設定 (動画).....	192
 フィルム シミュレーション.....	192
 モノクローム カラー.....	192
 ダイナミックレンジ.....	193
 ホワイトバランス.....	193
 トーンカーブ.....	193
 カラー.....	193
 シャープネス.....	194
 高感度ノイズ低減.....	194
フレーム間ノイズリダクション.....	194
  ピクセルマッピング.....	194
 周辺光量補正.....	195
  マウントアダプター設定.....	195
フォーカス設定 (動画).....	196
 フォーカスエリア選択.....	196
 AF モード.....	196
 AF-C カスタム設定.....	197
  フォーカスポイント循環.....	197

 顔検出 / 瞳 AF 設定	198
 被写体検出 AF 設定	198
 AF+MF	199
 MF アシスト	199
 MF アシストフォーカスリング連動	199
 フォーカスチェック	200
  ワンプッシュ AF 時の動作	200
  被写界深度スケール	200
  フォーカスリミッター	200
 タッチパネルモード	201
フォーカスチェックロック	202
オーディオ設定 (動画)	203
内蔵マイクレベル設定	203
外部マイクレベル設定	203
マイク端子設定	204
マイクレベルリミッター	204
風音低減	204
ローカットフィルター	205
ヘッドホン音量	205
XLR マイクアダプター設定	206
タイムコード設定 (動画)	207
タイムコード表示	207
開始時間設定	207
カウントアップ設定	208
ドロップフレーム	208
HDMI タイムコード出力	209
タイムコード同期設定	209

7 画像の再生と再生メニュー

211

再生時の表示画面	212
情報表示の切り替え	214
再生方法	216
再生ズーム	217
マルチ再生	217

再生メニュー	218
スロット切り替え	218
RAW 現像	219
HEIF を JPEG/TIFF に変換	221
消去	222
同時消去	224
トリミング	224
リサイズ	225
プロテクト	226
画像回転	227
ボイスメモ設定	228
レーティング	229
画像コピー	230
スマートフォンに画像転送	231
📶 ワイヤレス通信	233
フォトブックアシスト	234
プリント予約 (DPOF)	236
instax プリンタープリント	237
表示比率	238

8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー 239

ネットワーク /USB 機能の概要	240
このカメラでできること	240
接続セットについて	244
スマートフォンアプリケーションを使用する	245
スマートフォンにアプリケーションをインストールする	245
カメラとスマートフォンを接続する	245
スマートフォンアプリケーションを使用する	247
USB カードリーダーとして使用する	250
スマートフォンに画像を転送する	250
パーソナルコンピューターに画像を転送する	253

ウェブカメラとして使用する.....	255
instax プリントする.....	256
プリンターとの接続を設定する.....	256
画像をプリントする.....	257
テザー撮影をする.....	258
USB 接続でテザー撮影をする.....	258
無線 LAN 接続でテザー撮影をする.....	260
Frame.io にファイル転送する.....	265
無線 LAN で接続する.....	265
Frame.io へファイルを転送する.....	269
FTP サーバーへファイル転送する.....	272
FTP サーバーと接続する.....	272
FTP サーバーとの接続設定.....	276
FTP サーバーへ画像を転送する.....	279
RAW 現像する.....	282
設定の保存や読み込みをする.....	283
パーソナルコンピュータで設定の保存や読み込みをする.....	283
ネットワーク /USB 設定メニュー.....	284
接続セット登録 / 編集.....	284
接続セット選択.....	289
機内モード.....	290
Bluetooth/ スマートフォン設定.....	291
instax プリンター接続設定.....	295
Frame.io Camera to Cloud.....	295
FTP オプション設定.....	298
USB 給電 / 通信設定.....	300
情報表示.....	301
ネットワーク /USB 設定初期化.....	301

セットアップメニュー (基本設定).....	304
フォーマット.....	304
🏠 エリア設定.....	305
日時設定.....	305
世界時計.....	306
🗣️ 言語/LANG.....	307
📷 マイメニュー設定.....	307
🔗 マイメニュー設定.....	307
センサークリーニング.....	308
バッテリー劣化度.....	308
ファームウェアアップデート.....	309
リセット.....	309
認証.....	310
セットアップメニュー (音設定).....	311
AF 合焦音量.....	311
セルフタイマー音量.....	311
操作音量.....	312
🔊 REC 開始終了音量.....	312
MSEF 電子シャッター音量.....	312
MSEF 電子シャッター音.....	313
ES 電子シャッター音量.....	313
ES 電子シャッター音.....	313
再生音量.....	314
4ch 音声再生.....	314
セットアップメニュー (表示設定).....	315
VIEW MODE 設定.....	315
EVF 明るさ.....	315
EVF 鮮やかさ.....	315
EVF 色調整.....	316
LCD 明るさ.....	317
LCD 鮮やかさ.....	317
LCD 色調整.....	317
撮影画像表示.....	318
縦横自動回転表示.....	318
マニュアル時モニター露出/WB 反映.....	319

ナチュラルライブビュー	319
F-Log ビューアシスト	320
電子水準器設定	320
フレーミングガイド	320
縦横自動回転再生	321
再生時拡大倍率	321
距離指標の単位	321
2画面モード表示設定	322
画面のカスタマイズ	322
情報表示拡大モード (EVF)	323
情報表示拡大モード (LCD)	324
情報表示拡大 表示設定	325
情報表示コントラスト調整	325
位置情報表示	326
サブ液晶モニター設定	326
サブ液晶モニター背景色	329
 クイックメニュー背景設定	329
 クイックメニュー背景設定	329
セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定)	330
フォーカスレバー設定	330
 クイックメニュー登録 / 編集	330
 クイックメニュー登録 / 編集	330
ファンクション (Fn) 設定	331
コマンドダイヤル設定	331
 S.S. 操作設定	332
コマンドダイヤル回転方向	332
半押し AF	332
半押し AE	333
レンズなしレリーズ	333
カードなしレリーズ	333
フォーカスリング	334
フォーカスリング操作	334
AE/AF-LOCK 設定	334
AWB-LOCK 設定	335
露出補正ボタン設定	335

▶ Fn1 ボタン設定	336
タッチパネル設定	337
ロック	338
セットアップメニュー（消費電力設定）	339
自動電源 OFF	339
パフォーマンス	340
撮影スタンバイモード	341
オートパワーセーブ	341
自動電源 OFF 温度	341
セットアップメニュー（保存設定）	342
コマ NO.	342
ファイル名編集	343
📷 カードスロット設定	343
スロット選択 (📷 順次記録時)	343
フォルダ選択	344
著作権情報	344
デフォルトキャプション	345
IPTC	345
位置情報記録	346

10 ショートカット機能 347

ショートカット機能について	348
マイメニュー	349
マイメニュー設定	349
クイックメニュー	351
クイックメニュー画面	351
設定の確認と変更	353
クイックメニューの割り当て変更	354
ファンクション機能	357
ファンクションボタン	357
タッチファンクション	362

11 オプション品・外部機器の使い方 365

交換レンズ	366
レンズの各部名称	366
交換レンズのお手入れ	367
レンズキャップの取り外し方	367
レンズフードの取り付け方	367
絞りリング	368
T/S レンズについて	368
クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル	369
クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する	370
シンクロターミナル	371
クリップオンフラッシュ	372
コマンダー（光通信）	375
ハンドグリップ	379
ハンドグリップの取り付け方	379

12 資料 381

カメラで使えるアクセサリ	382
カメラで使えるソフトウェア・サービス	385
スマートフォン用アプリケーション	385
RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX	385
FUJIFILM RAW Converter	386
Capture One	386
FUJIFILM Tether Shooting Plug-in (Lightroom 専用)	386
FUJIFILM X Acquire	386
FUJIFILM X RAW STUDIO	387
FUJIFILM Pixel Shift Combiner	387
Frame.io Camera to Cloud	387

お取り扱いにご注意ください.....	388
お手入れについて	403
センサークリーニング	404
ファームウェアの更新	405
ファームウェアのダウンロード	405
ファームウェアの更新方法	405
トラブルシューティング /FAQ	408
電源とバッテリー	408
メニューなどの設定時	410
撮影時	411
再生時	416
接続時	417
無線通信	419
その他	420
警告表示	421
エラー表示	426
標準撮影枚数 / 記録時間	429
主な仕様	430
索引	438
ソフトウェアのお問い合わせ	445
アフターサービスについて	446

付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W235 (1 個)

 安全上の理由から、ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください (図 48)。

- AC パワーアダプター AC-5VJ (1 個)
- プラグアダプター (1 式)
- USB ケーブル (約 0.6m 1 本)
- ボディキャップ (1 個) (本体に装着)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ケーブルプロテクター (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)



- プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。
- このカメラで使用できるソフトウェアについては、図 385 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ GFX100S II の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

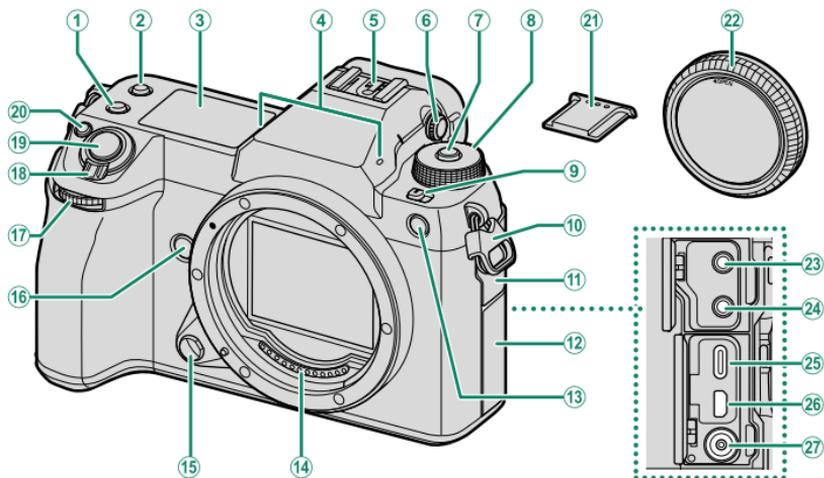
表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「**EVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。
- メニューなどのカメラの表示は**太字**で表記しています。
- 本書では、スマートフォンとタブレットを併せて「**スマートフォン**」と表記する場合があります。

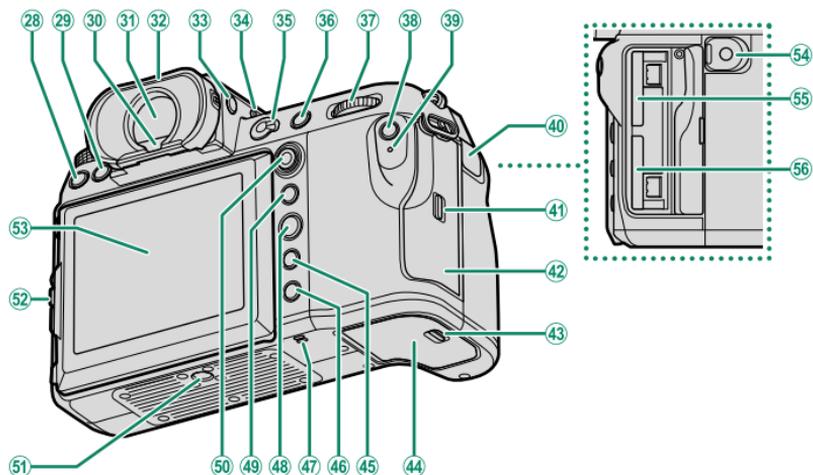
このカメラの概要



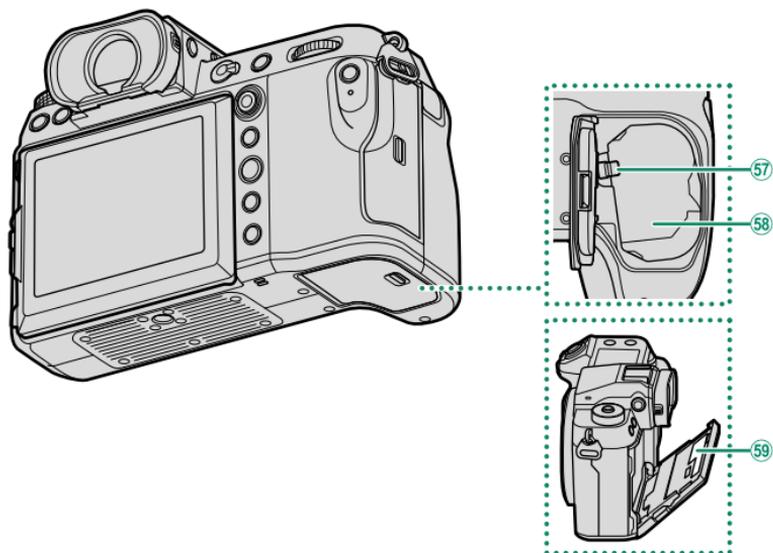
カメラの各部名称と機能



① Fn2 ボタン	357	⑭ レンズ信号接点	
② Fn3 ボタン	357	⑮ レンズ取り外しボタン	39
③ サブ液晶モニター	26	⑯ Fn4 ボタン	357
④ マイク	66、203	⑰ フロントコマンドダイヤル	9、331
⑤ ホットシュー	370	⑱ 電源レバー	52
⑥ 視度調節ダイヤル (ロック式)	13	⑲ シャッターボタン	60
⑦ ダイヤルロック解除ボタン	66、74	⑳ Fn1 ボタン	357
⑧ モードダイヤル	7	☑ (露出補正) ボタン	107
⑨ 静止画 / 動画切替スイッチ	8、66	㉑ ホットシューカバー	370
⑩ ストラップリング	38	㉒ ボディキャップ	39
⑪ 端子カバー 1		㉓ マイク端子 (Φ 3.5mm)	69
⑫ 端子カバー 2		㉔ ヘッドホン端子 (Φ 3.5mm)	205
⑬ AF 補助光ランプ	150	㉕ USB 端子 (Type-C)	48
セルフタイマーランプ	162	㉖ HDMI マイクロ端子 (Type D)	62
タリーランプ	190	㉗ シンクローターミナル	371



- | | | | | | |
|----|-------------------------|-------------|----|--------------------------------|------------|
| ②8 | DRIVE ボタン | 8 | ④3 | バッテリーカバーロック | 41 |
| ②9 | ☒ (消去) ボタン | 64 | ④4 | バッテリーカバー | 41 |
| ③0 | アイセンサー | 19 | ④5 | DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン | 20、214 |
| ③1 | ファインダー (EVF) | 14、18、20、31 | ④6 | ▶ (再生) ボタン | 61 |
| ③2 | アイカップ (ロック式) | 12 | ④7 | スピーカー | 71、314 |
| ③3 | VIEW MODE ボタン | 18 | ④8 | MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン | 29 |
| ③4 | サブ液晶モニター照明ボタン | 28 | ④9 | AEL (AE ロック) ボタン | 109、357 |
| ③5 | フォーカスモード切換レバー | 91 | ⑤0 | フォーカスレバー | 6、96、330 |
| ③6 | AFON ボタン | 109、357 | ⑤1 | 三脚用ねじ穴 | |
| ③7 | リアコマンドダイヤル | 9、216、331 | ⑤2 | チルトロック解除ボタン | 11 |
| ③8 | Q (クイックメニュー) ボタン | 351 | ⑤3 | チルト式液晶モニター (LCD) | 11、16、18 |
| ③9 | インジケータランプ | 10、190 | | タッチパネル | 31、160、201 |
| | タリーランプ | 190 | ⑤4 | リモートリリース端子 (Φ 2.5mm) | 83 |
| ④0 | リモートリリース端子カバー | 83 | ⑤5 | メモリーカードスロット 2 | 43 |
| ④1 | メモリーカードスロットカバーロック | 43 | ⑤6 | メモリーカードスロット 1 | 43 |
| ④2 | メモリーカードスロットカバー (着脱可) | 6、43 | | | |

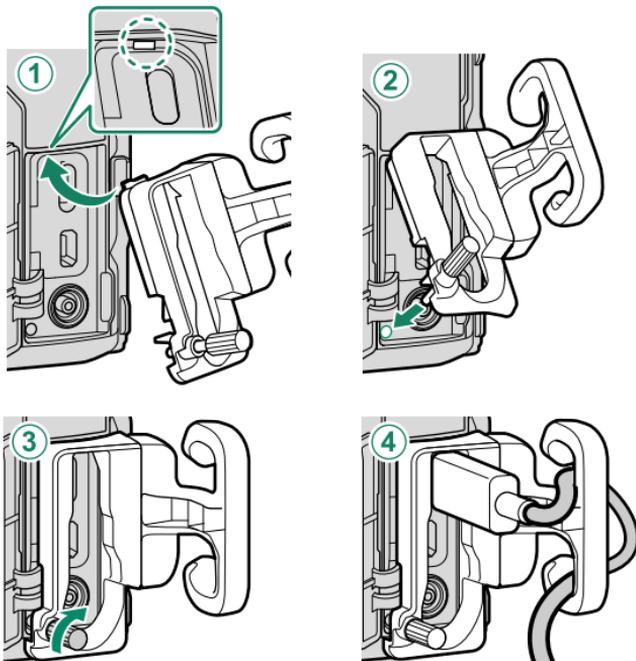


- ⑤7 バッテリー取り外しつまみ 42 ⑤9 銘板プレート 6
⑤8 バッテリー挿入部 41

ケーブルプロテクターについて

ケーブルプロテクターを使用するとケーブルが抜けることを防止できます。
ケーブルプロテクターは、図のように使用します。

- ①カメラの凹部にケーブルプロテクターの凸部を差し込みます。
- ②ケーブルプロテクターをカメラに取り付けます。
- ③ケーブルプロテクターのネジを回して固定します。
- ④ケーブルを差し込んで、図のように通します。



銘板プレート

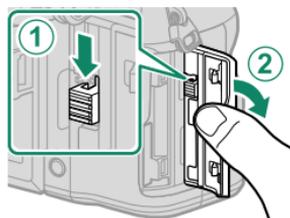
銘板プレートにはCMIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。



銘板プレート

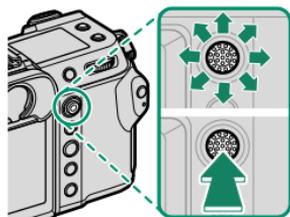
メモリーカードスロットカバー（着脱可）

メモリーカードスロットカバーは、内側にあるレバーを下げると取り外せます。カメラ用のリグを取り付けて動画撮影をするときなど、カバーの開閉が困難な場合に取り外して撮影できます。



フォーカスレバー

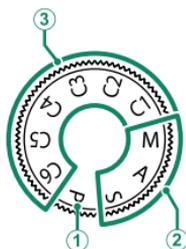
フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



- フォーカスレバーの設定は、フォーカスレバーを中央に長押しするか、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスレバー設定**で変更できます。
- フォーカス設定 > フォーカスポイント循環**で、フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

モードダイヤル

モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせて、撮影モードを設定できます。

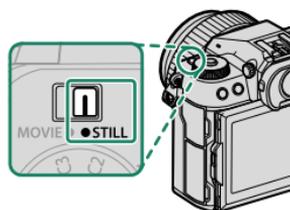


モードダイヤル	内容	
① P (プログラム)	プログラムシフトができるオートモードです。	74
② S (シャッタースピード優先) A (絞り優先) M (マニュアル)	シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます。	76 78 80
③ C1/C2/C3/C4/C5/C6 (カスタム 1/2/3/4/5/6)	あらかじめ登録しておいた設定で撮影できます。	84

! モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

静止画 / 動画切替スイッチ

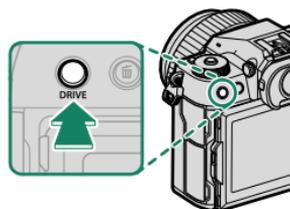
静止画を撮影するときは静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。動画を撮影するときは **MOVIE** に合わせます。



DRIVE ボタン

DRIVE ボタンを押して、撮影の設定を変更できます。静止画 / 動画切替スイッチの設定によって、表示される項目が異なります。

- 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせているときに **DRIVE** ボタンを押すと、ドライブモードを選べます。



	ドライブモード	📖
📷	1 コマ撮影	74
📷	CH 高速連写	115
📷	CL 低速連写	115
ISO	ISO ブラケティング	111
WB	ホワイトバランス BKT	111
BKT	ブラケティング	112
📷	多重露出	117

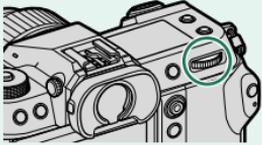
	ドライブモード	📖
📷	ピクセルシフトマルチ ショット リアルカラー	119
	ピクセルシフトマルチ ショット 高解像度 + リアルカラー	119

- 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に合わせているときに **DRIVE** ボタンを押すと、動画の設定を変更できます。

設定項目
画像サイズ
アスペクト比
フレームレート

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
 <p>回転</p>	 <ul style="list-style-type: none"> メニュータブ、ページの切り替え プログラムシフト 絞り値の変更^{*1, 2} 前後の画像を表示（再生時） 	 <ul style="list-style-type: none"> メニュー項目の選択 プログラムシフト シャッタースピードの変更^{*1, 4} 露出補正^{*1} ( (露出補正) ボタンを押しながら回転) クイックメニューの設定値を変更 フォーカスエリアのサイズ変更 画像を再生ズーム（再生時） 画像をマルチ再生（再生時）
 <p>中央押し</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絞り値、ISO 感度の切り替え^{*2}  操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定の設定切り替え（長押し） 	<ul style="list-style-type: none"> ピント位置拡大表示^{*3} マニュアルフォーカス時に MF アシストの設定切り替え（長押し）^{*3} ピント位置拡大表示（再生時）

*1  **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定**で設定を変更可能

*2 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているとき

*3 ファンクションボタンに**フォーカスチェック**が割り当てられているときのみ

*4 シャッタースピードがオート以外のとき

 コマンドダイヤルを回す方向は、 **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル回転方向**で設定できます。

インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録中、または 表示設定 > 撮影画像表示が OFF 以外のときに確認画面を表示しています（続けて撮影できます）。 電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。*
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

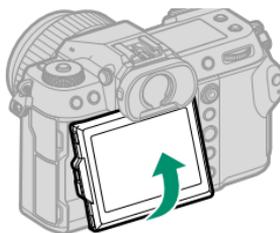
* 転送予約した画像がある場合



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーを覗いているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。
- 動画設定 > タリーランプで、動画の記録中に点灯するランプをインジケータランプから AF 補助光ランプに変えたり、点灯または点滅の設定を変更できます。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケータランプが緑色に点滅します。

液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。



 液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タッチ操作による撮影 (図 32)
- フォーカスエリアの変更 (図 31)
- タッチファンクション (図 34)
- 動画専用操作モード  (図 33)
- 再生時の画面操作 (図 35)

縦向きチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。縦位置（ローアングル/ハイアングル）撮影に便利です。

- チルトロック解除ボタンを押して、見やすい角度に調整してください (図 1)。
- 縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります (図 2)。

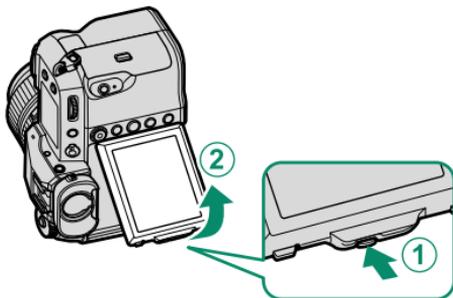


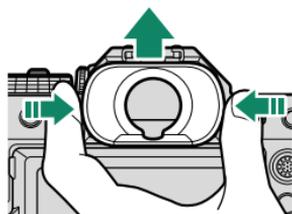
図 1



図 2

アイカップ

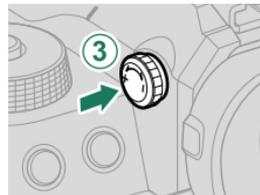
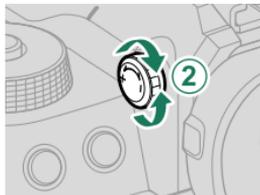
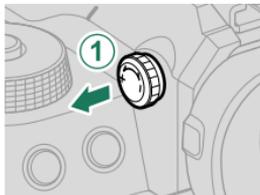
アイカップを取り外すときは、アイカップの両側にあるボタンを押しながら上に引き上げてください。



視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーを覗きながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

- ① 視度調節ダイヤルをつまんで引き出します。
- ② ダイヤルを回して視度を調節します。
- ③ 視度調節ダイヤルを押し込んでロックします。



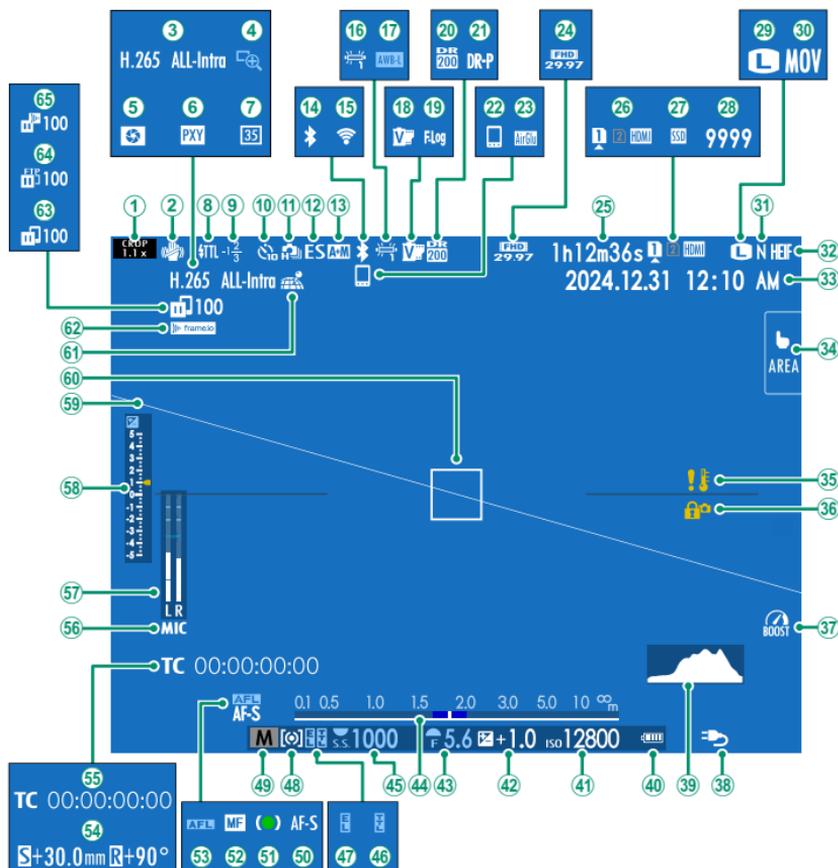
! 視度調節ダイヤルは必ず引き出してから回してください。引き出さずに回すと、故障の原因になりますのでご注意ください。

撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（EVF）/液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面



- | | |
|------------------|-------------------------|
| ① クロップ倍率.....182 | ③ 動画圧縮方式.....179 |
| ② ブレ防止*2.....170 | ④ フォーカスチェック.....102、157 |

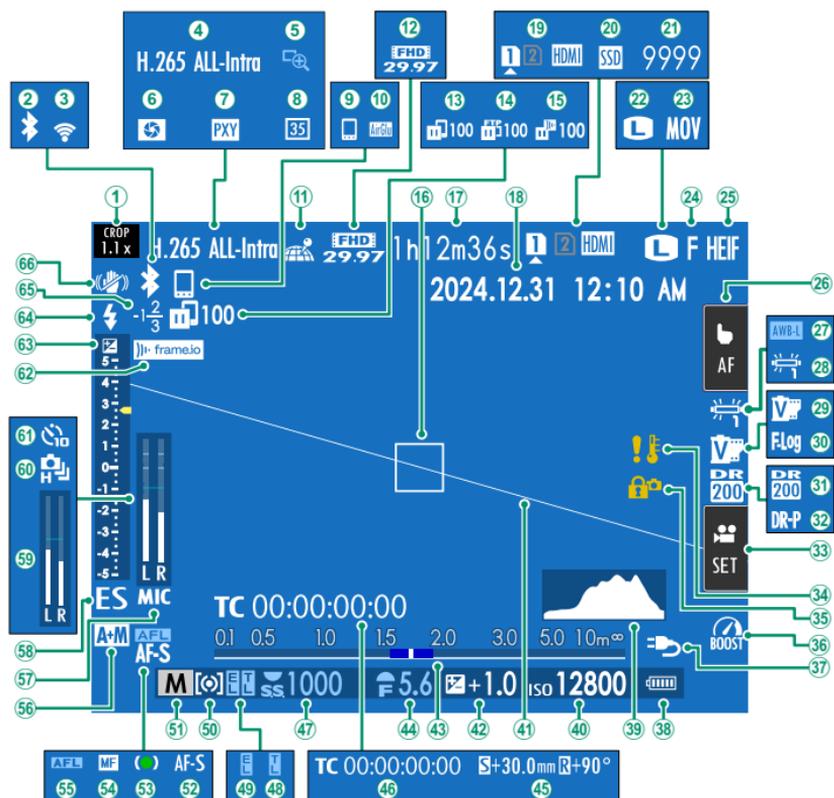
⑤ 被写界深度確認.....	79、101	③⑤ 温度警告.....	44、425
⑥ プロキシ設定 (ProRes 記録時のみ)	181	③⑥ ボタンロック*3.....	338
⑦ 35 mmフォーマットモード.....	170	③⑦ ブーストモード.....	340
⑧ フラッシュ (TTL モード).....	372	③⑧ 給電状態.....	50
⑨ 調光補正.....	372	③⑨ ヒストグラム.....	24
⑩ セルフタイマー.....	162	④⑩ バッテリー残量表示.....	53
⑪ 連写モード.....	115	④⑪ ISO 感度.....	104
⑫ シャッター方式.....	168	④⑫ 露出補正.....	107
⑬ AF+MF*2.....	155	④⑬ 絞り値.....	75、78、80
⑭ Bluetooth ON/OFF		④⑭ 距離指標バー*2.....	101
⑮ 無線 LAN 接続		④⑮ シャッタースピード.....	75、76、80
⑯ ホワイトバランス.....	134	④⑯ TTL ロック.....	173、361
⑰ AWB ロック.....	335	④⑰ AE ロック.....	109、334
⑱ フィルム シミュレーション.....	128	④⑱ 測光モード.....	106
⑲ F-Log/HLG 撮影.....	183	④⑲ 撮影モード.....	74
⑳ ダイナミックレンジ.....	132	⑤⑰ フォーカスモード*2.....	91
㉑ D レンジ優先.....	133	⑤⑱ 合焦マーク*2.....	92
㉒ Bluetooth 接続先.....	245	⑤⑲ マニュアルフォーカス*2.....	91、99
㉓ AirGlu BT 接続.....	209	⑤⑳ AF ロック.....	109、334
㉔ 動画モード.....	66、176	⑤㉑ シフト量 / レボルピング量.....	368
㉕ 動画の記録可能時間 / 記録経過時間.....	66	⑤㉒ タイムコード.....	207
㉖ カードスロット設定.....	45、343	⑤㉓ マイク入力チャンネル.....	206
㉗ SSD 接続状態.....	47	⑤㉔ マイクレベル*2.....	203
㉘ 撮影可能枚数*1.....	429	⑤㉕ 露出インジケータ.....	80、107
㉙ 画像サイズ.....	124	⑤㉖ 電子水準器.....	25
㉚ ファイル形式.....	179	⑥⑰ AF フレーム.....	95、108
㉛ 画質モード.....	125	⑥⑱ 位置情報取得状態.....	346
㉜ 画像記録 HEIF.....	127	⑥㉑ Frame.io 接続状態.....	268
㉝ 日付・時刻.....	54、56、305	⑥㉒ 画像転送状況.....	245、284
㉞ タッチパネルモード.....	31、160	⑥㉓ FTP 画像転送状況.....	272
		⑥㉔ Frame.io 画像転送状況.....	265

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、非表示になります。

*3 MENU/OK ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは MENU/OK ボタンを再度長押しします。

LCD の表示画面



- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| ① クロップ倍率.....182 | ⑧ 35 mmフォーマットモード.....170 |
| ② Bluetooth ON/OFF | ⑨ Bluetooth 接続先.....245 |
| ③ 無線 LAN 接続 | ⑩ AirGlu BT 接続.....209 |
| ④ 動画圧縮方式.....179 | ⑪ 位置情報取得状態.....346 |
| ⑤ フォーカスチェック.....102、157 | ⑫ 動画モード.....66、176 |
| ⑥ 被写界深度確認.....79、101 | ⑬ 画像転送状況.....245、284 |
| ⑦ プロキシ設定 (ProRes 記録時のみ)
.....181 | ⑭ FTP 画像転送状況.....272 |
| | ⑮ Frame.io 画像転送状況.....265 |

⑩ AF フレーム.....	95、108	④① 電子水準器.....	25
⑪ 動画の記録可能時間/ 記録経過時間.....	66	④② 露出補正.....	107
⑫ 日付・時刻.....	54、56、305	④③ 距離指標バー ^{*2}	101
⑬ カードスロット設定.....	45、343	④④ 絞り値.....	75、78、80
⑭ SSD 接続状態.....	47	④⑤ シフト量/レボルピング量.....	368
⑮ 撮影可能枚数 ^{*1}	429	④⑥ タイムコード.....	207
⑯ 画像サイズ.....	124	④⑦ シャッタースピード.....	75、76、80
⑰ ファイル形式.....	179	④⑧ TTL ロック.....	173、361
⑱ 画質モード.....	125	④⑨ AE ロック.....	109、334
⑲ 画像記録 HEIF.....	127	⑤⑩ 測光モード.....	106
⑳ タッチパネルモード ^{*3}	31、160	⑤① 撮影モード.....	74
㉑ AWB ロック.....	335	⑤② フォーカスモード ^{*2}	91
㉒ ホワイトバランス.....	134	⑤③ 合焦マーク ^{*2}	92
㉓ フィルム シミュレーション.....	128	⑤④ マニュアルフォーカス ^{*2}	91、99
㉔ F-Log/HLG 撮影.....	183	⑤⑤ AF ロック.....	109、334
㉕ ダイナミックレンジ.....	132	⑤⑥ AF+MF ^{*2}	155
㉖ D レンジ優先.....	133	⑤⑦ マイク入力チャンネル.....	206
㉗ 動画専用操作モード ^{*3}	33	⑤⑧ シャッター方式.....	168
㉘ 温度警告.....	44、425	⑤⑨ マイクレベル ^{*2}	203
㉙ ボタンロック ^{*4}	338	⑥⑩ 連写モード.....	115
㉚ ブーストモード [*]	340	⑥① セルフタイマー.....	162
㉛ 給電状態.....	50	⑥② Frame.io 接続状態.....	268
㉜ バッテリー残量表示.....	53	⑥③ 露出インジケータ.....	80、107
㉝ ヒストグラム.....	24	⑥④ フラッシュ (TTL モード).....	372
㉞ ISO 感度.....	104	⑥⑤ 調光補正.....	372
		⑥⑥ プレ防止 ^{*2}	170

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

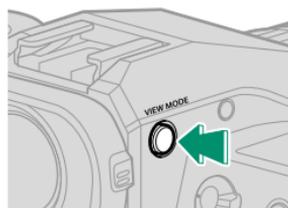
*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、非表示になります。

*3 タッチ操作で切り替えることができます。

*4 MENU/OK ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは MENU/OK ボタンを再度長押しします。

EVF と LCD の切り替え

VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り替わります。撮影時と再生時でそれぞれ切り替わります。



📖 セットアップメニューの **表示設定 > VIEW MODE 設定**でも EVF と LCD の表示を切り替えることができます。

撮影時

設定	内容
アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
EVF ONLY +	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。セットアップメニューの 表示設定 > 撮影画像表示 で設定された内容で液晶モニターに表示されます。動画撮影時は選択できません。

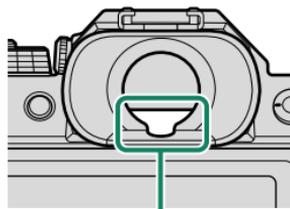
📖 セットアップメニューの **表示設定 > VIEW MODE 設定 > 撮影時で Q ボタン**を押すと、切り替わる項目を選べます。

再生時

設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの動きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
 LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
 EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。

アイセンサーについて

- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしているときはアイセンサーが無効になります。



アイセンサー

EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

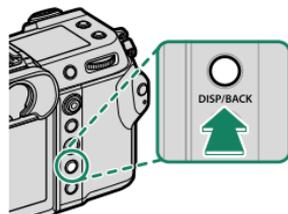
屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー (EVF) の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター (LCD) の明るさや鮮やかさを調整します。

縦表示について

表示設定 > 縦横自動回転表示を **ON** にすると、カメラを縦向きで撮影するときにファインダー (EVF) または液晶モニター (LCD) の情報表示が縦向きになります。

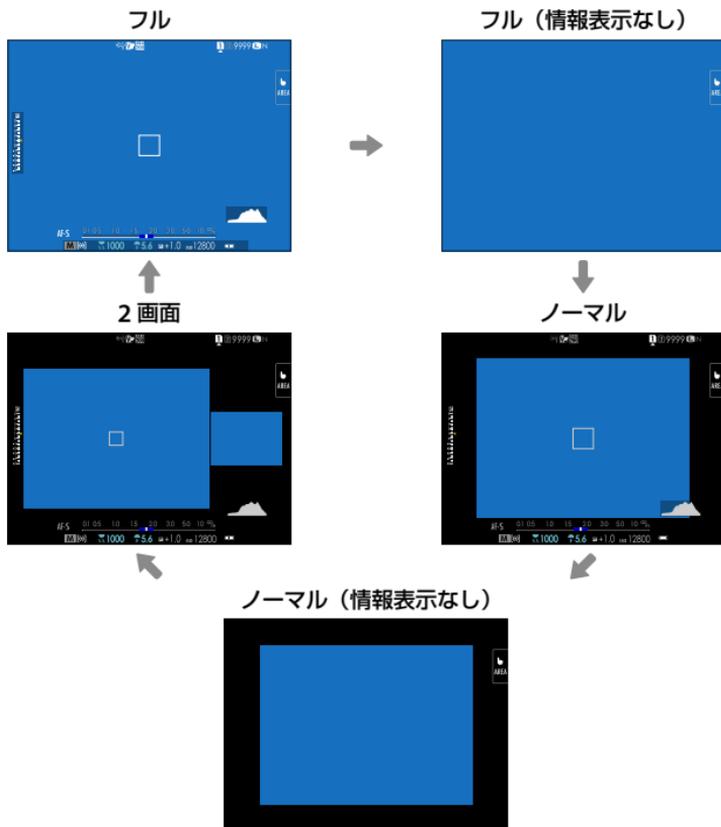
情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



◆ EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。

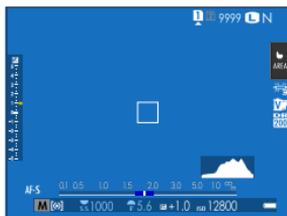
ファインダー（EVF）



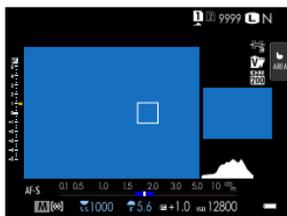
 **2画面**はマニュアルフォーカスで静止画撮影をするときのみ使用できます。

液晶モニター (LCD)

スタンダード



スタンダード (情報表示なし)



2画面

INFO画面



2画面はマニュアルフォーカス時のみ使用できます。

2画面について

「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面（大きい画面）とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面（小さい画面）の2画面を表示します。

画面の表示について

撮影時の「フル」や「ノーマル」、「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ**を選びます。

2 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目には、**☑** が表示されます。**☑** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- AF フレーム
- 合焦マーク
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- ライブビューハイライト警告
- 撮影モード
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- 情報表示背景
- 露出補正表示
- 露出補正ゲージ
- フォーカスモード
- 測光
- シャッター方式
- フラッシュ
- 連写モード
- ブレ防止
- タッチパネルモード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- プーストモード
- T/S レンズ シフト量
- T/S レンズ レボリング量
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- 動画モード & 録画時間
- 35mm フォーマットモード
- 通信状況
- マイクレベル
- ガイダンスメッセージ
- 記録メディア無し時ガイダンス
- 日時表示
- バッテリー残量表示
- 画面枠

3 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

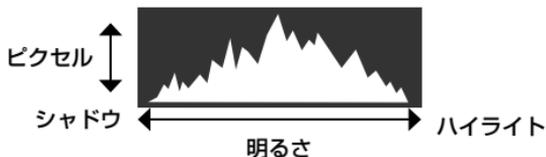
設定が保存されます。

画面枠について

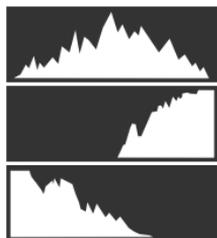
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

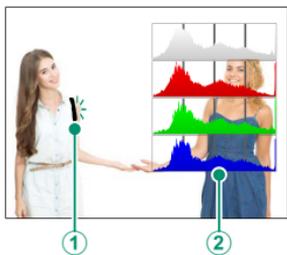


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



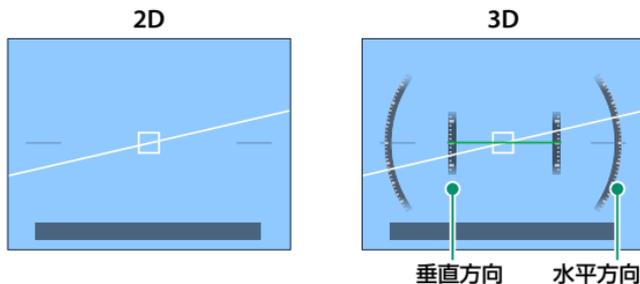
ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGBヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（[331](#)、[357](#)）。

- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGBヒストグラム表示



電子水準器について

カメラの傾きを表示します。**表示設定 > 電子水準器設定**で表示の設定を切り替えることができます。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときに使用します。



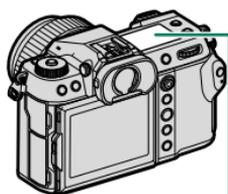
- **OFF の場合**：電子水準器を表示しません。
- **2D の場合**：水平方向の傾きを白い線で表示します。カメラが水平になると、線が緑色で表示されます。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。
- **3D の場合**：水平方向と垂直方向の傾きを表示します。



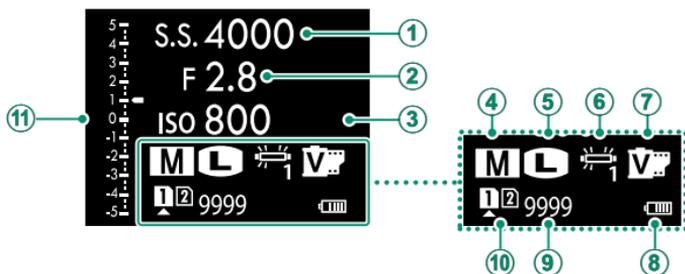
電子水準器切替を割り当てたファンクションボタンを押して、2D 表示と 3D 表示を切り替えることができます。

サブ液晶モニター

サブ液晶モニターでシャッタースピードや絞り値、ISO 感度などの設定を確認できます。



サブ液晶モニター



工場出荷時の設定

① シャッター速度	⑦ フィルムシミュレーション
② 絞り	⑧ バッテリー残量表示
③ ISO	⑨ 撮影枚数
④ 撮影モード	⑩ カードスロット設定
⑤ 画像サイズ*	⑪ ゲージ
⑥ ホワイトバランス	

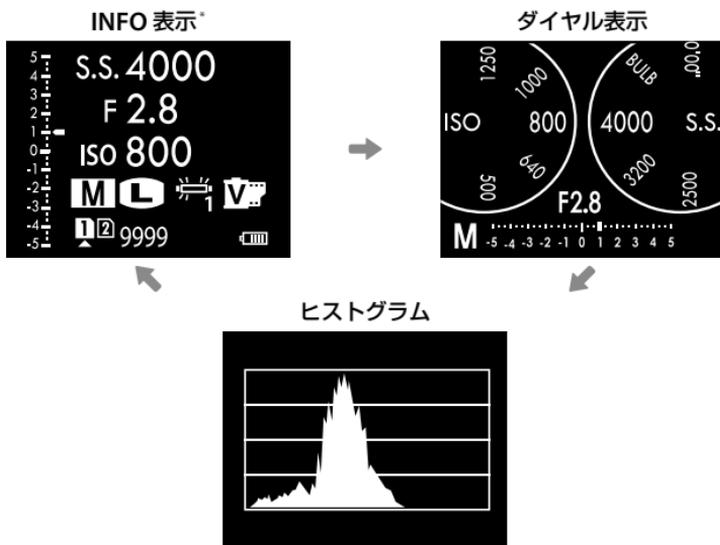
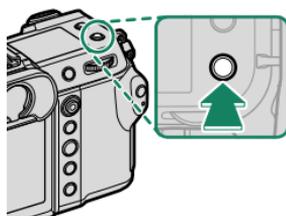
* 動画撮影時は動画モード



表示する項目は 表示設定 > サブ液晶モニター設定 で変更できます。

サブ液晶モニターの表示の切り替え

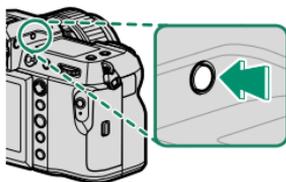
サブ液晶モニター切替ボタンを押すごとに、表示が切り替わります。



* 動画撮影時は動画の INFO 表示が表示されます。

サブ液晶モニター照明ボタン

サブ液晶モニターが見えづらいときなどは、サブ液晶モニター照明ボタンを押すと、サブ液晶モニターの照明が点灯します。もう一度押すと、照明が消灯します。

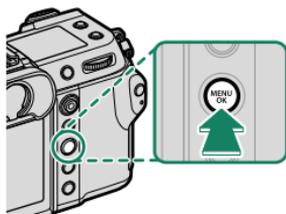


サブ液晶モニター背景色について

表示設定 > サブ液晶モニター背景色でサブ液晶モニターの背景色を黒（黒背景）または白（白背景）に設定できます。サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。



メニュー画面について

メニュー画面は静止画撮影時/動画撮影時/再生時によって表示が異なります。

撮影時



静止画/動画切替スイッチが
STILL のとき



静止画/動画切替スイッチが
MOVIE のとき



再生時



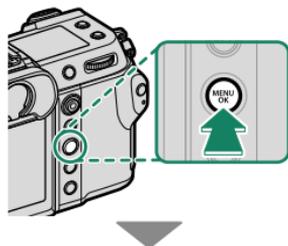
画像を再生しているとき



メニュータブへの移動

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。



- 2 フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。



タブ

- 3 フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブを選びます。

- 4 フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。

 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

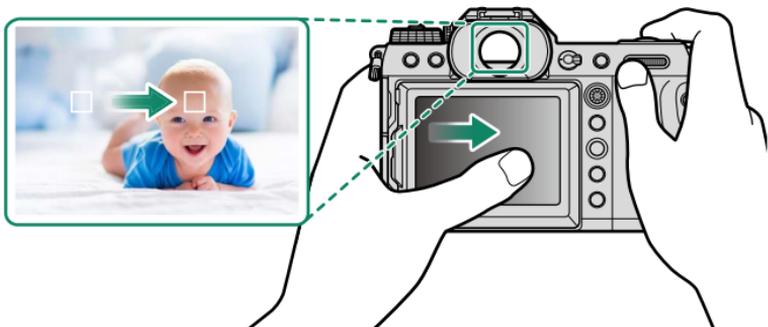
撮影時のタッチ操作について

タッチパネルを使用するときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**を ON にします。



EVF 使用時のタッチ操作

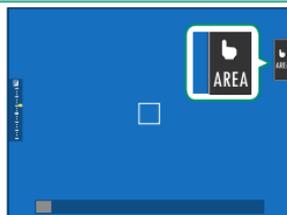
ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > EVF タッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定できます。



- **AF** フォーカス設定 > **顔検出 / 瞳 AF** 設定が顔検出 ON のときは、ピントを合わせる顔を選べます。
- **AF** フォーカス設定 > **被写体検出 AF** 設定が被写体検出 ON のときは、ピントを合わせる被写体を選べます。

LCD 使用時のタッチ操作

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチするごとに、タッチ操作を変更できます。LCD 使用時は次のタッチ操作が行えます。

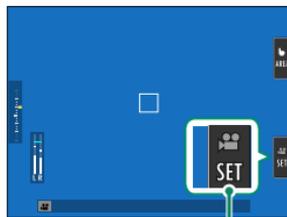


タッチパネルモード	意味
 AF	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
 AF OFF	
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。

-  タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
- ピント位置拡大中は、タッチパネルの動作が異なります (161)。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
-  **フォーカス設定 > タッチパネルモード**でもタッチ操作を切り替えることができます。動画撮影時のタッチ操作については、「動画撮影時のタッチ操作 (タッチパネルモード：161)」をご覧ください。

動画専用操作モード

撮影メニューの  動画設定 > 動画専用操作モード  を ON にするか、撮影画面の動画専用モードボタンを押すと、コマンドダイヤルとタッチ操作で次の撮影時の設定を変更できます。動画撮影時に、静止画撮影とは別に露出を設定したい場合や、カメラの操作音を記録したくないときに便利です。



動画専用モードボタン

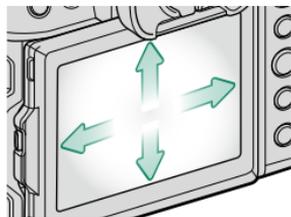
- シャッタースピード
- 絞り
- 露出補正
-  感度
- 内蔵マイクレベル設定 / 外部マイクレベル設定
- 風音低減
- ヘッドホン音量
-  フィルム シミュレーション
-  ホワイトバランス
-  ブレ防止モード
-  ブレ防止モードブースト



- 動画専用操作モードをオンにすると絞りリングの操作は無効になります。
- 動画専用操作モードのときに動画専用モードボタンを押すと、撮影の設定を変更したり、動画専用操作モードをオフにしたりすることができます。
- **外部マイクレベル設定**は外部マイク接続時のみ設定できます。

タッチファンクション

このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能呼び出すことができます（ 357）。



- **T-Fn1**（画面を上フリック）
- **T-Fn2**（画面を左フリック）
- **T-Fn3**（画面を右フリック）
- **T-Fn4**（画面を下フリック）



- 割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。



- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチファンクションを ON にしてください。**

再生時のタッチ操作について

☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > ▶ タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ	ダブルタップ
 <p data-bbox="120 474 519 540">画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。</p>	 <p data-bbox="539 474 938 540">画面を2回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。</p>
マルチタッチ (ピンチアウト)	ドラッグ
 <p data-bbox="120 794 519 896">画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。</p>	 <p data-bbox="539 794 938 860">拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。</p>
マルチタッチ (ピンチイン)	
 <p data-bbox="120 1154 519 1256">画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。</p> <p data-bbox="120 1285 519 1351">  元の表示画像より縮小した画像は表示できません。 </p>	

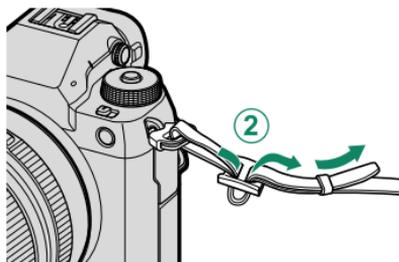
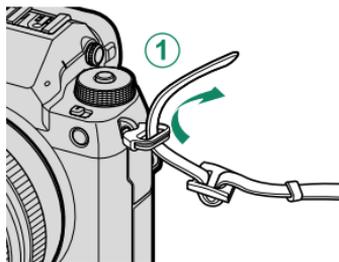
撮影の準備

2

ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付けます。

ショルダーストラップは、次のようにストラップリング（2箇所）に取り付けます。



! ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のレンズが使用できます。

カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて (①)、矢印の方向にレンズをゆっくり回しながら (②) カメラにレンズを取り付けます。

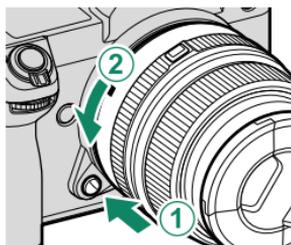


- ❗ レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して (①)、矢印の方向にレンズをゆっくり回してください (②)。

- ❗ レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。



別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のアクセサリーが使用できます。

! レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことに
ご注意ください。

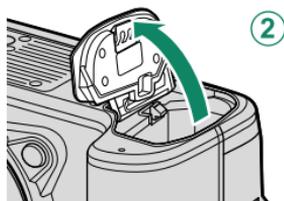
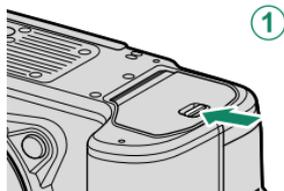
- ゴミやほこりの付着に注意してください。
- 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- レンズキャップを取り付けて行ってください。
- 絞りリングなど、可動する部分を持ってレンズを回さないでください。
- レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。

バッテリーを入れる

カメラにバッテリーを入れます。

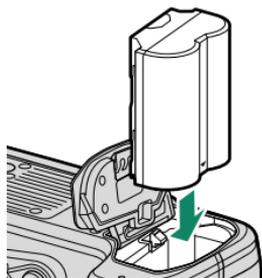
1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



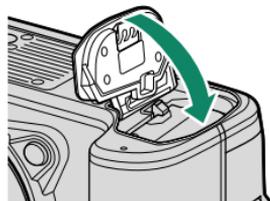
2 バッテリーを図のように入れます。

- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



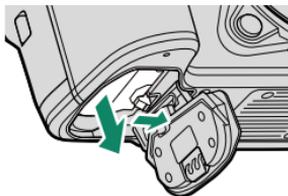
3 バッテリーカバーを閉めます。

- !** バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



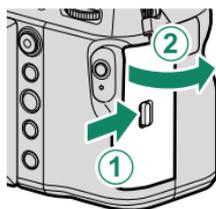
- !** 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを入れる

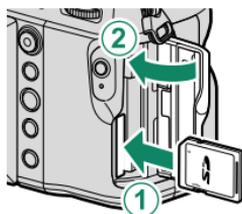
撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。

 このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。

- 1 メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。



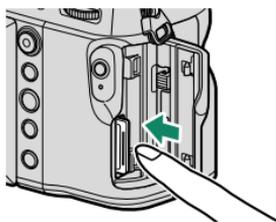
- 2 メモリーカードを入れ、メモリーカードスロットカバーを閉めます。



-  メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を離すと、ロックが外れて取り出せます。



- ❗ メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。
- 画面に❗が表示されたときは、メモリーカードが熱くなっていることがあります。しばらくたってからメモリーカードを取り出してください。

2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、**保存設定** > **カードスロット設定**で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 保存設定 > スロット選択 (📷 順次記録時) で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像やHEIF画像をそれぞれ保存します。この設定は 画質設定 > 画質モード が、 SUPER FINE+RAW 、 FINE+RAW 、 NORMAL+RAW のときのみ有効です。	RAW+JPEG  RAW+HEIF 

動画の記録先スロットは、**動画設定** > **メディア記録設定**で変更できます。

使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I/UHS-II に対応しています。
- 高速連写撮影をするときは、UHS-II のメモリーカードをおすすめします。
- 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります (70)。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。

❗ **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**

- メモリーカードにデータを記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、初回撮影時に画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パーソナルコンピューターやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



メモリーカードの代わりに外付け SSD を使用する

このカメラでは SSD に静止画や動画を記録することができます。USB 端子に SSD を接続すると、画面にアイコンが表示され、記録先が自動的に SSD に切り替わります。メモリーカードに記録する場合は、カメラの電源をオフにしてから SSD を取り外してください。



 再生時は SSD を接続していても **再生メニュー** > **スロット切り替え** で再生する SSD やメモリーカードを選択できます。

バッテリーを充電する

安全上の理由から、ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。



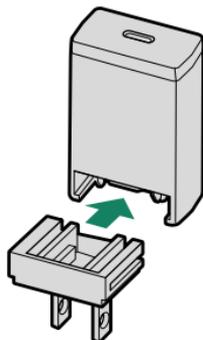
- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W235 です。
- 充電時間は約 180 分です。

1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。

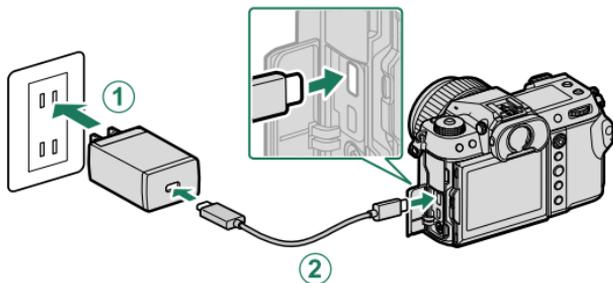


- 付属のプラグアダプターは、AC パワーアダプター AC-5VJ 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
- プラグアダプターは、仕向け国によって形状が異なります。



2 バッテリーを充電します。

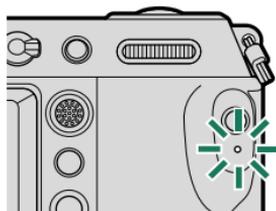
AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込んでから ①、カメラと AC パワーアダプターを付属の USB ケーブルで接続します ②。



- カメラの USB 端子 (Type-C) に USB ケーブルを接続します。
- USB ケーブルは端子の奥までしっかりと差し込んでください。

充電状態の表示

インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。



インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電異常

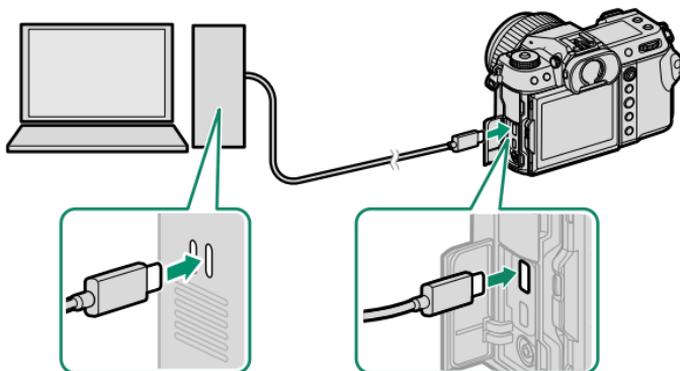
- ❗ 付属の AC パワーアダプターは 100 ～ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターが必要な場合があります）。
- AC パワーアダプター、および USB ケーブルは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- バッテリーを長期間充電しないとバッテリーの品質が保持できなくなり、充電できなくなるおそれがあります。定期的に充電することをおすすめします。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。
- ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF が ON** のときはバッテリーの持続時間が短くなります。

- 🔌 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、給電になります。給電中はバッテリーが少しずつ消費されます（📖 300）。
- 画面に給電状態アイコンが表示されます。



パーソナルコンピューターに接続してバッテリーを充電する

このカメラは、USB 充電に対応しています。パーソナルコンピューターメーカーが動作保証する OS および USB インターフェイスで使用できます。



充電するときは、パーソナルコンピューターの電源をオンにしてください。

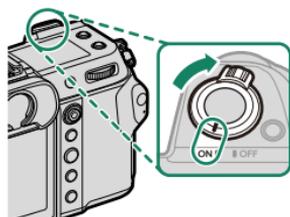


- カメラの電源がオンのときは充電できません。
- 付属の USB ケーブルを接続します。
- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパーソナルコンピューターを接続してください。
- 充電中にパーソナルコンピューターが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パーソナルコンピューターの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パーソナルコンピューターの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間の目安は約 600 分です（入力 5V/500mA の場合）。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- 📷**
- 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
 - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- 🔋 消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



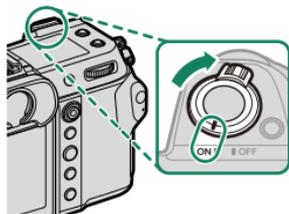
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

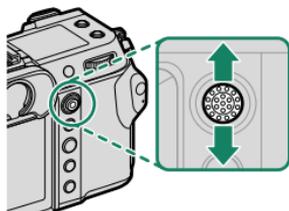
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 地域の設定画面が表示されます。

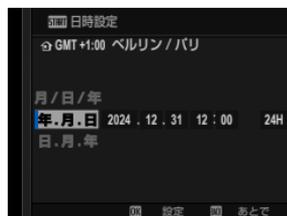
フォーカスレバーでお住まいの地域とサマータイムの設定をしてから**設定完了**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



地域を設定しないときは **DISP/BACK** ボタンを押して設定をスキップしてください。

4 日時を設定します。

MENU/OK ボタンを押すと、次の画面に進みます。



5 スマートフォンアプリケーションに関する画面が表示されます。

- 画面に表示される QR コードをスマートフォンで読み取ると、スマートフォンアプリケーションをダウンロードできます。

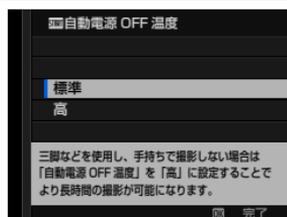


- **MENU/OK** ボタンを押すと、次の画面に進みます。

 スマートフォンアプリケーションを使用すると、撮影画像の転送やカメラの操作をワイヤレスで行うことができます (📖 245)。

6 自動電源 OFF 温度の設定画面が表示されます。

- カメラの温度が上昇したときに自動で電源をオフにする温度を設定できます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



7 メモリーカードをフォーマット (初期化) します (📖 304)。

 未使用のメモリーカードや、パーソナルコンピューターやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** >  **言語/LANG.** を選びます。
- 2 言語を設定します。
フォーカスレバーで使用する言語を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 日時を設定します。
フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
日時が設定されます。

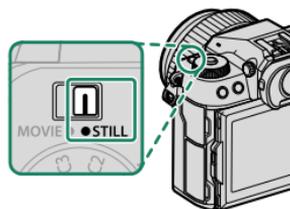
基本的な撮影と再生

3

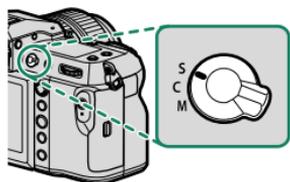
プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[図 74](#)）。

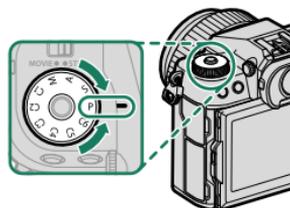
- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に設定します。



- 2 フォーカスモード切換レバーを **S** に設定します。



- 3 モードダイヤルを **P** に合わせます。



! モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

- 4 撮影画面に **P** が表示されていることを確認します。



5 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



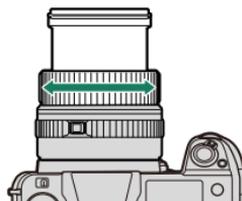
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



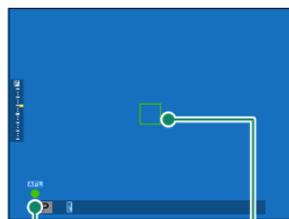
6 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



7 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク
フォーカスフレーム

- **ピントが合うと**、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。



- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりする場合があります。

再生するメモリーカードについて

- ▶ ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。
-  再生メニュー > スロット切り替えからも再生するメモリーカードの切り替えができます。

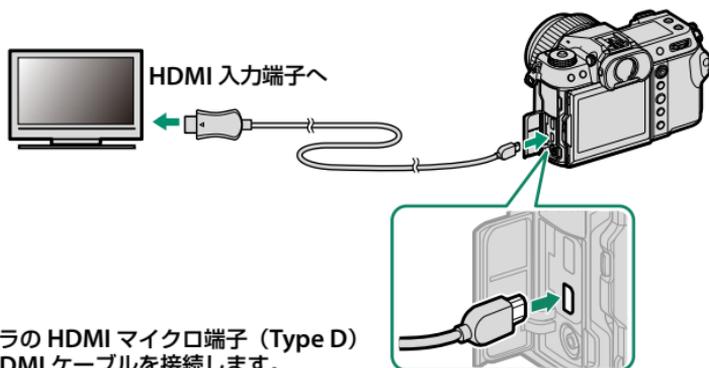
HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



カメラの HDMI マイクロ端子 (Type D) に HDMI ケーブルを接続します。

- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
- 4 カメラの電源をオンにします。
テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません (63)。

- ! ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。

撮影画面の出力

ライブビューや動画をテレビに表示したり、HDMI 入力で録画できる外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして  (再生) ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



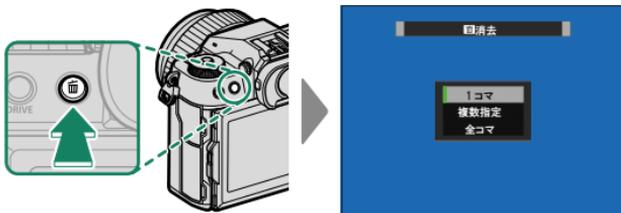
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。

 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピューターにコピーしておいてください。

1 コマ再生中に  ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押し続けると画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

 プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (P.226)。
● **再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去**をご覧ください (P.222)。

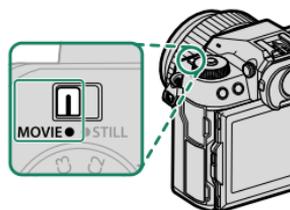
動画の撮影と再生

4

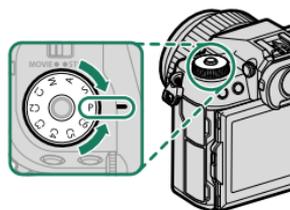
動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

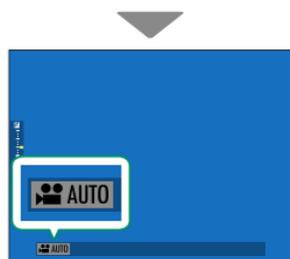
- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に設定します。



- 2 モードダイヤルを **P** に合わせます。



表示画面に **AUTO** が表示されます。

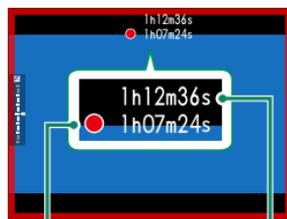


- !** モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影中は画面の外周が赤色で表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）と撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



動画撮影の撮影時間

動画撮影の残り時間

4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



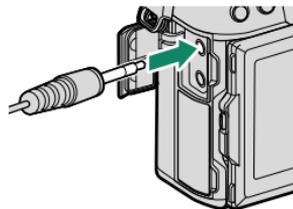
- 以下の点に気を付けることで、より長く撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中は±2の範囲で露出補正が可能で、ズームリングがあるレンズを使用している場合は、ズームリングでズーム操作を行えます。
- **動画設定 > REC 枠表示**を **OFF** に設定すると画面の外周の色表示をオフにできます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
 - 感度の変更
 - 次の操作による AF のやり直し
 - シャッターボタンの半押し
 - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
 - タッチパネル操作
 - **ヒストグラム**や**電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します（[p.95](#)）。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクはプラグインパワーを必要としない $\phi 3.5\text{mm}$ ピンで取り付けものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



XLR マイクアダプターについて

このカメラではティアック株式会社製 XLR マイクアダプター (TASCAM CA-XLR2d-F) を使用できます。詳しくは以下の TASCAM のウェブサイトをご覧ください。

<https://tascam.jp/jp/product/ca-xlr2d/>

動画の設定について

- 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に設定してから **MENU/OK** ボタンを押すと、動画撮影メニューが表示されます。
- **動画モード**で動画サイズやフレームレートなどを変更できます。
- **メディア記録設定**でファイル形式やビットレート、動画の記録先スロットなどを変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定**が**顔検出 ON**または**被写体検出 AF 設定**が**被写体検出 ON**のときは、自動的に**C** (コンティニユアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出 ON** や**被写体検出 ON** にしても顔検出や被写体検出は行われません。

- !** **動画設定** > **メディア記録設定**の設定によって使用できるメモリーカードが異なります。
- ビットレートが720Mbpsの場合はビデオスピードクラスV90以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが360Mbpsの場合はビデオスピードクラスV60以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが100Mbpsまたは200Mbpsの場合はUHSスピードクラス3以上のメモリーカードをご使用ください。
- 記録先がメモリーカードのときはProRes撮影はできません。USB接続したSSDをご使用ください。

背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。モードダイヤルを**A** (絞り優先)、または、**M** (マニュアル) に設定し、絞り値を調整します。

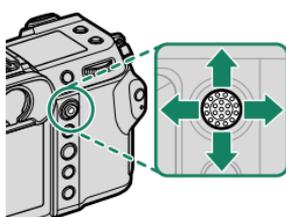
動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

▶ ボタンを押して画像が再生されているときに動画を選択すると、が表示されます。動画を選択してからフォーカスレバーを下に押し、動画を再生できます。



動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。



	1 コマ再生中	▶ 再生中	⏸ 一時停止中
上	情報表示の切り替え	再生中	一時停止
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。

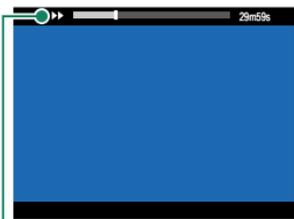


❗ スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。

- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。
- カメラとテレビをHDMIケーブルで接続してから **▶** ボタンを押すと、撮影した動画をカメラのかわりにテレビで見ることができます (62)。

動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

撮影に関する設定

5

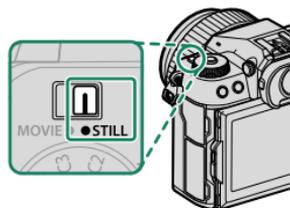
P、S、A、Mで撮影する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

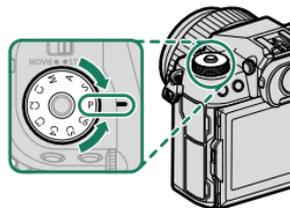
プログラム (P) 撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



- 2 モードダイヤルを **P** に合わせます。



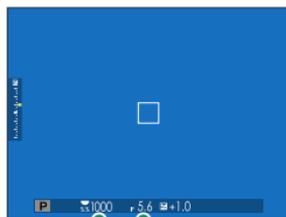
表示画面に **P** が表示されます。



- ! 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。
- モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせをすることができます。



絞り値
シャッタースピード

❗ 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

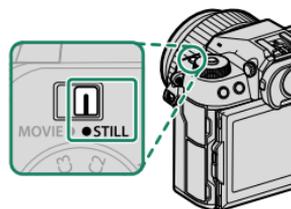
- **⚡** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定の発光モードが **TTL** のとき
- **📷** 画質設定 > ダイナミックレンジが **AUTO** のとき
- 動画を撮影しているとき

🔌 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

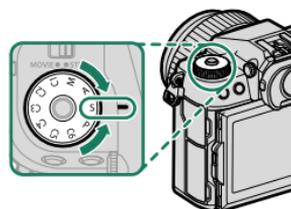
シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

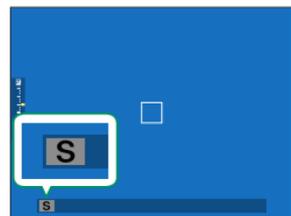
- 1 静止画/動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



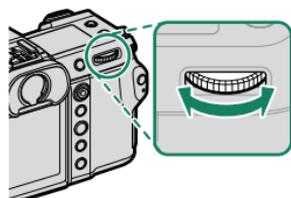
- 2 モードダイヤルを **S** に合わせます。



表示画面に **S** が表示されます。



- 3 リアコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。

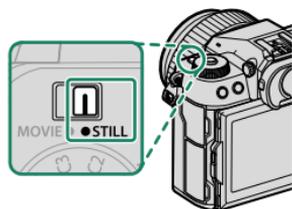


- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
 - 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。
 - モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
-
- 👉 シャッターボタンを半押ししている間や **AFON** ボタンを押している間もシャッタースピードを変更できます。
 - シャッタースピードを1秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。
 - 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
 - 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。

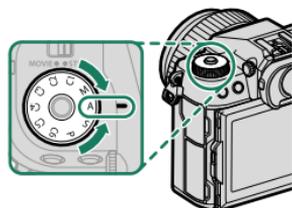
絞り優先 (A) 撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

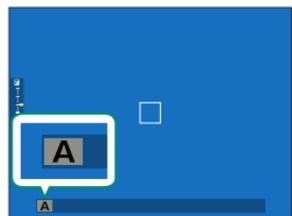
- 1 静止画/動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



- 2 モードダイヤルを **A** に合わせます。



表示画面に **A** が表示されます。



- 3 レンズの絞りリングを回して、絞り値を設定します。



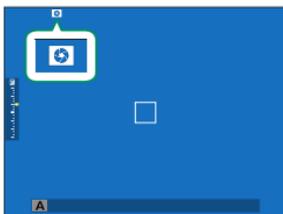
- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定** で変更できます。

- ❗ 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「—」と表示されます。
- モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

 シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

被写界深度を確認するには

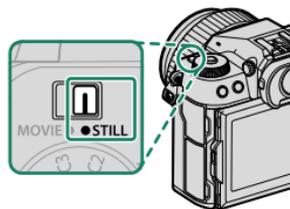
被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、 が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます (📖 357)。



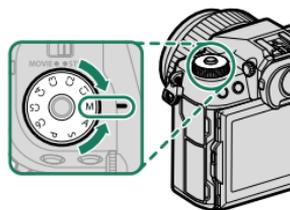
マニュアル (M) 撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。

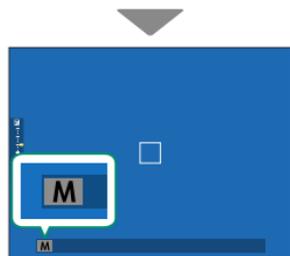
- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



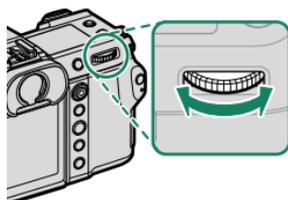
- 2 モードダイヤルを **M** に合わせます。



表示画面に **M** が表示されます。



- 3** リアコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、レンズの絞りリングを回して絞り値を設定します。



- 露出インジケーターを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。
- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定** で変更できます。

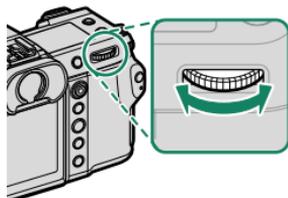


モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

バルブ撮影

シャッタースピードを **BULB** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1** シャッタースピードを **BULB** に合わせます。



2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

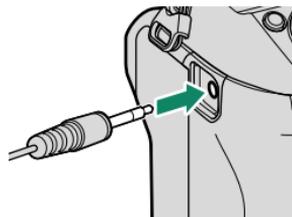
- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- シャッターボタンから指を離すとシャッターが閉じて撮影を終了します。撮影を終了すると、撮影した画像の処理を行います。処理が終わるまでの時間が表示されます。

 ドライブモードで **1 コマ撮影** と多重露出撮影以外を選んでいるときや、**☑ 撮影設定 > シャッター方式** で電子シャッターを選んでいるときは、バルブ撮影はできません。

 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**☑ 画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートレリーズを使用する

長時間露光撮影時には、リモートレリーズが便利です。リモートレリーズ端子に、別売のリモートレリーズ RR-100 や市販の電子式リモートレリーズを取り付けます。



露出設定プレビューについて

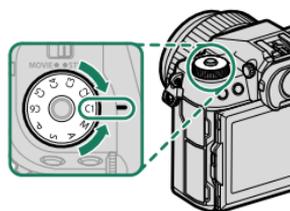
表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映が**露出反映 / WB 反映**のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映**を**露出反映 / WB 反映**以外にしてください。

カスタムモード

モードダイヤルを **C1 (カスタム 1)** から **C6 (カスタム 6)** のいずれかに合わせると、あらかじめ登録しておいた撮影メニューの設定で撮影できます。



現在の設定を反映する

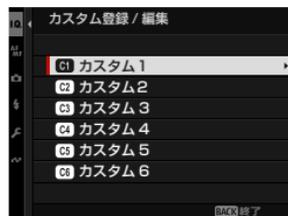
現在の撮影メニューの設定をカスタム登録できます。

- 1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



動画の設定を登録する場合は、動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** で登録します。

- 2 現在の設定を反映したい場所を **C1 ~ C6** から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 現在の設定を反映を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 4 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。**
現在の撮影メニューの設定が保存されます。



カスタム設定の内容を変更する

選んだカスタム設定の内容を変更して保存できます。

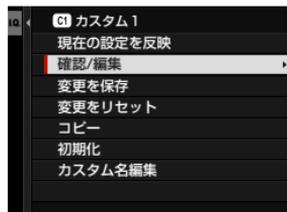
- 1 撮影メニューから [画質設定] > [カスタム登録/編集] を選び、MENU/OK ボタンを押します。**

 動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの [動画設定] > [カスタム登録/編集] で変更します。

- 2 設定を変更したいカスタムを選び、MENU/OK ボタンを押します。**

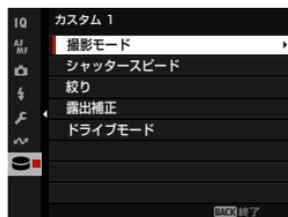


- 3 確認/編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。**



4 撮影メニューの一覧からカスタム登録したいメニューの項目を選んで MENU/OK ボタンを押します。

選んだ項目の設定ができます。



5 MENU/OK ボタンを押すと、項目の設定を終了して撮影メニューの一覧に戻ります。

続けて別の項目を設定することができます。

 **画質設定 > カスタム登録内容の自動更新をしない**に設定している場合、設定を変更した項目には赤い丸が表示され、自動的に保存されません。

- 設定を変更した項目を選んで **Q** ボタンを押すと、選んだ項目を個別に保存できます。
- 手順3の画面に戻り、**変更を保存**を選ぶと、設定を変更した項目をすべて保存できます。**変更をリセット**を選ぶと、変更をすべて保存せずに元の設定に戻します。
- 赤い丸が付いた変更中のカスタムをコピーした場合に、変更中のカスタムがコピーの対象となります。

カスタム設定をコピーする

選んだカスタム設定の内容を別のカスタム設定に上書きできます。カスタム設定の名前を変更している場合、コピー先のカスタム名はコピー元のカスタム名と同じになります。

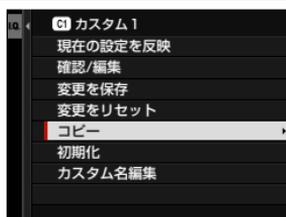
1 撮影メニューから 画質設定 > カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。

 動画メニューをコピーするときは、動画撮影メニューの  動画設定 >  カスタム登録 / 編集を選びます。

- 2 コピー元のカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 コピーを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 4 C1 ~ C6 から、コピーしたい場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

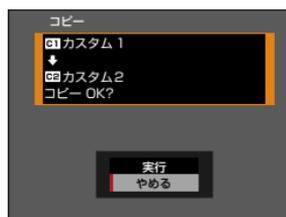
確認画面が表示されます。



すでに作成されているカスタム設定を選ぶと、そのカスタム設定に登録されている内容を上書きします。



- 5 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。
カスタム設定が上書きされます。



カスタム設定を初期化する

選んだカスタム設定を初期化します。

- 1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

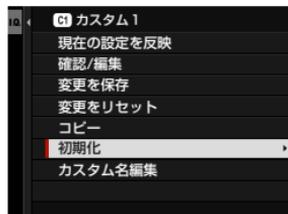


静止画撮影時の設定が初期化されます。動画撮影時の設定を初期化したいときは、動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** を選んでください。

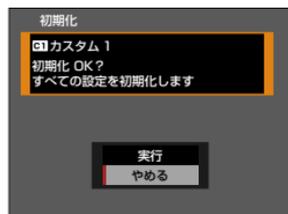
- 2 初期化したいカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 初期化を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。確認画面が表示されます。



- 4 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。選んだカスタム設定が初期化されます。



カスタム設定の名前を変更する

カスタム設定の名前を変更できます。

- 1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

 静止画撮影時の名前が変更されます。動画撮影時の名前を変更したいときは、動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** を選んでください。

- 2 名前を変更したいカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 カスタム名編集を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

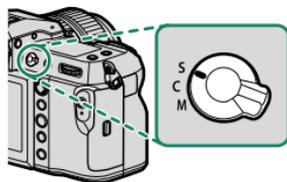


- 4 カスタム設定の名前を入力して設定を選びます。
カスタム設定の名前が変更されます。

オートフォーカス撮影

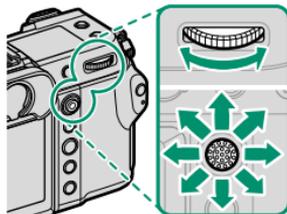
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定します (91)。



- 2 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > AF モードから AF モードを選びます (93)。

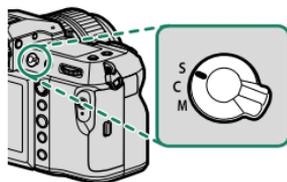
- 3 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (95)。



- 4 撮影します。

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

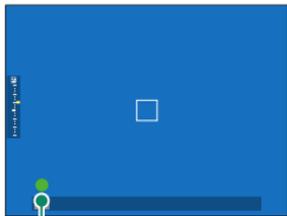
フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (p.99)。

-  レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、 **フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
● (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。



合焦マーク

AF モードの選択

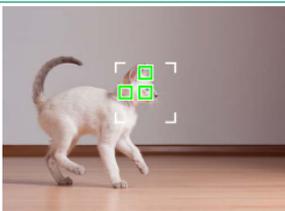
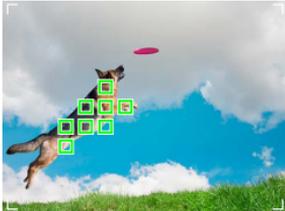
フォーカスモードと AF モードの組み合わせで、さまざまな撮影シーンに応じたフォーカス設定を選択できます。

AF モードの設定方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2  フォーカス設定 > AF モードを選びます。
- 3 設定する AF モードを選びます。

AF モードの種類

- フォーカスモードが S (AF-S) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンにピントを合わせます。	
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (p.95、97)、  フォーカス設定 > AF モードオール設定で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

● フォーカスマードがC (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせ続けます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けたAFモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンに常にピントを合わせ続けます。	
 トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (P.95、97)、 フォーカス設定 > AFモードオール設定 で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

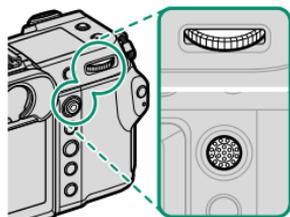
フォーカスエリアの変更

フォーカスエリアの変更方法

- 1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
 - 2  **フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
 - 3 フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。
-  タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (📖 31)。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。



AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
	8方向移動	中央押し	回す	中央押し
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100%に戻る
			なし	
			なし	



- ワイド/トラッキングのフォーカスエリアは、フォーカスモードが **C** のときのみ有効です。
- **DISP/BACK** ボタンを押してフォーカスエリアを中央に戻すこともできます。
- **AFモード** が オールの場合は、フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと、 シングルポイント（サイズ6段階）、 ゾーン（サイズ3段階）、**ゾーンカスタム1**、**ゾーンカスタム2**、**ゾーンカスタム3**、 ワイド/トラッキングの順にフォーカスエリアを切り替えることができます。 **フォーカス設定 > AFモードオール設定** で切り替わる項目を選べます。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。



- 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。
- ゾーンカスタム 1、ゾーンカスタム 2、ゾーンカスタム 3 は **フォーカス設定 > ゾーンカスタム設定** で設定できます。

□	□□	□□□
<p>フォーカス設定 > フォーカス点数切り替え でフォーカスエリアポイントの点数を 117 と 425 から選べます。</p>	<p>117 のフォーカスエリアポイントを 3×3、5×5、7×7、ゾーンカスタム 1、ゾーンカスタム 2、ゾーンカスタム 3 から選べます。</p>	<p>コンティニューアス AF でトラッキングしたい被写体の位置にフォーカスエリアを移動できます。</p>

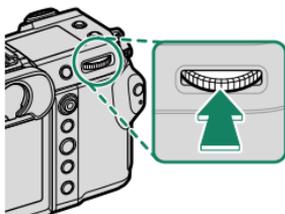
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

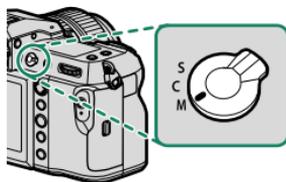


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AFモード**を  **シングルポイント** に設定してください。
- フォーカスモードが **C** または  **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます ( 357) 。

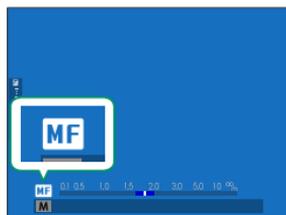
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

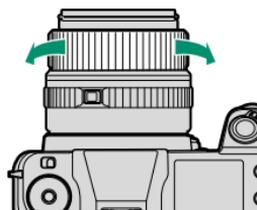


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。

- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリング**で設定できます。
- レンズ側で **M**（マニュアルフォーカス）を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M**（マニュアルフォーカス）で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

- AFロックまたは**AF-ON**が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定** >   **ワンブッシュ AF 時の動作**で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C** (コンティニユアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 
 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
 - **表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に を入れる。
 - **DISP/BACK** ボタンを押して、表示される画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール**で設定できます。フィルム基準はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、ピクセル基準はパーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

📷 フォーカス設定 > **フォーカスチェック**を **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

📷 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動でき、リアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、MFアシストに**デジタルスプリットイメージ**または**デジタルマイクロプリズム**を設定しているときは、フォーカスエリアの移動および倍率の変更はできません。

画面に表示された画像で確認する

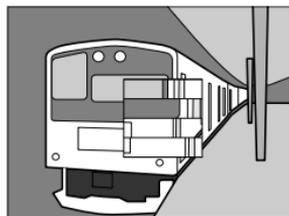
ピントの確認方法を静止画撮影メニューの **📷 フォーカス設定** > **MFアシスト** (📖 156) または動画撮影メニューの **📷 フォーカス設定** > **📷 MFアシスト** (📖 199) で選べます。

📷

- 静止画撮影時と動画撮影時で使用できるピントの確認方法が異なります。
- リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MFアシスト**の設定を切り替えることができます。

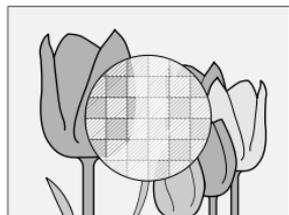
● デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



● デジタルマイクロプリズム

ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。



● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



● フォーカスマーター

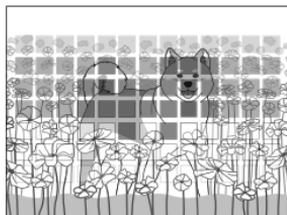
フォーカスエリアの下に矢印が表示され、被写体の前後どちらにピントが合っているかを示します。矢印が左を指しているときは被写体より手前に、右を指しているときは被写体の後ろにピントが合っています。矢印が真上を指すようにフォーカスを調整してください。



操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリングを 反時計回りに設定すると、矢印の表示は左右逆になります。

● フォーカスマップ

フォーカスエリアポイントに四角の指標が表示され、ピントが合っているポイントと合っていないポイントを色で示します。被写体にピントが合っているポイントや被写体と同じ距離のポイントには緑色の指標が表示されます。ピントの位置よりも手前のポイントには黄色の指標、後ろのポイントには青色の指標が表示されます。



- 動画撮影メニューの **フォーカス設定 > MF アシスト** で指標の色をモノクロに変更できます。このとき、ピントの位置よりも手前のポイントには白色の指標、後ろのポイントには黒色の指標が表示されます。
- オートフォーカスが苦手な被写体では指標が表示されないことがあります (97)。

ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

 **撮影設定 > 感度**で ISO 感度を設定します。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。 AUTO1、AUTO2、AUTO3 にそれぞれ異なった 基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界 を設定できます (📖 105)。
80 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
L (40) H (25600) H (51200) H (102400)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

-  ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で、フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できるようにすることができます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ異なった値の**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	80 ~ 12800	80		
上限 ISO 感度	200 ~ 12800	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/4000 ~ 30 秒、AUTO	AUTO		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

-  上限 ISO 感度よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- 基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- 低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。

測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

 **撮影設定** > **測光** で使用する測光モードを設定します。

 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定** と **被写体検出 AF 設定** を **OFF** にしてください。

設定	説明
 マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  （マルチ）をおすすめします。
 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 スポット	画面の約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

 **フォーカス設定** > **測光 & フォーカスエリア連動** を **ON** にしているときは、フォーカスフレームの位置を測光します（ 157）。

露出補正

画像の明るさを調整できます。

 (露出補正) ボタンを押しながらリアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。



 **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で使用するコマンドダイヤルを変更することができます。

-  ・モードによって補正段数が制限されることがあります。
- ・露出補正の結果は撮影画面に反映されます。ただし、以下の設定では反映されないことがあります。
- 露出補正量が±3段を超えたとき
 - **ダイナミックレンジ**を **200/200%**、**400/400%**に設定したとき
 - **Dレンジ優先**を**強**または**弱**に設定したとき

この場合、シャッターボタンを半押しすると、補正した明るさを液晶モニターまたはファインダーで確認できます。

なお、動画モードにおいて  **ダイナミックレンジ**を **200/200%**、**400/400%**に設定、または、F-Log撮影の場合も露出補正が反映されないことがあります。この場合は撮影モードをマニュアル (**M**) にして直接露出を指定することで対応してください。

(露出補正) ボタンについて

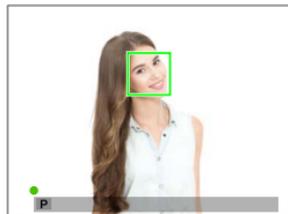
- ・  **操作ボタン・ダイヤル設定 > 露出補正ボタン設定**が**押下切替**のときは、 (露出補正) ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。
- ・  **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で、**露出補正**を割り当てるボタンを変更できます。

AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、明るさとピントが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。
被写体に露出とピントが合い、AF フレームが緑点灯します。



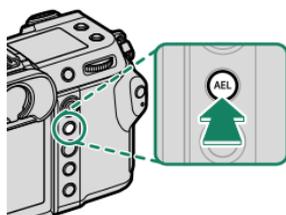
3 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

 シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE** を ON にしておく必要があります。

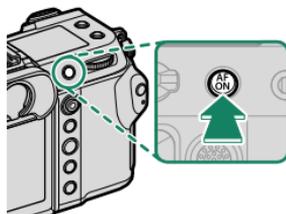
ボタンによる AE/AF ロック

AEL ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。**AFON** ボタンに **AF LOCK** のみを割り当てた場合、**AFON** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます。

- **AEL** ボタンまたは **AFON** ボタンで AE ロック / AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定を押下切替**にすると、**AEL** ボタンまたは **AFON** ボタンから指を離しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。



AEL ボタン (AE ロック)



AFON ボタン

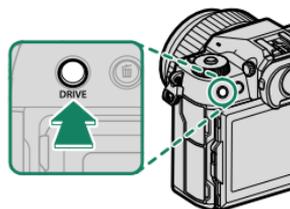
-  AE ロック中にフォーカスレバーでフォーカスポイントの位置を変更することができます。
- **AEL** ボタンや **AFON** ボタンには  **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他の機能を割り当てることができます。また使用するボタンは変更できます (📖 359)。

ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブモード選択画面が表示されます。



2 フォーカスレバーの上下でブラケティングの種類を選びます。

ドライブモード	📖	ドライブモード	📖
ISO ISO ブラケティング	111	BKT ブラケティング	112
WB ホワイトバランス BKT	111		

3 フォーカスレバーの左右で変化量などの設定値を選びます。

4 MENU/OK ボタンを押します。

ブラケティングの種類と設定が決定されます。

5 撮影します。

ISO ISO ブラケット

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度はドライブモード選択画面で $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 ± 1 から選べます。

WB ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから ± 1 、 ± 2 、 ± 3 ステップの幅をドライブモード選択画面で設定できます。

BKT ブラケットング

AE ブラケットング

画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。 **撮影設定 > AE ブラケットング設定**で1コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序などを設定できます。

 アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した**ステップ数**で撮影されません。

フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は  **撮影設定 > フィルムシミュレーション BKT** で設定します。

ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。

 ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO320以上になります。ダイナミックレンジブラケットングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。

FOCUS フォーカス BKT

一度シャッターボタンを押すと、設定に応じてピントを変えながら連続で撮影されます。**撮影設定 > フォーカス BKT 設定**で撮影の方法を**マニュアル**または**AUTO**から選べます。



- 撮影中は、ズーム操作を行わないでください。
- 三脚のご使用をおすすめします。

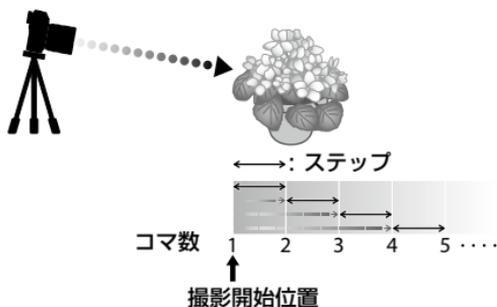
マニュアル

マニュアルを選ぶと、次の項目を手動で設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。

コマ数 / ステップとピント位置の関係について

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。



- ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- **ステップ**の数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広がります。
- ピント位置が無限遠に到達すると、**コマ数**の設定に関わらず撮影を終了します。

AUTO

AUTO を選ぶとコマ数とステップをカメラが自動で設定します。

1 撮影メニューから **撮影設定** > **フォーカス BKT 設定** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 **AUTO** を選んでから、撮影間隔を設定します。
撮影画面が表示されます。

3 被写体のもっとも手前にピントを合わせて **MENU/OK** ボタンを押します。
距離指標上に **A** が設定されます。

もっとも遠い方を先に設定しても、ピントを合わせる範囲は変わりません。



4 被写体のもっとも遠い方にピントを合わせて **DISP/BACK** ボタンを押します。

距離指標上に **B** が設定され、ピントを合わせる範囲 (**A** と **B** の間) が設定されます。

DISP/BACK ボタンの代わりに **MENU/OK** ボタンを押して再度 **A** を設定することもできます。



5 撮影します。

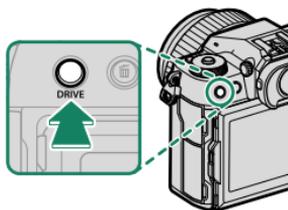
カメラがコマ数とステップを自動で設定します。撮影コマ数は撮影画面に表示されます。



連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 2 **CH** 高速連写、**CL** 低速連写のいずれかを選び、シャッターボタンを押すと連続撮影します。

シャッターボタンから指を離すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗ 連写中にファイル No. が 9999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。
- ☑ **撮影設定 > シャッター方式** の設定によって選べる連写の種類が異なります。

ピントや露出について

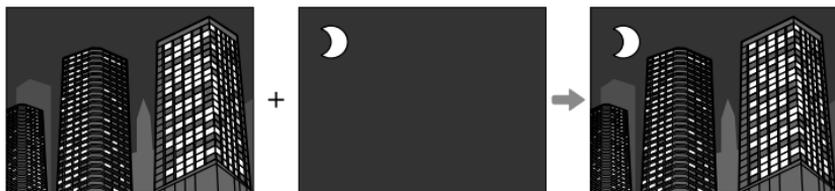
- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にしてください。



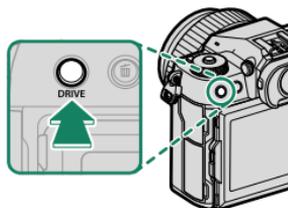
絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が有効にならない場合があります。

多重露出撮影

複数の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、多重露出を選びます。



- 2 画像をどのように合成するかを選びます。

設定	説明
加算	撮影した画像の露出を加算して合成します。合成する枚数に応じてマイナスの露出補正をしてください。
加算平均	重ね合わせた画像の露出が適正になるように自動的に露出を補正して合成します。同じ構図で撮影したときは背景が適正露出になるように補正されます。
比較 (明)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも明るい部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。
比較 (暗)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも暗い部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。

- 3 1枚目の画像を撮影します。

4 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚目の撮影画面になります。

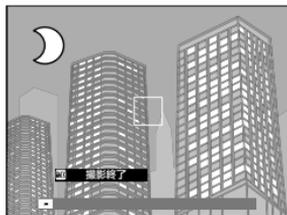


- 1 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



5 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面に薄く表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



6 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が表示されて、次の画像の撮影画面になります。



- 2 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、撮影した画像が合成され、多重露出撮影を終了します。



7 繰り返し撮影します。

一度に 9 枚までの画像を合成できます。

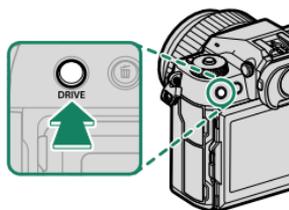
8 撮影が終わったら **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影した画像を合成した画像が保存されて、多重露出撮影を終了します。

ピクセルシフトマルチショット

ボディ内手ブレ補正を利用して、0.5画素単位でシフトした画像を4枚または16枚撮影し、それぞれRAW画像で記録できます。撮影したRAW画像はパーソナルコンピューターの専用アプリケーションで合成処理を行い、高解像度のRAW画像を生成できます。

- 1 DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、ピクセルシフトマルチショットリアルカラーまたはピクセルシフトマルチショット高解像度+リアルカラーを選びます。



- 2** 撮影間隔を設定します。

- 撮影間隔は**最短**に設定することをおすすめします。
- 1枚ごとにフラッシュを発光させて撮影する場合は、**撮影間隔**をフラッシュのチャージ時間に合わせて設定してください。

- 3** シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- メモリーカードに撮影したRAW画像が記録されます。
- 振動を伝えないようにするため、セルフタイマーまたはリモートレリーズで撮影してください。

- 4** パーソナルコンピューターで合成処理を行います。

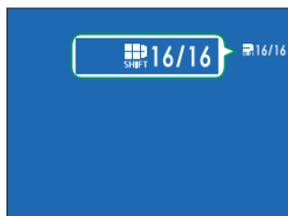
- 合成処理はFUJIFILM Pixel Shift Combinerで行えます。
- 高解像度のRAW画像の現像はCapture One社のFUJIFILM RAW Converter、Capture One Proをご使用ください。FUJIFILM X RAW STUDIO、RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIXでは現像できません。



- パーソナルコンピュータのソフトウェアの詳細やダウンロードは以下をご覧ください。
 - **FUJIFILM Pixel Shift Combiner** :
<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>
 - **FUJIFILM RAW Converter** :
<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm#rawconverter>
 - **Capture One Pro** :
<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm>
- ピクセルシフトマルチショットはテザー撮影にも対応しています。テザー撮影はFUJIFILM Pixel Shift Combinerで行います。
- フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/5$ 秒（14bit RAW 記録時）、 $1/25$ 秒（16bit RAW 記録時）以下です。
- ピクセルシフトマルチショット撮影時は、以下の制限があります。
 - 電子シャッターのみでの撮影になります。
 - ISO 感度は最大 1600 に制限されます。ISO 1600 以上または **AUTO** に設定している場合は ISO 1600 になり、ISO 1600 未満に設定している場合は、設定値のままになります。
 - **RAW 記録方式**は**ロスレス圧縮**のみになります。
 - フォーカスモードが **C** (AF-C) の場合は、**S** (AF-S) で撮影されます。**S** (AF-S) または **M** (マニュアル) の場合は、設定されているフォーカスモードのまま撮影されます。
 - 動きのある被写体や撮影中に振動、明るさの変化がある場合は、うまく合成できないことがあります。
 - **撮影設定 > フリッカー低減**は自動的に **OFF** になります。
 - 露出補正は 4 枚または 16 枚すべて同じ設定で撮影されます。

再生表示

ピクセルシフトマルチショットで撮影された画像を1コマ再生すると、ピクセルシフトマルチショットを示すアイコンが表示されます (📖 212)。



撮影メニュー

6

画質設定（静止画）

静止画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ**（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値			
L 4:3	(11648 × 8736)	L 65:24	(11648 × 4304)
L 3:2	(11648 × 7768)	L 5:4	(10928 × 8736)
L 16:9	(11648 × 6552)	L 7:6	(10192 × 8736)
L 1:1	(8736 × 8736)		
M 4:3	(8256 × 6192)	M 65:24	(8256 × 3048)
M 3:2	(8256 × 5504)	M 5:4	(7744 × 6192)
M 16:9	(8256 × 4640)	M 7:6	(7232 × 6192)
M 1:1	(6192 × 6192)		
S 4:3	(4000 × 3000)	S 65:24	(4000 × 1480)
S 3:2	(4000 × 2664)	S 5:4	(3744 × 3000)
S 16:9	(4000 × 2248)	S 7:6	(3504 × 3000)
S 1:1	(2992 × 2992)		

 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
SUPER FINE	圧縮率が低い最高画質のモードです。
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **SUPER FINE**、**FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます (357)。再度ファンクションボタンを押すか、撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

設定されている画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
SUPER FINE	SUPER FINE+RAW
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

記録方式

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全に復元できます）。「FUJIFILM RAW Converter*1」、「Capture One*1」、「RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX*2」、「FUJIFILM X RAW STUDIO」などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。記録した画像は 非圧縮 と同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 30～90%、16bit RAW で約 45～100% になります。
圧縮	データを非可逆圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全には復元できません）。記録した画像は 非圧縮 とほぼ同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 25～35%、16bit RAW で約 30～40% になります。

*1 対応時期については Capture One 社のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.captureone.com/>

*2 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>

出力

設定	説明
16 bit	16 ビットの RAW 画像を出力します。
14 bit	14 ビットの RAW 画像を出力します。

! 16 bit はドライブモードが **1 コマ撮影** または **ピクセルシフトマルチショット** のときのみ有効です。

JPEG/HEIF 選択

記録する画像のファイル形式を JPEG と HEIF で切り替えることができます。

設定	説明
JPEG	JPEG で撮影します。再生互換性に優れたファイル形式です。
HEIF	HEIF で撮影します。圧縮効果に優れた保存形式ですが、画像の再生や転送できる環境が限られています。



- 多重露出のときは、**HEIF** に設定していても自動的に **JPEG** に切り替わります。
- **HEIF** を選んでいるときは、**明瞭度**の設定は無効になります。また、**色空間**は **sRGB** になります。
- HEIF 画像は拡張子が「.HIF」のファイルとしてメモリーカードに保存されます。このファイルをパーソナルコンピューターで再生する場合は、ファイルの拡張子を「.HEIC」に変更してください。ただし、カメラとパーソナルコンピューターを USB 接続して画像を転送する場合、拡張子は自動的に「.HEIC」に変更されます。

フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

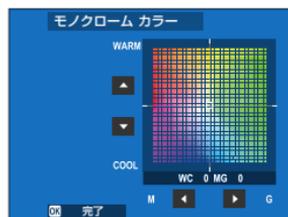
設定	説明
 STD PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 V Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 S ASTIA/ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 C クラシッククローム	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 RA REALA ACE	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
 NHi PRO Neg. Hi	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
 NStd PRO Neg. Std	ニュートラルな階調で画像加工に最適です。肌色の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
 N クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 Nv ノスタルジックネガ	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気表現します。
 E ETERNA/シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
 EB ETERNA ブリーチバイパス	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。

設定	説明
 ACROS	<p>質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 ●  ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 ●  ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 モノクロ	<p>モノクロで表現します。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  モノクロ + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 ●  モノクロ + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 ●  モノクロ + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 セピア	セピア調で表現します。

-  フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 348）。
- フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/products/film-simulation/>

モノクローム カラー

フィルムシミュレーションの **ACROS** または **モノクロ** で撮影したモノクロの色調を、赤みがかかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。**WARM** から **COOL**、または **G**（緑）から **M**（マゼンタ）の2つの軸で調整できます。



グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を与えます。

強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。

粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

カラークローム・エフェクト

赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

カラークロームブルー

青系の色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

スムーズスキン・エフェクト

人物の肌をなめらかに補正します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、逆光や明暗差の大きなシーンで白とびを抑えて、より見た目に近い画像を撮影できます。

設定	おすすめ用途
AUTO (自動調整)	☺100 100% コントラストのある画像が撮影できます。
	☺200 200% ⇕
☺400 400%	明暗差が大きいシーンでの、白とびを抑えます。

❗ ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

- 📷 **ダイナミックレンジが AUTO のときは、☺100 100% または ☺200 200% で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。**
- ☺200 200 % は ISO 感度が ISO 160 以上 ISO 12800 以下、☺400 400 % は ISO 320 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。

設定	説明
AUTO	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
強	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
弱	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
OFF	階調補正を行いません。



- **弱**は ISO 感度が ISO 160 以上 ISO 12800 以下、**強**は ISO 320 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- **D レンジ優先**が **OFF** 以外に設定されている場合、**トーンカーブ**、**ダイナミックレンジ**は自動的に設定されるため、変更することができなくなります。

ホワイトバランス

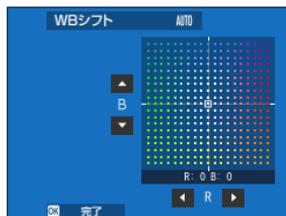
ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
 AUTO ホワイト優先	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で白色が再現されやすくなります。
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
 AUTO 雰囲気優先	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で、より温かみのある雰囲気を出します。
 カスタム 1	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
 カスタム 2	
 カスタム 3	
 色温度設定	色温度を設定します。
 晴れ	晴天の屋外での撮影用です。
 日陰	曇天や日陰などでの撮影用です。
 蛍光灯 1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
 電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

-  人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ **AUTO ホワイト優先** /  **AUTO 雰囲気優先** /  **水中** 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (p.348)。

WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- フォーカスレバーでシフト量を調整するときは、フォーカスレバーによる斜め移動はできません。

カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス ($\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$) を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面内に表示します。



- **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
- カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。

3 シャッターボタンを全押しして設定します。

-  前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは - (マイナス) 側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは + (プラス) 側に露出補正してから、再度測定してください。



K 色温度を設定する

光源の色温度に合わせて設定します。

-  色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度が表示されます。



- 2 フォーカスレバーで色温度を調整し、**MENU/OK** ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。



- リアコマンドダイヤルを回して 10K きざみで調整することもできます。
- 色温度は 2500K から 10000K の間で調整できます。
- シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

- 4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

トーンカーブ

トーンカーブを参考にしながら、ハイライト部やシャドウ部の調子をそれぞれ設定できます。硬くしたいときは「+」側に、柔らかくしたいときは「-」側に設定します。



設定	設定値
ハイライト	-2 ~ +4
シャドウ	-2 ~ +4

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

高感度ノイズ低減

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

明瞭度

ハイライト部とシャドウ部の階調をなるべく保ったまま、画像をはっきりとさせます。画像をはっきりとさせたいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

❗ 0以外の値に設定して撮影した場合、画像処理のため保存に時間がかかります。

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

❗ ON にすると、画像処理のため保存に時間がかかります。

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像や動画の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、 **画質設定タブ**を選びます。

2  **ピクセルマッピング**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、ピクセルマッピングを実行します。

-  実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数十秒程度かかることがあります。

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。保存した設定で撮影するときは、モードダイヤルを **C1 (カスタム 1)** から **C6 (カスタム 6)** のいずれかに合わせてから撮影します (📖 84)。

カスタム登録内容の自動更新

カスタム登録の内容を自動更新できます。

設定	説明
する	カスタム設定 (カスタム 1 ~ 6) の内容を変更すると、設定内容が自動的に更新されます。
しない	カスタム登録の内容を自動更新しません。カスタム登録内容を変更する場合は手動で行います (📖 85)。

📷 マウントアダプター設定

マウントアダプターを装着したときの設定を行います。

📺 動画の設定も同時に変更されます (📖 195)。

シャッター選択

レンズシャッター付きレンズをご使用の場合は、シャッター制御を**ボディ**(カメラ本体)で行うか、**レンズ**のシャッターで行うかを選びます。

⚠️ ご使用になるレンズによっては、機能しない場合があります。

レンズ登録

レンズ1～レンズ6にそれぞれレンズの設定を登録できます。**OFF**を選ぶとレンズの補正は行いません。

焦点距離設定

ご使用になるレンズの実焦点距離をフォーカスレバーで設定します。



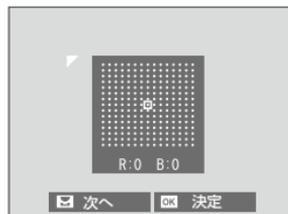
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。



色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。

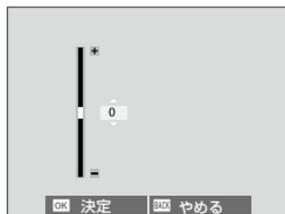


- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 フォーカスレバーで補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - レッド/シアン（横軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - ブルー/イエロー（縦軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。

 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5**～**+5**と**0**（ゼロ）の計11段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

レンズ名編集

レンズ名を編集できます。

フォーカス設定（静止画）

静止画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF**（フォーカス設定）タブを選びます。

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[図 95](#)）。

AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します（[図 93](#)）。

ゾーンカスタム設定

AF モードがゾーンのときのフォーカスエリアの範囲を変更できます。

サブメニュー

ゾーンカスタム 1

ゾーンカスタム 2

ゾーンカスタム 3

AF モードオール設定

AF モードがオールのときに選べるフォーカスエリアを設定します。撮影スタイルに合わせて、使用したいフォーカスエリアだけを設定できます。フォーカスモードが **S** (**AF-S**) または **C** (**AF-C**) のときでそれぞれ設定できます。

サブメニュー

AF-S

AF-C

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1 ~ 5** を選びます。**SET 6 カスタム** で設定値を任意で設定することもできます。



設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適用する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
SET 6 カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 SET 1 ~ 5 で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください (146、148)。

各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。



設定値

0

1

2

3

4



- 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。



設定値

0

1

2



- 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、そのあとはロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。

! ゾーンエリア特性は AF モードに **[Z]** ゾーンを選んでいるときのみ有効です。

SET 1 ～ 5 の特性について

SET 1 ～ 5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。



- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。フォーカスレバーで設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。設定画面で  ボタンを押すと、設定をリセットします。
- 3 DISP/BACK ボタンで設定を決定します。

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときの AF モードを別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF ポイント表示

AF フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド/トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フォーカスポイント循環

フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

設定	説明
する	フォーカスエリアが画面の一番端に移動すると、反対側の端に回り込みます。
しない	フォーカスエリアが画面端で止まります。

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117 点 (9 × 13)	117 点 (9 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
425 点 (17 × 25)	425 点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

設定値

ON

OFF

❗ ON にすると、バッテリーの消費が早くなります。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値

ON

OFF

- ❗
- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
 - 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
 - 人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物の明るさが適正になるように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。



設定	説明
顔検出 ON	<p>顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 瞳 AF OFF：顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。 ● 瞳 AF AUTO：顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 右目優先：顔を検出したときに優先して右目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 左目優先：顔を検出したときに優先して左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
- **顔検出 ON** に設定すると、**被写体検出 AF 設定**は自動的に **OFF** になります。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに顔を検出すると、顔の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の顔を検出した場合は、カメラが自動で顔を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる顔を変更できます。**AFモード**が **[] ワイド** のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる顔を変更することもできます。
- 目にピントが合っているときに**右目 / 左目切替**を割り当てたファンクションボタンを押すと、ピントを合わせる目を切り替えることができます。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (348)。

被写体検出 AF 設定

動物や乗り物など、あらかじめ設定された種類の被写体を検出し、その被写体にピントを合わせるかどうかを設定できます。

設定	説明
被写体検出 ON	<p>被写体検出を使用します。さらに検出する被写体の種類を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  動物：犬、猫を検出して追尾します。 •  鳥：鳥、昆虫を検出して追尾します。 •  クルマ：主にモータースポーツの車両や、車両のフロント部分を検出して追尾します。 •  バイク & 自転車：バイクや自転車のライダーを検出して追尾します。 •  飛行機：飛行機のコックピットや機首、ボディ、ドローンを検出して追尾します。 •  電車：鉄道車両の運転室や車両前面を検出して追尾します。
OFF	被写体検出を使用しません。

 被写体検出 ON に設定すると、 顔検出 / 瞳 AF 設定は自動的に OFF になります。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに被写体を検出すると、被写体の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の被写体を検出した場合は、カメラが自動で被写体を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる被写体を変更できます。**AFモード**が  **ワイド**のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる被写体を変更することもできます。
- ピントを合わせた被写体が撮影画面から外れると、被写体が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、被写体以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した被写体が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も被写体を検出できます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (📖 348)。

AF+MF

ON に設定すると、AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回したときに AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF

- 
 • 距離指標付レンズをお使いの場合はレンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。
- 
 • フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、自動的に設定されているフォーカスモードに戻ります。
- **MF アシストのデジタルスプリットイメージとデジタルマイクロプリズム**は使用できません。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

 **フォーカス設定 > フォーカスチェック**を **ON** にしてフォーカスリングを回すと、**AF モードがシングルポイント**のときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回して切り替えます。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（📖 102）。

設定	説明
デジタル スプリット イメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。 スプリットイメージの上部、中央部、下部に 3 本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは モノクロ 、 カラー のいずれかを選べます。
デジタル マイクロ プリズム	ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。
フォーカス ピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
OFF	通常表示です（MF アシストを使用しません）。

 リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MF アシスト** の設定を切り替えることができます。

MF アシストフォーカスリング連動

ON にすると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したときのみ **MF アシスト** で設定した表示が表示されます。

設定値	
ON	OFF

 フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、**MF アシスト** が終了します。

フォーカスチェック

ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF



- リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光がマルチまたはスポットのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

カメラアイコン ワンプッシュ AF 時の動作

フォーカスモードが **M** のときの AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。



動画の設定も同時に変更されます（📖 200）。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

 動画の設定も同時に変更されます（ 200）。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

 **AF+MF** が **ON** のときは、設定にかかわらずピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。

フォーカスリミッター

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。

設定	説明
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。
カスタム	最短距離と最長距離を指定してピントを合わせる範囲を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 実行：設定した範囲で撮影します。 • 設定：2つの対象物を指定して、その間の範囲にピントを合わせるように設定します。
プリセット1 プリセット2	あらかじめ設定されている範囲でピントを合わせて撮影します。

-  ピントを合わせる範囲を、使用するレンズの最短撮影距離よりも手前に設定した場合、フォーカスリミッターは無効になります。
- フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。
- 撮影距離範囲切り換えスイッチがあるレンズを装着すると、カメラとレンズの両方の設定が有効になります。それぞれのピントを合わせる範囲が重なるように設定してください。

-  **カスタム**設定時は次の操作もできます。
 - タッチパネルで2つの対象物をタッチして指定することもできます。
 - 対象物を選ぶかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。
- 動画の設定も同時に変更されます（ 200）。

タッチパネルモード

液晶モニター（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 AF ↓ ↑  AF OFF	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。



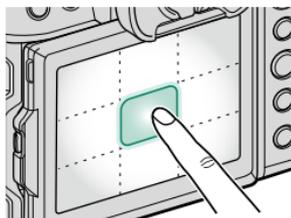
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

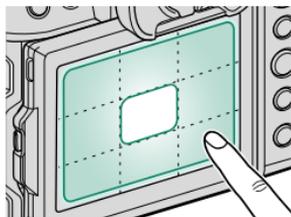
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。

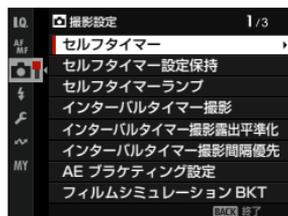


撮影設定（静止画）

静止画撮影時の設定を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**📷**（撮影設定）タブを選びます。

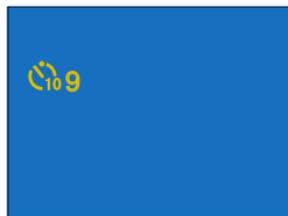
 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

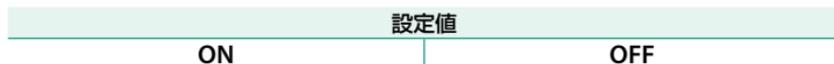


設定	説明
 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

- ❗ シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

セルフタイマー設定保持

ON にすると、電源をオフにしても**セルフタイマー**の設定が維持されます。



セルフタイマーランプ

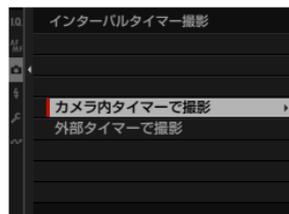
ON にすると、セルフタイマー撮影中にセルフタイマーランプが点滅します。夜景を撮影するときなどは **OFF** に設定してください。



インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の**撮影間隔**と**撮影回数**を設定できます。

- 1 撮影メニューから **撮影設定** > **インターバルタイマー撮影** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 2 **カメラ内タイマーで撮影** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



 タイマー付きリモートリリースで撮影するときは**外部タイマーで撮影**を選んでください。撮影画面に戻り、リモートリリースで撮影ができます。

- 3 **撮影間隔**と**撮影回数**を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



4 開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



❗ パルプ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- 📌 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。AC パワーアダプター AC-5VJ をご使用ください。
- インターバルタイマー撮影中に ▶ ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。もう一度 ▶ ボタンを押すか、撮影の時間になると、撮影画面に戻ります。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケータランプが緑色に点滅します。
- 撮影回数を ∞ に設定すると、インターバルタイマー撮影設定前の画面に表示されていた撮影可能枚数まで撮影します。

インターバルタイマー撮影露出平準化

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にカメラが自動で露出を調整し、直前に撮影された画像と明るさが大きく変化しないようにします。

設定値

ON

OFF

- ❗ 被写体の明るさが大きく変化するとき、露出が安定しないように見えることがあります。その場合、**インターバルタイマー撮影の撮影間隔**を短くすることをおすすめします。
- マニュアル (M) 撮影のときは、**感度**が AUTO のときのみ露出の平準化を行います。

インターバルタイマー撮影間隔優先

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にシャッタースピードが撮影間隔よりも長くなるように、カメラが自動でシャッタースピードを調整します。

設定値

ON

OFF

- ❗ シャッタースピードが **A** (オート) のときのみ有効です。

AE ブラケットング設定

AE ブラケットング撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AE ブラケットングで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • コマ：撮影するコマ数を選びます。 • ステップ：明るさの変化量を選びます。
1コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none"> • 1コマ：シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。 • 連続：シャッターボタンを1度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。
撮影順序設定	AE ブラケットングの撮影順序を設定できます。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する3枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ（フィルム1、フィルム2、フィルム3）設定します（ 128）。

フォーカス BKT 設定

フォーカス BKT 撮影の方法を**マニュアル**か**AUTO**で選べます（ 113）。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（ 106）。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
EF 電子先幕シャッター	カメラが状況に応じて電子先幕またはメカニカルシャッターで撮影します。
ME メカニカル+電子	カメラが状況に応じてメカニカルまたは電子シャッターで撮影します。
EF+電子先幕シャッター+電子	カメラが状況に応じて電子先幕、電子、メカニカルシャッターのいずれかで撮影します。

EF 電子先幕シャッターに設定していても高速シャッターを使用すると、MS メカニカルシャッターになります。



- 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが（[図 313](#)）、被写体のプライバシーや肖像権などに十分配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- 電子先幕シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - シャッタースピードが高速になるほど露光ムラが大きくなり、被写体のボケ像が欠けて写ることがあります。



電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 80 ~ 12800 に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。ただし、ピクセルシフトマルチショット撮影時は発光します。

フリッカー低減

蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定	説明
全コマ	全コマでフリッカー低減処理を行います。1コマ目のみでフリッカー低減処理を行う場合に対し、連写速度が遅くなります。
1コマ目のみ	1コマ目のみでフリッカー低減処理を行い、2枚目以降（連写時）はその処理を継続します。連写中にフリッカーが見えてきてしまうことがあります。
OFF	フリッカー低減を行いません。



- フリッカー低減を使用すると、撮影にかかる時間が長くなります。
- 電子シャッターでは、フリッカー低減がOFFになります。
- 動画撮影では、使用できません。

フリッカーレス S.S. 設定

ON にすると、LED 照明などで発生するフリッカー現象の影響を低減するために、通常よりもシャッタースピードを細かく設定することができます。

設定値	
ON	OFF



撮影モードが **S** または **M** のときのみ有効です。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます（[図 104](#)）。

ブレ防止モード

手ブレ補正のON/OFFを設定します。

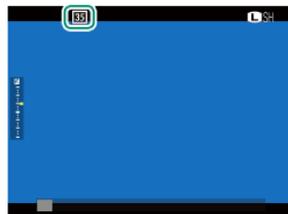
設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードがCのときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。OFFのときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ（OISスイッチ）がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。

35mm フォーマットモード

撮影メニューの  **撮影設定** で **35mm** フォーマットモードを設定すると、画角が35mmになり、画面の表示も変更されます。



設定	説明
ON	画角が35mmになり、画面の表示も変更されます。
OFF	35mm フォーマットモードを使用しません。
AUTO	自動検出に対応しているマウントアダプターを装着しているときは、35mm フォーマットモードに自動で切り替わります。



- セットアップメニューの  **表示設定** > **画面のカスタマイズ** で **35mm** フォーマットモードのアイコンを表示させるかどうか（工場出荷時の設定値は ）設定できます（[P.23](#)、[P.322](#)）。
- 撮影メニューの  **画質設定** > **画像サイズ** は **L 3:2** 固定になります。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

 スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

フラッシュ設定（静止画）

静止画撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
⚡（フラッシュ設定）タブを選びます。



フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ/シンクロターミナル」をご覧ください（[図 369](#)）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（[P.357](#)）。
- ロックしていても調光補正はできません。
- **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光+ キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

コマンダー設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4

動画設定（動画）

動画撮影に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（動画設定）タブを選びます。



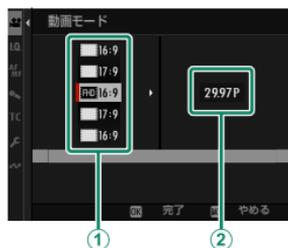
動画設定一覧

現在の動画撮影の設定を一覧表示します。

 動画のクイックメニューが表示されているときに **DISP/BACK** ボタンを押しても表示できます。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレートを変更できます。



1 撮影メニューから **動画設定** > **動画モード** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの上下で動画の画像サイズとアスペクト比を選び (①)、フォーカスレバーを右に動かします。

- **4K 16:9**、**4K 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の 4K 動画を撮影します。
- **FHD 16:9**、**FHD 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の FULL HD 動画を撮影します。

3 フレームレートをを選び (②)、**MENU/OK** ボタンを押します。

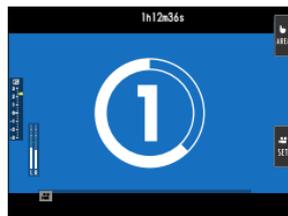
設定値					
23.98P	24P	25P	29.97P	50P	59.94P

 フレームレートは、動画モードによって選択できる設定値が異なります。

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから録画が開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定値

3 秒

5 秒

10 秒

OFF

メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式、ビットレート、プロキシ動画についての設定ができます。

メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式などを設定できます。

動画の記録先

撮影した動画の記録先や記録方法、出力先を設定できます。

設定	説明
1→2	メモリーカードスロット1に保存します。メモリーカードの容量がなくなったら、メモリーカードスロット2に自動的に切り替えて保存します。
2→1	メモリーカードスロット2に保存します。メモリーカードの容量がなくなったら、メモリーカードスロット1に自動的に切り替えて保存します。
1+2	2枚のメモリーカードに同時に保存します。
SSD	USB端子に接続したSSDにのみ出力します。
HDMI	HDMI端子に接続した機器にのみ出力します。



バックアップする動画の動画モードを変更することはできません。撮影時の設定で記録されます。

ファイル形式、圧縮方式

動画のファイル形式や、圧縮方式を設定できます。

設定	説明
H.264 ALL-I 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを ALL-I で圧縮します。
H.264 LongGOP 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを Long GOP で圧縮します。
H.264 LongGOP 420 MP4	WEB へのアップロードなどに適した動画を撮影できます。
H.265 ALL-I 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを ALL-I で圧縮します。
H.265 LongGOP 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを Long GOP で圧縮します。
H.265 ALL-I 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを ALL-I で圧縮します。
H.265 LongGOP 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを Long GOP で圧縮します。
ProRes HQ MOV*	ProRes 422 HQ フォーマットの動画を保存します。
ProRes 422 MOV*	ProRes 422 フォーマットの動画を保存します。
ProRes LT MOV*	ProRes 422 LT フォーマットの動画を保存します。

* 動画の記録先で  を選んでいるときのみ



- ProRes はパーソナルコンピューターなどでの編集を前提とした形式です。
- HDMI 端子に接続した機器には、H.264 の場合は 4:2:2 8bit、H.264 以外の場合は 4:2:2 10bit で出力します。
- **ALL-I** は撮影したコマを 1 コマずつ圧縮する方式です。データ量は大きくなりますが、各コマのデータが保存されているので編集を前提とした動画撮影に適しています。
- **Long GOP** は良好な画質と高い圧縮率を備えた圧縮方式です。データ量は小さく、長時間の撮影に適しています。
- **動画モード、F-Log/HLG 撮影**の設定によって、設定できるファイル形式や圧縮方式が異なります。

ビットレート

動画のビットレートを設定できます。

設定値				
50Mbps	100Mbps	200Mbps	360Mbps	720Mbps



- ビットレートは圧縮方式の設定によって選択できる設定値が異なります。映像によっては設定値より低い値となる場合があります。
- ProRes 撮影時のビットレートは画像サイズやフレームレート、ProRes の種類によって自動的に設定されます。詳細は Apple のウェブサイトをご確認ください。

プロキシ設定 (ProRes 記録時のみ)

ProRes 撮影時にプロキシ動画を同時に記録するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON (H.264)	H.264 形式のプロキシ動画を記録します。
ON (ProRes Proxy)	ProRes Proxy のプロキシ動画を記録します。
OFF	プロキシ動画を記録しません。



- プロキシ動画のある元の動画をカメラで消去すると、元の動画とプロキシ動画の両方が消去されます。元の動画だけ、またはプロキシ動画だけをカメラで消去することはできません。
- パーソナルコンピュータで記録メディア内の動画を消去するときは、元の動画とプロキシ動画を同時に消去してください。

HDMI 出力設定

HDMI 端子に接続した機器に撮影画面を出力する場合の設定ができます。

HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

RAW 出力設定

HDMI 端子に接続した外部レコーダー用に RAW 動画を出力するかどうかを設定します。

設定	説明
RAW 出力設定 ATOMOS	Atomos 社製の外部レコーダー用の RAW 動画を出力します。
RAW 出力設定 Blackmagic	Blackmagic design 社製の外部レコーダー用の RAW 動画を出力します。
OFF	RAW 動画を出力しません。



- 動画の画像サイズは自動的に 4K に変更されます。
- RAW 出力時はメモリーカードに記録できません。
- **RAW** で撮影された映像は、カメラ内部の画像補正処理が反映されません。
- ISO 感度は ISO 640 以上、ISO 12800 以下になります。
- 外部レコーダーの表示画質は、外部レコーダーの仕様にもとづいて RAW から作られる映像であり、最終的なポストプロダクションなどで得られる映像を再現できない場合があります。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、カメラの画面の拡大表示機能は使用できません。
- **RAW** で撮影された映像を、対応している外部レコーダー以外で HDMI 出力すると、モザイク画像が表示され正しく表示できません。
- RAW 出力時は動画モードは無効になります。

動画クロップ倍率固定モード

動画のクロップ倍率を 1.1 倍に固定します。動画モードを変更したときに撮影範囲を合わせやすくなります。

設定値	
ON	OFF

F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG (Hybrid Log-Gamma) による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 F-Log  F-Log	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
 FLog2  FLog2	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log2 で撮影された映像が記録・出力されます。
   F-Log	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには F-Log で撮影された映像が出力されます。
   FLog2	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには F-Log2 で撮影された映像が出力されます。
 F-Log  	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーにはフィルムシミュレーション映像が出力されます。
 FLog2  	メモリーカードには F-Log2 で撮影された映像が記録され、外部レコーダーにはフィルムシミュレーション映像が出力されます。
 HLG  HLG	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。



- **F-Log** および **FLog2** は、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。**FLog2** は **F-Log** よりもダイナミックレンジが広いガンマカーブです。**F-Log** は ISO 感度が ISO 400 以上、ISO 12800 以下、**FLog2** は ISO 感度が ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 640 以上、ISO 12800 以下になります。
- フィルムシミュレーションの映像 (🎞️) は、撮影メニューの **画質設定 > フィルムシミュレーション** で選んでいる設定になります。
- メモリーカードへの記録と HDMI への出力が異なる設定の場合、**動画設定 > ブレ防止モード** を **IBIS/OIS + DIS** に設定していても、自動的に **IBIS/OIS** に切り替わります。

データレベル設定

撮影する動画の信号値の範囲を設定できます。

設定	説明
ビデオレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 16 ～ 235、10bit の場合は 64 ～ 940 の制限された範囲で記録します。
フルレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 0 ～ 255、10bit の場合は 0 ～ 1023 の範囲で記録します。

測光

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 106）。

フリッカーレス S.S. 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 169）。

設定値	
ON	OFF

ブレ防止モード

手ブレ補正のモードを設定します。

設定	説明
IBIS/OIS	センサーシフト式 (IBIS) と光学式 (OIS) のブレ補正を行います。OIS を搭載していないレンズを使用している場合は、IBIS でブレ補正を行います。
IBIS/OIS + DIS	IBIS と OIS に加え、電子式 (DIS) のブレ補正を行います。 動画モード に応じて画角がクロップされます。大きな手ブレを補正することができます。
OFF	ブレ補正を行いません。 OFF のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ (OIS スイッチ) がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じる場合があります。

ブレ防止モードブースト

手ブレ補正の強さを設定します。

設定	説明
ON	構図を固定して撮影する場合に適しています。
OFF	構図を変えながら撮影する場合に適しています。



ブレ防止モードブーストを割り当てたファンクションボタンを押すと、動画撮影中に設定を切り替えることができます (📖 357)。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
H (25600)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。
100 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
AUTO	被写体の明るさに応じて ISO 感度 (ISO100 ~ ISO12800) が自動的に設定されます。

ゼブラ設定

動画モードの画面に、露出オーバーで白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示できます。

設定	説明
ゼブラ右	 右上がりのゼブラ表示になります。
ゼブラ左	 左上がりのゼブラ表示になります。
切	ゼブラ表示しません。

ゼブラレベル

ゼブラ設定のゼブラレベル（輝度レベル）を設定します。

設定値										
50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

ウェーブフォーム / ベクトルスコープ

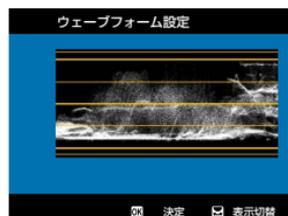
動画撮影時に色信号や輝度信号を表示できます。フォーカスレバーやコマンドダイヤルで表示する位置や大きさを変更できます。

設定値

ウェーブフォーム	パレード	ベクトル スコープ	OFF
----------	------	--------------	-----

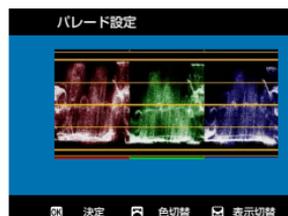
ウェーブフォーム

ウェーブフォームを表示します。



パレード

RGB パレードを表示します。フロントコマンドダイヤルを回して色の表示方法を変更できます。



ベクトルスコープ

ベクトルスコープを表示します。



OFF

ウェーブフォーム、パレード、ベクトルスコープを表示しません。

動画専用操作モード

ON にすると、コマンドダイヤルとタッチ操作で撮影時の設定を変更できます。動画撮影時、カメラの操作音を記録したくないときに便利です（[目録 33](#)）。

設定値	
ON	OFF

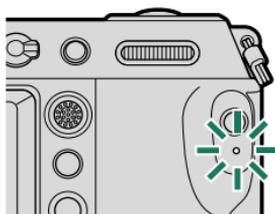
REC 枠表示

ON にすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。

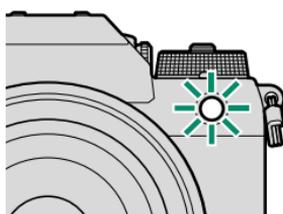
設定値	
ON	OFF

タリーランプ

動画撮影中に点灯するランプの切り替え（インジケータランプまたはAF 補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。



インジケータランプ



AF 補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面 	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
前面 OFF 背面 	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
前面  背面 	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点灯します。
前面  背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点灯します。
前面  背面 	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点滅します。
前面  背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプは消灯します。

カスタム登録 / 編集

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（ 84）。

カスタム登録内容の自動更新

静止画と共通のメニューです（ 140）。

ワイヤレス通信

静止画と共通のメニューです（ 171）。

画質設定（動画）

動画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ**（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フィルム シミュレーション

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 128）。

モノクローム カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 130）。

ダイナミックレンジ

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。

設定	説明
 100%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」(📖 132) を参照してください。
 200%	
 400%	



- 動画撮影時のダイナミックレンジには、**AUTO**（自動調整）はありません。
-  **200%**は ISO 感度が ISO 200 以上 ISO 12800 以下、 **400%**は ISO 400 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
-  **動画設定 > F-Log/HLG 撮影**が   の場合に設定できます。

ホワイトバランス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 134)。

トーンカーブ

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 138)。

カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 138)。

シャープネス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 138)。

高感度ノイズ低減

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 138)。

フレーム間ノイズリダクション

AUTO にすると、撮影条件に応じて自動的にフレーム間のノイズを軽減します。

設定値	
AUTO	OFF

 カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出る場合があります。

ピクセルマッピング

静止画と共通のメニューです (📖 140)。

周辺光量補正

ON にすると、動画の周辺光量を補正します。

設定値	
ON	OFF



- 別売のマウントアダプターを使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着した場合、**ON** にすると、撮影メニューの **画質設定 > マウントアダプター設定 > 周辺光量補正**（ 143）で設定した内容で、動画の周辺光量を補正します。
- 撮影した動画に縞模様が発生する場合は **OFF** にしてください。

マウントアダプター設定

静止画と共通のメニューです（ 141）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

フォーカス設定（動画）

動画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF**（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[図 95](#)）。

 動画撮影中はフォーカスエリアのサイズ変更はできません。

AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
ワイド/ トラッキング	フォーカスモードが C のときにフォーカスレバーを中央に押すか画面をタッチすると、被写体を自動で追尾します。フォーカスモードが S のときはピントを合わせる被写体をカメラが自動的に選びます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

AF-C カスタム設定

動画撮影時にフォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のもが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」(P146) を参照してください。

設定値				
0	1	2	3	4

- 数値が大きいくほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。速度を速くしたいときは「+」側に、遅くしたいときは「-」側に設定します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

フォーカスポイント循環

静止画と共通のメニューです (P149)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

顔検出 / 瞳 AF 設定

動画撮影時の顔検出の設定ができます。

設定	説明
顔検出 ON	設定については「  顔検出 / 瞳 AF 設定」(📖 151) を参照してください。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

 動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 >  顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしても顔検出は行われません。

被写体検出 AF 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください(📖 153)。

 動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 >  被写体検出 AF 設定が被写体検出 ON のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、 被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON にしても被写体検出は行われません。

AF+MF

ON にすると、フォーカスモードが **S** や **C** のときにマニュアルフォーカスで撮影できます。**AFON** ボタンを押すと解除できます。

設定値	
ON	OFF

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します (📖 102)。

設定	説明
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
フォーカスマーター	画面上の矢印の向きで被写体の前後どちらにピントが合っているかを表示します。
フォーカスマーター + ピーキング	フォーカスマーターとフォーカスピーキングの両方を使用してピントが確認できます。
フォーカスマップ	ピントが合っている場所や外れている場所を示す指標を画面上に表示します。
OFF	通常表示です (MF アシストを使用しません)。

MF アシストフォーカスリング連動

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 156)。

フォーカスチェック

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 157)。

ワンプッシュ AF 時の動作

静止画と共通のメニューです (📖 157)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

被写界深度スケール

静止画と共通のメニューです (📖 158)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

フォーカスリミッター

静止画と共通のメニューです (📖 159)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

タッチパネルモード

液晶モニター (LCD) のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 AF	<p>ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 フォーカスモードが M (MF) のときは、動画スタンバイ中はタッチした場所でワンブッシュ AF の動作を行い、動画撮影中はタッチした場所にフォーカスエリアを移動します。
 エリア選択	<p>フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、AF-ON を割り当てたボタンを押してください。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 フォーカスモードが M (MF) のときは、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させます。
 OFF	<p>タッチパネルモードを無効にします。</p>

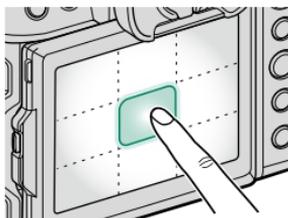
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

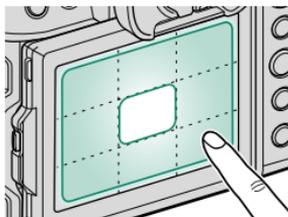
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



フォーカスチェックロック

拡大表示中に動画撮影を開始したときに、拡大表示を維持したまま撮影するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

オーディオ設定（動画）

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
🔊（オーディオ設定）タブを選びます。



内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マイク端子設定

マイク入力端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を 1 ~ 10 に設定します。

XLR マイクアダプター設定

XLR マイクアダプターを使用しているときに、マイク入力チャンネルなどを設定できます。

サブメニュー	内容
マイク入力チャンネル	<p>カメラの内蔵マイクも使用して 4ch 録音をするか、XLR マイクアダプターのマイクのみで 2ch 録音をするかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 4ch XLR+ カメラ: カメラの内蔵マイクも使用して、4ch 録音をします。• 2ch XLR のみ: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクのみで 2ch 録音をします。
4ch 音声モニタリング	<p>動画撮影中にヘッドホンなどでモニタリングする音声を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• XLR: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声をモニタリングします。• カメラ: カメラの内蔵マイクの音声をモニタリングします。
HDMI4ch 音声出力	<p>HDMI 端子に取り付けられた外部レコーダーに出力する音声を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• XLR: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を出力します。• カメラ: カメラの内蔵マイクの音声を出力します。

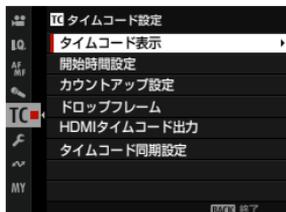


- カメラのマイク端子に外部マイクが取り付けられているときは、内蔵マイクの代わりに外部マイクの音声を使用します。
- 4ch 録音は動画のファイル形式が MOV のときのみ行えます。

タイムコード設定（動画）

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間 / 分 / 秒 / フレーム）
についての設定ができます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
TC（タイムコード設定）タブを選びます。



タイムコード表示

ON にすると、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
ON	OFF

開始時間設定

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うかを選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

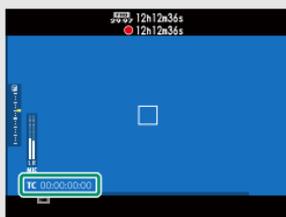
ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウントと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC 00:00:00:00

ON

TC 00:00:00:00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

HDMI タイムコード出力

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかを選びます。

設定値	
ON	OFF

タイムコード同期設定

外部機器とタイムコードを同期するかどうかを設定できます。

ATOMOS AirGlu BT と接続

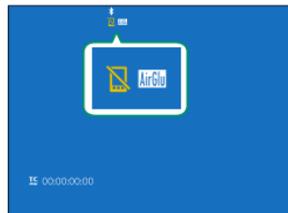
ON にすると、ペアリングされている外部機器と接続してタイムコードを同期します。スマートフォンと同時接続できないため、画面にスマートフォンアイコンが黄色に点灯します。

設定値	
ON	OFF

ペアリング登録

ATOMOS AirGlu BT とカメラをペアリングします。

- ATOMOS AirGlu BT と接続すると、画面にアイコンが表示されます。

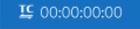


- ATOMOS AirGlu BT とのペアリングを解除するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定** > **Bluetooth 機器一覧**で行います。

タイムコードの同期状態

タイムコードの同期状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	同期状態
 (白)	タイムコードの同期機能を使用していません。
 (白)	タイムコードを同期しています。
 (黄)	外部機器と切断中、またはタイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。
 (赤)	フレームレートの設定が異なるため、タイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。

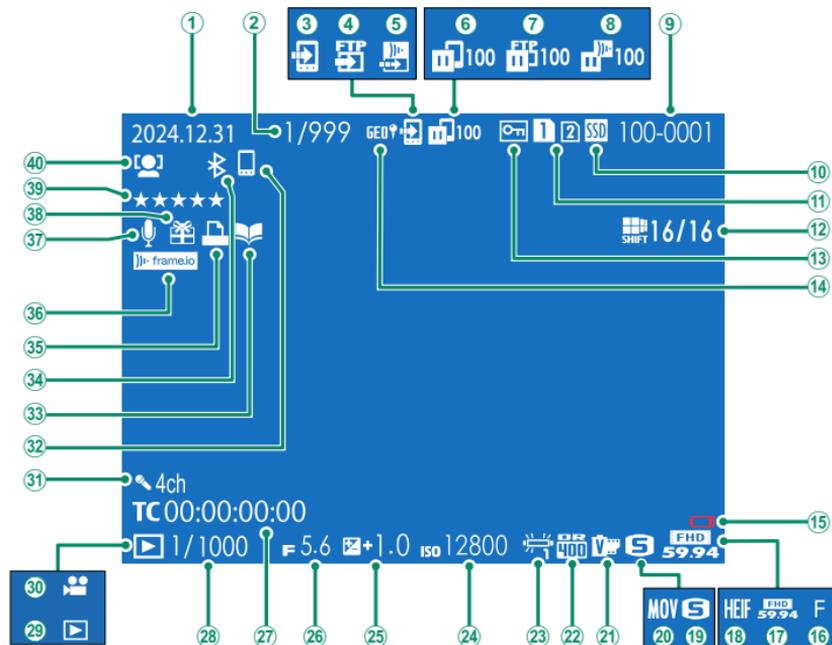
画像の再生と再生メニュー

7

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

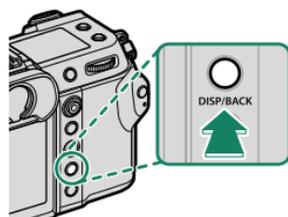
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻.....	54、56、305	②① フィルム シミュレーション.....	128
② コマ数表示		②② ダイナミックレンジ.....	132
③ 画像転送予約		②③ ホワイトバランス.....	134
④ FTP 画像転送予約		②④ ISO 感度.....	104
⑤ Frame.io 画像転送予約		②⑤ 露出補正.....	107
⑥ 画像転送状況		②⑥ 絞り値.....	75、78、80
⑦ FTP 画像転送状況		②⑦ タイムコード.....	207
⑧ Frame.io 画像転送状況		②⑧ シャッタースピード.....	75、76、80
⑨ コマ NO.....	342	②⑨ 再生モード.....	61
⑩ SSD 接続状態.....	47	③⑩ 動画アイコン.....	71
⑪ カードスロット.....	218	③① 4ch 音声.....	206
⑫ ピクセルシフトマルチショット.....	119	③② Bluetooth 接続先.....	245
⑬ プロテクト.....	226	③③ フォトブックアシスト.....	234
⑭ 位置情報.....	346	③④ Bluetooth ON/OFF	
⑮ バッテリー残量不足.....	53	③⑤ プリント予約.....	236
⑯ 画質モード.....	125	③⑥ Frame.io 接続状態.....	268
⑰ 動画モード.....	176	③⑦ ボイスメモ.....	228
⑱ HEIF 画像.....	127	③⑧ プレゼント.....	61
⑲ 画像サイズ.....	124	③⑨ レーティング.....	229
⑳ ファイル形式.....	179	④⑩ 顔検出.....	151

情報表示の切り替え

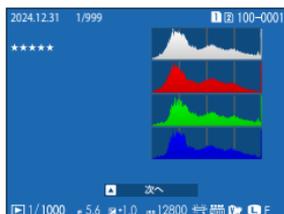
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



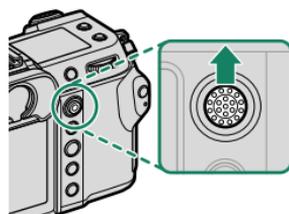
情報表示なし



INFO 画面

撮影時の情報確認

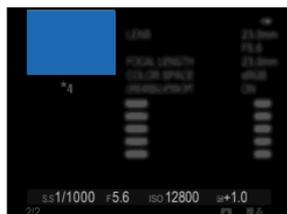
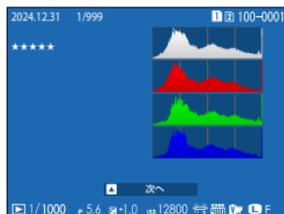
1コマ再生時にフォーカスレバーを上動かすと撮影時の情報を確認できます。



1コマ再生



INFO画面1



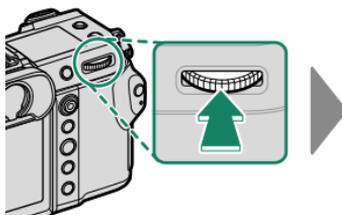
INFO画面3



INFO画面2

ピントの位置を拡大表示する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1コマ再生に戻ります。

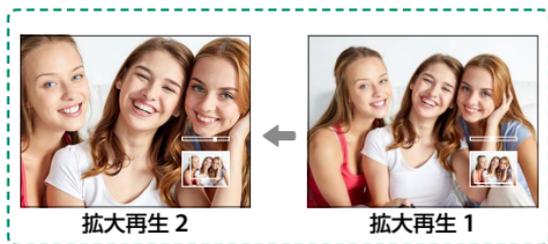


再生方法

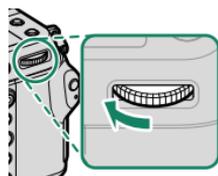
再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。リアコマンドダイヤルを左右に回すと図の順に表示が切り替わります。図と逆の向きに回すと逆の順に切り替わります。

 拡大表示や一覧表示のときに **DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すと1コマ再生画面に戻ります。



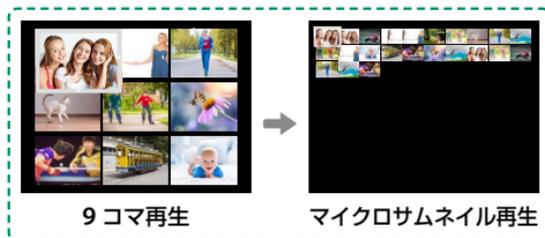
再生ズーム (拡大表示)



1コマ再生画面



マルチ再生 (一覧表示)



再生ズーム

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。

 最大ズーム倍率は、撮影時の  **画質設定** > **画像サイズ** によって変わります。

ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9 コマ、100 コマ (マイクロサムネイル) の一覧を表示できます。

-  • フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードや SSD を選びます。

 再生画面で  ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パーソナルコンピューターを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて別ファイルで保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

2 再生メニュー > RAW 現像を選びます。

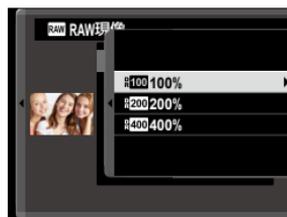
3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。

5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



6 フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。

保存する画像のプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押して、別ファイルとして保存します。

 RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、RAW 現像を表示できます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存する画像ファイルの形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感/減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
D レンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルム シミュレーション	色調を変更できます。
モノクローム カラー	フィルムシミュレーションの ACROS や モノクロ で撮影したモノクロ画像の色調を調整できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を与えます。
カラークローム・エフェクト	赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。
カラークローム ブルー	青系の色情報を階調豊かに表現します。
スムーズスキン・エフェクト	人物の肌をなめらかに補正します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
トーンカーブ	画像のハイライト部やシャドウ部の強弱を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
高感度ノイズ低減	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
明瞭度	画像をはっきりとさせます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。



撮影時の設定によって設定できない項目があります。

HEIF を JPEG/TIFF に変換

撮影した HEIF 画像を JPEG 画像や TIFF 画像に変換できます。

画像を選択

変換したい HEIF 画像を選択して、変換できます。

ファイル形式

変換するファイル形式を設定できます。

設定値		
JPEG	TIFF 8bit	TIFF 16bit

保存先スロット選択

変換した画像の保存先を設定できます。

設定値		
SSD	スロット 1	スロット 2

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

! 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピューターにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。

2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときには、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

 プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

 **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
• プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

同時消去

保存設定 > **カードスロット設定**を分割記録にして2枚のカードに記録したRAW画像とJPEG画像やHEIF画像を同時に消去するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	RAW画像を消去すると、別のカードに同時記録したJPEG画像やHEIF画像も消去されます。
OFF	RAW画像を消去しても、別のカードに同時記録したJPEG画像やHEIF画像は消去されません。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2 **再生メニュー** > **トリミング**を選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。

- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニュー > プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none">手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

- 
- 画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。
 - 再生画面で **AFON** ボタンを押してもプロテクトを設定したり解除したりすることができます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

- 1  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にします。
 - 2 再生画面で回転したい画像を選びます。
 - 3  再生メニュー > 画像回転を選びます。
 - 4 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
 - 5 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
- 
 - プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
 - 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパーソナルコンピューターで再生する場合は、画像は回転表示しません。
 -  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

ボイスメモ設定

静止画に音声を記録できます。

1  再生メニュー > ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、 が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、 **音設定 > 再生音量**でも設定できます。

レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

1 再生メニュー>レーティングを選びます。

2 フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで★の数（0～5）を設定します。



- フロントコマンドダイヤルの代わりにフォーカスレバーで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AEL** ボタンを押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。
- 以下の画像はレーティングを設定できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）

画像コピー

カメラのメモリーカードスロット1(以下、スロット1)に装着したメモリーカードやメモリーカードスロット2(以下、スロット2)に装着したメモリーカード、USB端子に接続したSSDとの間で、画像をコピーできます。

1 再生メニュー > 画像コピーを選びます。

2 コピーの方法を選びます。

設定	説明
SSD⇒スロット1	SSDの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。
SSD⇒スロット2	SSDの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット1⇒SSD	スロット1のメモリーカードの画像をSSDにコピーします。
スロット1⇒スロット2	スロット1のメモリーカードの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット2⇒SSD	スロット2のメモリーカードの画像をSSDにコピーします。
スロット2⇒スロット1	スロット2のメモリーカードの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。

3 フォーカスレバーを右に動かします。

4 コピーするコマ数を選びます。

設定	説明
1コマ	表示中の画像をコピーします。 • 手順5のあとにフォーカスレバーを左右に動かして、続けてコピーする画像を選べます。
全コマ	すべての画像をコピーします。

5 MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。

- ❗ コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- 32GB以下のSDメモリーカード(32GBを含む)の場合、ファイルサイズが4GBを超えたファイルはコピーされず、コピーを終了します。

スマートフォンに画像転送

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに画像を転送できます (📖 245)。

1 スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送を選びます。

 予約リセットを選ぶと、スマートフォンへの画像転送予約をすべて解除できます。

2 転送予約する画像を選びます。

MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

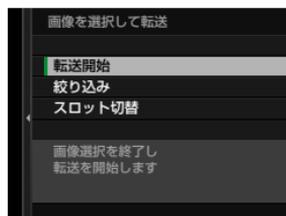
- 表示する画像を絞り込んだり、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- **Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



3 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

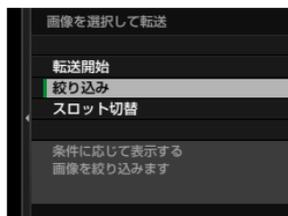
画像が転送されます。



画像の絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示する画像の絞り込みや、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- **絞り込み**を選ぶと、表示する画像を絞り込むことができます。
- **スロット切替**を選ぶと画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF 中の画像転送が ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定** を **選択 & スマートフォン転送予約** に設定しておく、**Fn1** ボタンを押して画像選択画面を呼び出すこともできます。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

-  スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

-  操作ボタン・ダイヤル設定 >  Fn1 ボタン設定を  ワイヤレス通信に設定しておく、Fn1 ボタンを押してスマートフォンと通信できます。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニュー>フォトブックアシストを選びます。

2 新規 **BOOK** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上動かすと表示されている画像を選択または選択解除し、下動かすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 **MENU/OK** ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/photoprinting/print>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておく、フジカラーデジタルカメラプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



プリント枚数

手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

- DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめネットワーク/USB 設定メニューの **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。

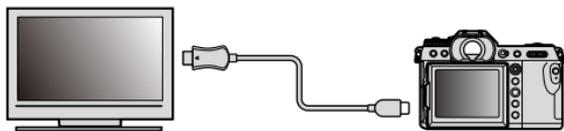


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定値

16:9

4:3



4:3 で撮影した静止画をテレビで全画面表示したいときは、**16:9** に設定してください。**16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。

ネットワーク /USB 機能と設定

メニュー

8

ネットワーク /USB 機能の概要

このカメラはパーソナルコンピューターやスマートフォンと接続して、撮影した画像を転送したり、パーソナルコンピューターやスマートフォンでカメラを操作して撮影することができます。

このカメラでできること

このカメラでできることは次の通りです。

接続セット選択で選んで使用できる機能

ネットワーク /USB 機能	内容	
スマートフォンアプリケーションと接続	スマートフォンと Bluetooth® で接続して、撮影した画像を転送したり、ライブビューを確認しながらカメラを操作できます。	245
USB カードリーダー	パーソナルコンピューターやスマートフォンと USB ケーブルで接続して、メモリーカード内の画像を転送できます。	250
ウェブカメラ	パーソナルコンピューターと USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。	255
instax プリント	instax プリンターと接続して、撮影した画像をプリントできます。	256
テザー撮影	USB ケーブルでパーソナルコンピューターと接続し、テザー撮影ができます。	258
RAW 現像	カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピューター上で行えます。	282
設定の保存読込	パーソナルコンピューターにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。	283

これらの機能は**接続セット選択**で選んで使用できます。

接続セット登録 / 編集で設定すると使用できる機能

ネットワーク /USB 機能	内容	
テザー撮影	無線 LAN でパーソナルコンピュータと接続し、テザー撮影ができます。	258
FTP サーバーへ ファイル転送	FTP サーバーに撮影したファイルを転送できます。	272

これらの機能は**接続セット登録 / 編集**で機能と通信方法を接続セットに登録してから、登録した接続セットを選ぶと使用できます。

ネットワーク /USB 設定メニューで設定すると使用できる機能

ネットワーク /USB 機能	内容	
Frame.io へ ファイル転送	Frame.io に撮影したファイルを転送できます。	265

この機能は**ネットワーク /USB 設定メニュー**で設定をすると使用できます。

カメラのインジケータランプの表示

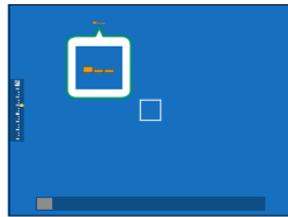
カメラのインジケータランプで、パーソナルコンピュータや Frame.io、FTP サーバーなどとの接続状態を確認できます。



インジケータランプ	接続状態
赤色点滅	ネットワークに接続していません。
赤色点灯	ネットワークに接続していません。転送待ちの画像があります。
橙色点滅	ネットワークに接続していますが、パーソナルコンピュータのテザー撮影ソフトウェアまたは Frame.io、FTP サーバーと接続していません。
橙色と赤色の交互点灯	ネットワークに接続していますが、パーソナルコンピュータのテザー撮影ソフトウェアまたは Frame.io、FTP サーバーと接続していません。転送待ちの画像があります。
緑色点滅	テザー撮影または Frame.io への転送、FTP 転送ができます。
緑色と赤色の交互点灯	テザー撮影または Frame.io への転送、FTP 転送ができます。転送待ちの画像があります。

EVF や LCD の表示

パーソナルコンピューターや Frame.io、FTP サーバーなどとの接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンでも確認できます。



アイコン	接続状態
	ネットワークに接続していません。
	ネットワークに接続していますが、パーソナルコンピューターのテザー撮影ソフトウェアまたは Frame.io、FTP サーバーと接続していません。
	テザー撮影または Frame.io への転送、FTP 転送ができます。

接続セットについて

接続セットとは機能と通信方法の組み合わせです。接続セットを選択して使用することで、カメラをパーソナルコンピューターやスマートフォンと連携して使用できます。

接続セットの選択

MENU/OK ボタンを押して、（ネットワーク / USB 設定）タブを選び、**接続セット 選択**を選びます。使用したい機能を選びます。



 無線 LAN でテザー撮影をするときは、**接続セット 登録 / 編集**で新しい接続セットをウィザード形式で作成し、登録してください。

接続セットの登録

使用する機能と通信方法をネットワーク / USB 設定メニューの**接続セット 登録 / 編集**で登録します。

使用したいネットワーク / USB 機能を**接続セット 登録 / 編集 > ウィザード 登録**で選び、登録を完了します (284)。



スマートフォンアプリケーション を使用する

カメラとスマートフォンを Bluetooth® で接続すると、撮影画像をスマートフォンへ転送したり、ライブビューを確認しながらカメラをスマートフォンで操作できます。

 撮影画像の転送時は自動的に無線 LAN で接続します。

スマートフォンにアプリケーションをインストールする

カメラとスマートフォンを接続するためには、あらかじめ専用のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。以下のウェブサイトをご覧ください、スマートフォンにアプリケーションをインストールしてください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

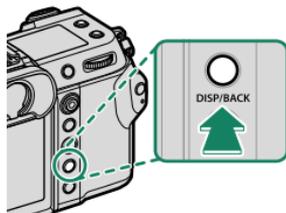


 使用できるアプリケーションはスマートフォンの OS によって異なります。

カメラとスマートフォンを接続する

カメラとスマートフォンをペアリングして、Bluetooth® で接続します。

1 撮影画面で **DISP/BACK** ボタンを長押しします。

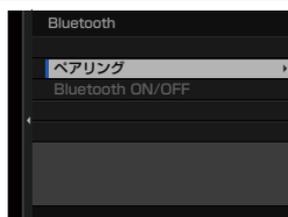


 再生画面で長押ししたときは、手順 3 に進みます。

2 Bluetoothを選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 ペアリングを選び、MENU/OK ボタンを押します。



4 スマートフォンのアプリケーションを起動し、カメラとペアリングします。

詳しい手順は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

ペアリングをすると、自動的にカメラとスマートフォンがBluetoothで接続されます。カメラとスマートフォンが接続されると、カメラの表示画面にスマートフォンアイコンと白いBluetoothアイコンが表示されます。



- 一度ペアリングを行うと、スマートフォンアプリケーションを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- スマートフォンと接続しないときはBluetoothをオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。

スマートフォンアプリケーションを使用する

スマートフォンアプリケーションを使用するときは、あらかじめ**接続セット**選択で**1: 標準設定**を選んでから、スマートフォンのアプリケーションを起動してください。

 あらかじめ **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** を ON にしてください。

スマートフォンアプリケーションで選んで画像を転送する

スマートフォンアプリケーションで転送する画像を選んで、スマートフォンに画像を転送することができます。

 スマートフォンアプリケーションの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

撮影した画像を自動的に転送する

ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > 撮影時 自動画像転送** を ON にすると、撮影した画像がペアリングしているスマートフォンに自動的に転送されます。

-  ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が ON で、電源 OFF 中の画像転送が ON のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > スマートフォン送信時圧縮** を ON にすると、転送する画像のサイズを圧縮して転送します (p.293)。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > ファイル形式選択** で、転送する画像のファイル形式を設定できます。

再生メニューから画像を選んで転送する

スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送で、選んだ画像をBluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送できます。

1 スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送を選びます。



予約リセットを選ぶと、スマートフォンへの画像転送予約をすべて解除できます。

2 転送予約する画像を選びます。

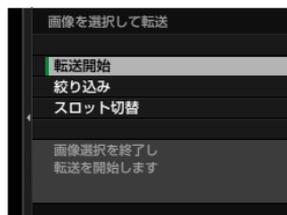
MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込んだり、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



3 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

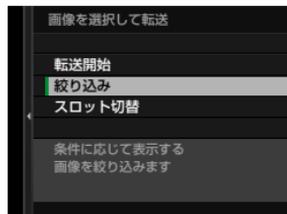
画像が転送されます。



画像の絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示する画像の絞り込みや、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- **絞り込み**を選ぶと、表示する画像を絞り込むことができます。
- **スロット切替**を選ぶと画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! **絞り込み**や**スロット切替**を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ネットワーク/USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF** 中の **画像転送** が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定** を **♪ 選択 & スマートフォン転送予約** に設定しておく、**Fn1** ボタンを押して画像選択画面を呼び出すこともできます。

USB カードリーダーとして使用する

カメラとスマートフォンやパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続すると、撮影画像を転送できます。

スマートフォンに画像を転送する

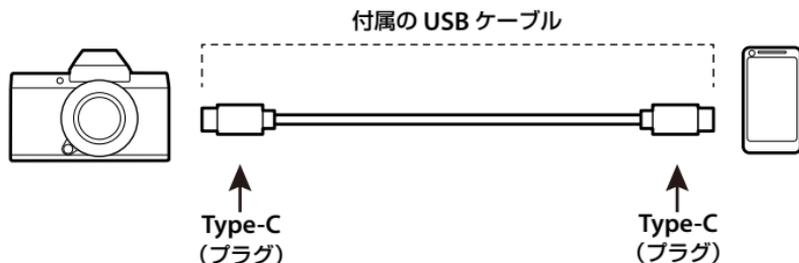
スマートフォンに画像を転送するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にしてからカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

Android のスマートフォンをお使いの方

スマートフォンに搭載されている USB 端子の形状によって、接続方法が異なります。

USB Type-C の場合

付属の USB ケーブルがご使用いただけます。



- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にします。
- 2 接続セット選択で **2: USB カードリーダー** を選びます。
- 3 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。



「Camera Importer」以外のアプリケーション（「フォト」など）へのアクセスを許可するかどうかを確認する通知が表示された場合は、「キャンセル」をタップして手順 4 に進みます。

4 スマートフォンを操作して、「Android システム・USB PTP に接続しました」の通知をタップします。

5 USB デバイス用のアプリケーションの中から「Camera Importer」を選びます。

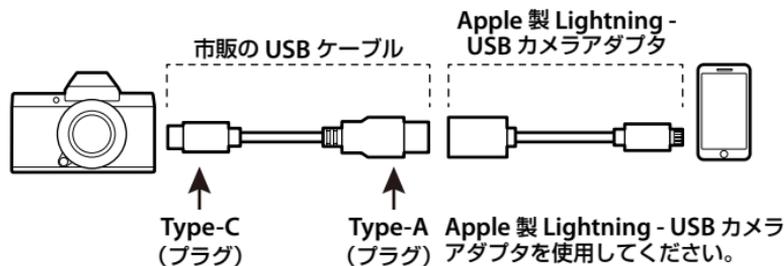
自動的に「Camera Importer」アプリケーションが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



「Camera Importer」アプリケーションから「There is no MTP device connected」などの通知が表示された場合は、USB ケーブルを抜いて、手順 3 からやり直してください。

iOS のスマートフォンをお使いの方

カメラアダプタでカメラとスマートフォンを接続します。カメラには USB 端子 (Type-C) が搭載されているので、別途カメラアダプタの USB 端子 (Type-A) と接続するケーブルをご用意ください。



1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。

2 接続セット選択で **2: USB カードリーダー** を選びます。

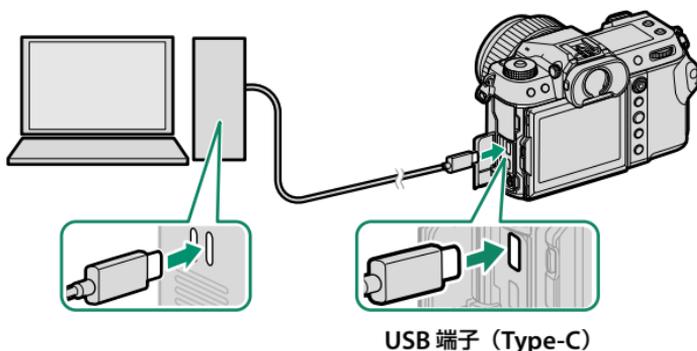
3 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

「写真」アプリケーションを起動すると、画像 / 動画をインポートできます。

- ❗ USB Type-C を搭載した機器を接続するときは、Type-C to C の USB ケーブルを使用してください。
- USB Type-C と Lightning のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。Apple 製 Lightning - USB カメラアダプタを使用してください。

パーソナルコンピューターに画像を転送する

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続セット選択で **2: USB カードリーダー**を選びます。
- 3 カメラの電源をオフにします。
- 4 パーソナルコンピューターを起動します。
- 5 USB ケーブルで、カメラとパーソナルコンピューターを接続します。



! USB ケーブルは、長さが 1m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

- 6 カメラの電源をオンにします。
- 7 画像を転送します。
 - **Mac OS X / OS X / macOS の場合**：OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ファイルサイズが 4GB を超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。
 - **Windows の場合**：OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。



- USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパーソナルコンピューターを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手持のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパーソナルコンピューターの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパーソナルコンピューターの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパーソナルコンピューターの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパーソナルコンピューターのようにご利用になれないことがあります。
- パーソナルコンピューターでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パーソナルコンピューターの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ウェブカメラとして使用する

カメラをパーソナルコンピュータに接続して、ウェブカメラとして使用できます。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続セット選択で **6: USB WEBCAM** を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (📖 253)。
- 4 ウェブカメラを使用するアプリケーション上で、カメラを選択します。

instax プリントする

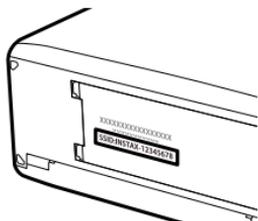
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像をプリントできます。

プリンターとの接続を設定する

ネットワーク/USB 設定メニューの **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

- 1 接続セット選択で 1: 標準設定を選びます。
- 2 プリンターの電源を入れます。
- 3 再生メニューの instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- 4 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

- 5 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

テザー撮影をする

USB や無線 LAN でカメラとパーソナルコンピューターを接続し、パーソナルコンピューター上でカメラを操作して静止画を撮影したり、撮影した画像をパーソナルコンピューターに転送や保存したりすることができます。

- USB 接続でテザー撮影をする (258)
- 無線 LAN 接続でテザー撮影をする (260)

USB 接続でテザー撮影をする

USB ケーブルでカメラとパーソナルコンピューターを接続して、テザー撮影をします。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にします。
- 2 接続セット選択で **3: USB テザー撮影 自動** または **4: USB テザー撮影 固定** を選びます。



- **3: USB テザー撮影 自動** を選ぶと、接続したパーソナルコンピューターの電源がオンのときは自動的にテザー撮影状態になります。パーソナルコンピューターと接続していないときや、パーソナルコンピューターの電源がオフのときはテザー撮影状態にはならず、撮影した画像はカメラのメモリーカードに保存されます。
- **4: USB テザー撮影 固定** を選ぶと、パーソナルコンピューターと接続していないときもカメラは常にテザー撮影状態になり、撮影しても画像は保存されません。

- 3 カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (253)。

4 テザー撮影をします。

「Adobe Lightroom Classic + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」、
「FUJIFILM X Acquire」、「Capture One」などのソフトウェアをご使用
ください。



- X Acquire を使うときは、カメラのシャッターボタンを押して撮影します。
- テザー撮影の詳しい方法は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-dsc.com/jp/tether/>
- 使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/products/software/>

無線 LAN 接続でテザー撮影をする

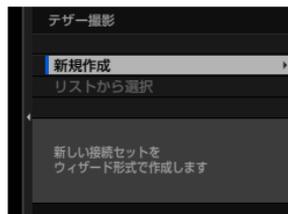
無線 LAN に接続し、ネットワーク上にあるパーソナルコンピュータでテザー撮影をします。

1 ネットワーク / USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録でテザー撮影を選びます (284)。

2 新規作成を選びます。



リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの編集ができます。



3 確認画面が表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。



4 無線 LAN を選びます。



5 新規作成を選んで通信セットを作成します。

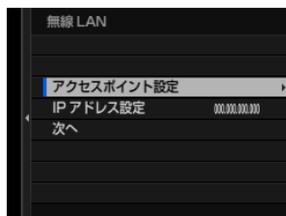


すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

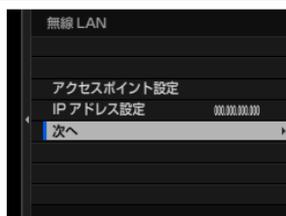


6 無線 LAN の設定をします。

- **アクセスポイント設定**：「アクセスポイント登録で簡単接続する (262) 」をご覧ください。
- **IP アドレス設定**：「IP アドレスを設定して接続する (263) 」をご覧ください。



7 無線 LAN の設定が終わったら、次へを選びます。



8 通信セットの名前を登録します。



9 接続セットの登録をします。 MENU/OK ボタンを押します。



10 新規作成を選びます。

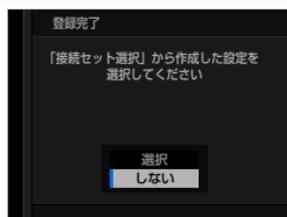


11 接続セットの名前を登録します。



12 選択を選びます。

-  **接続セット選択**であとから選択することもできます。



13 パーソナルコンピュータでテザー撮影をします。

テザー撮影可能なソフトウェアをご使用ください。

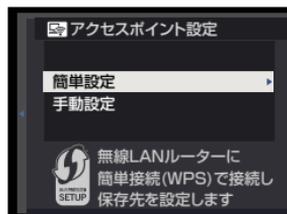
-  テザー撮影の詳しい方法は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-dsc.com/jp/tether/>
- 使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/products/software/>

アクセスポイント登録で簡単接続する

無線 LAN ルーターの簡単接続機能を使用してパーソナルコンピュータと接続し、テザー撮影をします。

1 簡単設定を選びます。

-  **手動設定**を選ぶと手動で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。



2 画面の指示にしたがって無線 LAN ルーターを操作します。

-  フォーカスレバーを上動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。



3 登録が完了したら MENU/OK ボタンを押します。

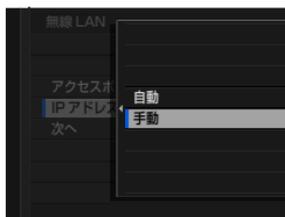


IP アドレスを設定して接続する

手動で IP アドレスなどのネットワーク /USB 設定を登録し、テザー撮影をします。

1 手動を選びます。

-  自動を選ぶとカメラに IP アドレスが自動的に割り当てられます。



2 手動でアドレスの設定をします。



- **IP アドレス**を選んで IP アドレスを入力します。
- **サブネットマスク**を選んでサブネットマスクを入力します。
- **ゲートウェイ**を選んでゲートウェイを入力します。
- **DNS サーバー**を選んで DNS サーバーを入力します。



Frame.io にファイル転送する

撮影したファイルを Frame.io に転送できます (📖 387)。

 カメラの日付設定をしていない場合は正しい日付を事前に設定してください。

無線 LAN で接続する

無線 LAN で Frame.io と接続します。

- 1 Frame.io Camera to Cloud > 接続するを選びます。

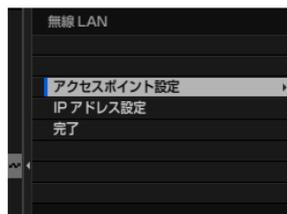


- 2 新規作成を選んで通信セットを作成します。



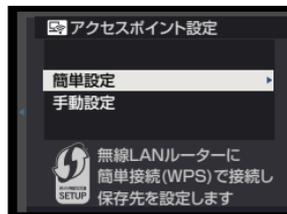
 すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

- 3 アクセスポイント設定を選びます。
IP アドレス設定を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます (📖 267)。



4 簡単設定を選びます。

 手動設定を選ぶと手動で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。



5 画面の指示にしたがって無線 LAN ルーターを操作します。

 フォーカスレバーを上動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。

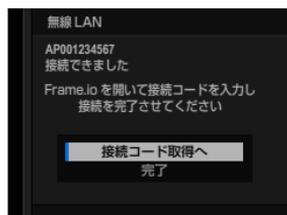


6 登録が完了したら MENU/OK ボタンを押します。



7 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



8 パーソナルコンピューターなどから Frame.io へログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

9 Frame.io にファイルを転送します (📖 269)。

IP アドレスを設定して接続する

手動で IP アドレスなどのネットワーク /USB 設定を登録し、Frame.io に接続します。

1 手動を選びます。

- 
自動 を選ぶとカメラに IP アドレスが自動的に割り当てられます。



2 手動でアドレスの設定をします。

- **IP アドレス** を選んで IP アドレスを入力します。
- **サブネットマスク** を選んでサブネットマスクを入力します。



- **ゲートウェイ**を選んでゲートウェイを入力します。
- **DNS サーバー**を選んで DNS サーバーを入力します。



接続状態の確認

Frame.io との接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	接続状態
 (白)	Frame.io に接続しています。
 (黄)	Frame.io へのファイル転送をカメラ側で一時停止しています。接続を再開するには、 Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の転送 / 一時停止を転送 にしてください。
 (グレー)	Frame.io に接続していません。
 (赤)	Frame.io サーバーのカメラステータスが paused に設定されています。接続を再開するには、パーソナルコンピューター側などで Frame.io の paused の設定を解除してください。

Frame.ioへファイルを転送する

Frame.io Camera to Cloud でファイルを選んで転送する

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **Frame.io Camera to Cloud** を選びます。
- 2 アップロード設定 > 画像を選択して転送を選びます。



- **NETWORK** と **Frame.io** には接続状態が表示されます。
- **PROJECT** と **USER** にはパーソナルコンピューターなどで Frame.io に入力した内容が表示されます。使用する文字によってはカメラに正しく表示されないことがあります。この場合は文字が「?」で表示されます。

- 3 転送予約するファイルを選びます。

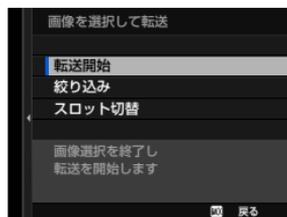
MENU/OK ボタンを押してファイルを選択します。

- 表示するファイルを絞り込んだり、ファイルを表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、ファイルを選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すとファイルを全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始するファイルと終了するファイルを選んで範囲選択できます。



4 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

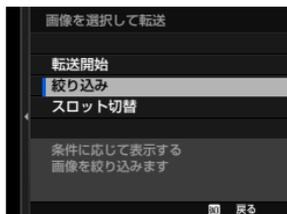
Frame.io にファイルが転送されます。



ファイルの絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

ファイル選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示するファイルの絞り込みや、ファイルを表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- **絞り込み**を選ぶと、表示するファイルを絞り込むことができます。
- **スロット切替**を選ぶとファイルを表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだファイルは選択解除されます。

- 同じメモリーカードで最大 9999 枚まで転送予約することができます。
- **Frame.io Camera to Cloud > 電源 OFF 中の画像転送が ON** のときは、カメラの電源がオフのときでもファイルを Frame.io に転送します。

撮影したファイルを自動転送する

Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の撮影時 自動画像転送を ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

再生画面でファイルを選んで転送する

操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定を  Frame.io 転送予約に設定しておくこと、再生画面で **Fn1** ボタンを押して転送予約をしたり、予約を上書き / キャンセルしたりできます。

FTP サーバーへファイル転送する

あらかじめ用意した FTP サーバーとカメラを接続して、撮影した画像を FTP サーバーに転送できます。

FTP サーバーと接続する

無線 LAN で接続する

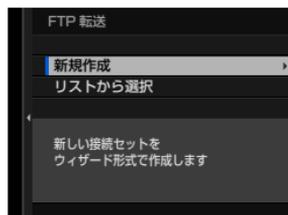
無線 LAN で FTP サーバーと接続します。

1 ネットワーク / USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録で FTP 転送を選びます。

2 新規作成を選びます。



リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの選択や編集ができます。



3 確認画面が表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。



4 無線 LAN を選びます。



5 新規作成を選んで通信セットを作成します。

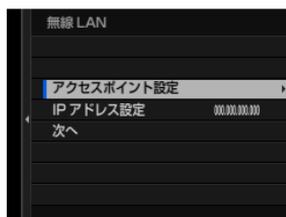


すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

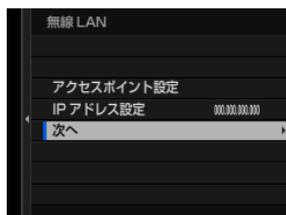


6 無線 LAN の設定をします。

- **アクセスポイント設定**：「アクセスポイント登録で簡単接続する (目 262)」をご覧ください。
- **IP アドレス設定**：「IP アドレスを設定して接続する (目 263)」をご覧ください。



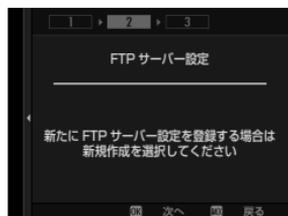
7 無線 LAN の設定が終わったら、次へを選びます。



8 通信セットの名前を登録します。



- 9 確認画面が表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して、FTP サーバーの接続設定をします (276)。



- 10 FTP サーバーの接続設定が終わったら、接続セットの登録をします。
MENU/OK ボタンを押します。



- 11 新規作成を選びます。



- 12 接続セットの名前を登録します。



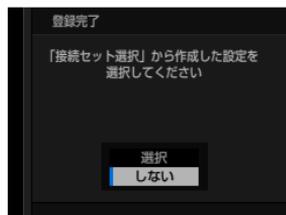
13 実行を選んで接続テストをします。

接続テストの成功画面が表示されたら
MENU/OK を押してください。

 接続テストが失敗したときは通信セットやネットワークの設定を確認してください。

**14** 選択を選んで登録完了します。

 接続セット選択であとから選択することもできます。

**15** FTP サーバーに画像を転送します (📖 279)。

FTP サーバーとの接続設定

画像を転送する FTP サーバーとの接続を設定します。

1 FTP サーバー設定画面で新規作成を選びます。

すでに作成した FTP サーバー設定を選ぶと、選んだ FTP サーバー設定の選択や編集ができます。



2 FTP サーバータイプを選びます。



3 FTP サーバーアドレスを設定します。



4 FTP サーバーのポート番号を設定します。

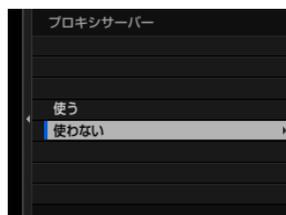


5 プロキシサーバーを使用するかどうかを選びます。

ここでは**使わない**を選んだときの手順を説明します。



使うを選んだときは続けてプロキシサーバーのアドレスやポート番号の設定ができます。



6 パッシブモードを使用するかどうかを選びます。

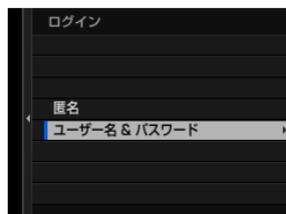


7 ユーザー名 & パスワードを選びます。

FTP サーバーにログインする時のユーザー名とパスワードを設定します。

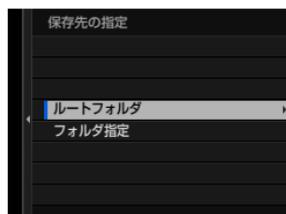


- ユーザー名やパスワードを必要としないFTPサーバーに接続するときは**匿名**を選んでください。
- FTPサーバータイプに**FTPS**を選んでいると、FTPサーバーを信頼する方法を設定できます。独自のルート証明書を使用する場合は**FTP オプション設定 > ルート証明書**でルート証明書を設定してください。



8 画像の保存先を選びます。

- **ルートフォルダ**を選ぶと、FTPサーバー上のルートフォルダに保存します。
- **フォルダ指定**を選ぶと、保存するフォルダを指定できます。



9 FTP サーバー上の保存先に同じ名前の画像ファイルがあったときの動作を設定します。

- **する**を選ぶと、同じ名前のファイルがあるときは FTP サーバー上の画像ファイルが上書きされます。
- **しない**を選ぶと、同じ名前のファイルがあるときは、ファイル名の末尾に番号が追加されます（例：DSCF0001_(0).JPG）。



10 FTP サーバー名を設定します。

設定した名称は FTP 選択画面に表示されます。



FTPサーバーへ画像を転送する

FTPサーバーに転送したい画像を選んで転送予約をします。

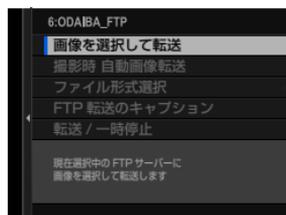
- FTP オプション設定で画像を選んで転送する (図 279)
- 撮影した画像を自動転送する (図 281)
- 再生画面で画像を選んで転送する (図 281)

 カメラが動画撮影モードのときは画像は転送されません。

FTP オプション設定で画像を選んで転送する

1 ネットワーク / USB 設定メニューの FTP オプション設定を選びます。

2 画像を選択して転送を選びます。



3 転送を選びます。



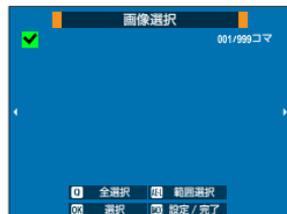
優先転送を選んでから画像を選ぶと、転送で選んだ画像よりも先に FTP サーバーに転送されます。



4 転送予約する画像を選びます。

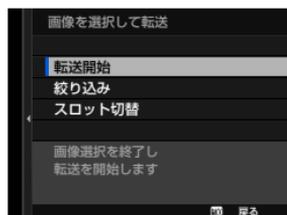
MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込んだり、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



5 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

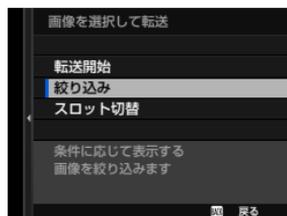
FTP サーバーに画像が転送されます。



画像の絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示する画像の絞り込みや、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- **絞り込み**を選ぶと、表示する画像を絞り込むことができます。
- **スロット切替**を選ぶと画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。

- 同じメモリーカードで最大 9999 枚まで転送予約することができます。
- **FTP オプション設定 > 電源 OFF 中の画像転送が ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像を FTP サーバーに転送します。

撮影した画像を自動転送する

ネットワーク / USB 設定メニューの **FTP オプション設定 > 撮影時 自動画像転送** を **ON** にすると、撮影した画像を自動的に転送予約します。

再生画面で画像を選んで転送する

操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定 を **FTP FTP 転送予約** または **FTP FTP 優先転送予約** に設定しておく、再生画面で **Fn1** ボタンを押して転送予約をしたり、予約を上書き / キャンセルしたりできます。

RAW 現像する

X RAW STUDIO を使用して、カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピュータ上で行うことができます。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定を自動または給電 OFF / 通信 ON** にします。
- 2 接続セット選択で **5 : USB RAW 現像 / 設定保存読み** を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (253)。
- 4 X RAW STUDIO を起動します。
X RAW STUDIO 上で RAW 現像ができます。



使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/software/>

設定の保存や読み込みをする

FUJIFILM X Acquire を使用して、パーソナルコンピューターにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりすることができます。

パーソナルコンピューターで設定の保存や読み込みをする

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続セット選択で **5 : USB RAW 現像 / 設定保存読込**を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (📖 253)。
- 4 FUJIFILM X Acquire を起動します。

FUJIFILM X Acquire 上で設定の保存や読み込みができます。



使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/software/>

ネットワーク / USB 設定メニュー

カメラのネットワーク / USB 機能の設定を変更できます。

撮影画面または再生画面で **MENU/OK** ボタンを押し、**☰**（ネットワーク / USB 設定）タブを選びます。



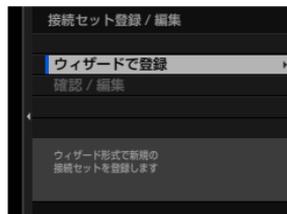
接続セット登録 / 編集

接続セットを登録 / 編集できます。

ウィザードで登録

接続セットに使用したいネットワーク / USB 機能と通信方法を登録します。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録** を選びます。



2 使用したいネットワーク /USB 機能を選びます。

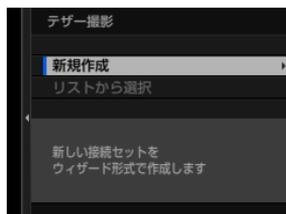


 以下の接続セットは登録済みです。使用するときは**接続セット選択**で選んでください。

- 1：標準設定
- 2：USB カードリーダー
- 3：USB テザー撮影 自動
- 4：USB テザー撮影 固定
- 5：USB RAW 現像 / 設定保存読込
- 6：USB WEBCAM

3 新規作成を選びます。

テザー撮影の場合はこの画面が表示されません。新しく設定する場合は**新規作成**を選んでください。



4 ネットワーク /USB 機能の設定をします。

設定方法はそれぞれのページをご覧ください。

- テザー撮影をする (📖 258)
- FTP サーバーへファイル転送する (📖 272)

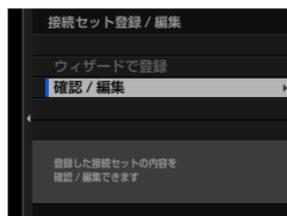
 登録した接続セットには通信セットを示すアイコンが表示されます。

確認 / 編集

登録した接続セットの設定を確認したり、編集したりすることができます。

ここでは、テザー撮影の接続セットの接続方法を編集する手順を主に説明します。

1 ネットワーク / USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > 確認 / 編集を選びます。



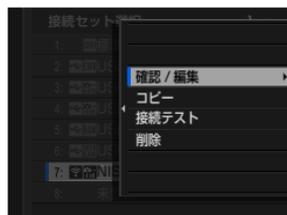
2 接続セットを選びます。

1：標準設定から 6：USB WEBCAM の接続セットは選ばません。



3 確認 / 編集を選びます。

- コピーを選ぶと、別の接続セットに設定をコピーできます。すでに登録されている接続セットをコピー先として選ぶと、手順 2 で選んだ接続セットの設定が上書きされます。
- 接続テストを選ぶと、接続できるかどうかをテストできます。
- 削除を選ぶと、選んだ接続セットを削除します。



4 通信セットを選びます。



- **接続セット名編集**を選ぶと、接続セットの名前を変更できます。
- FTP転送の接続セットを選んでいる場合は、**FTPサーバー設定**でFTPサーバーとの接続設定の確認や変更ができます(☞ 276)。



5 登録した通信セットを選びます。

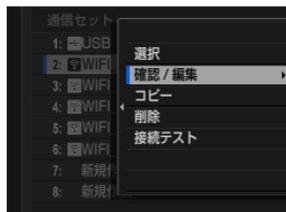


- **新規作成**を選ぶと、新しく通信セットを設定することができます。



6 確認 / 編集を選びます。

- **選択**を選ぶと、選んだ通信セットを接続セットに登録します。
- **コピー**を選ぶと、別の通信セットに設定をコピーできます。すでに登録されている通信セットをコピー先として選ぶと、手順5で選んだ通信セットの設定が上書きされます。
- **削除**を選ぶと、選んだ通信セットを削除します。接続セットに登録されている通信セットを削除した場合、その接続セットは削除されます。
- **接続テスト**を選ぶと、接続できるかどうかをテストできます。

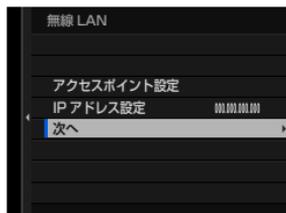


- 7** 設定の一覧画面が表示されたら、確認し、問題がない場合は終了を選びます。変更する場合はフォーカスレバーを右に押し、編集します。

通信セットの設定ができます。「アクセスポイント登録で簡単接続する (262)」や「IPアドレスを設定して接続する (263)」をご覧ください。



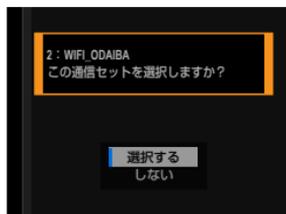
- 8** 通信セットの設定が終わったら、次へを選びます。



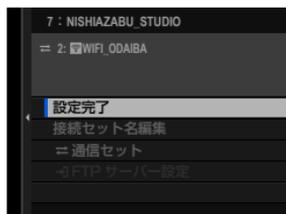
- 9** 通信セットの名前を登録します。



- 10** 選択するを選ぶと選んだ接続セットの通信セットが変更されます。



- 11** 設定完了を選んで接続セットの編集を終了します。



接続セット選択

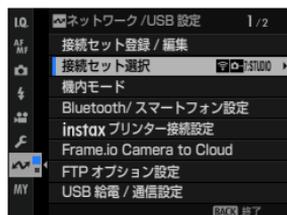
使用する接続セットを選べます。

接続セット	内容
1：標準設定	スマートフォンアプリケーションを使ったり、instaxプリンターでプリントしたりすることができます。
2：USBカードリーダー	パーソナルコンピューターやスマートフォンとUSBケーブルで接続して、メモリーカード内の画像を転送できます。
3：USBテザー撮影自動	パーソナルコンピューター上でカメラを操作して、静止画を撮影できます。
4：USBテザー撮影固定	<ul style="list-style-type: none"> ● 3：USBテザー撮影自動を選ぶと、接続したパーソナルコンピューターの電源がオンのときは自動的にテザー撮影状態になり、オフのときはテザー撮影状態にはなりません。 ● 4：USBテザー撮影固定を選ぶと、パーソナルコンピューターと接続していないときもカメラは常にテザー撮影状態になります。
5：USB RAW 現像 / 設定保存読込	カメラの画像処理エンジンを使用したRAW現像をパーソナルコンピューター上で行ったり、カメラの設定の保存や保存した設定を読み込んだりできます。
6：USB WEBCAM	パーソナルコンピューターとUSBケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。
7～16：登録した接続セット	接続セット登録 / 編集 で登録したネットワーク/USB機能が使えます。

接続セットを選択する

あらかじめ用意されている接続セットや、登録した接続セットを使用します。

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの接続セット選択を選びます。



- 2 使用したい接続セットを選びます。



機内モード

ON にすると無線 LAN や Bluetooth をオフにできます。

設定値

ON

OFF

Bluetooth/ スマートフォン設定

Bluetooth 接続に関する設定や、スマートフォンに関するさまざまな設定ができます。

 スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

ペアリング登録

スマートフォンアプリケーションがインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。

ペアリング接続先選択

ペアリング登録で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。**接続なし**を選択するとスマートフォンと接続しません。

ペアリング削除

ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。

 削除されたスマートフォンはペアリング接続先選択のリストからも削除されます。

Bluetooth 機器一覧

ペアリング登録されている機器のうち、スマートフォン以外の機器の一覧を確認したり、ペアリングを削除したりできます。

Bluetooth ON/OFF

ON にすると、ペアリング登録したスマートフォンでスマートフォンアプリケーションが起動したときに、カメラが自動的にスマートフォンと接続します。

設定値	
ON	OFF

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したときに画像を自動的に転送します。

設定値	
ON	OFF

スマートフォン位置情報同期

ON にすると、ペアリング登録されているスマートフォンと位置情報を同期します。

設定値	
ON	OFF

! スマートフォンアプリケーションが起動している必要があります。なお、スマートフォンアプリケーションが起動していても、途中でペアリングが切断された場合は、同期も中断されます。最後に位置情報を取得してから 30 分以上更新がないと、カメラの位置情報取得マークが赤い表示に変わります。

名前

無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

電源 OFF 中の接続

ON にすると、カメラの電源がオフのときでもスマートフォンとの Bluetooth 接続が維持できます。スマートフォンアプリ FUJIFILM XApp をご使用の場合、カメラの電源がオフの状態でも画像を転送したり、カメラの電源をオンにして撮影することができます。

設定値	
ON	OFF

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときに、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。

設定値	
ON	OFF

スマートフォン送信時圧縮

スマートフォンへ画像を送信するときの画像サイズを変更できます。ON にすると、画像サイズを圧縮して送信します。ON での使用をおすすめします。

設定値		
ON 	ON 	OFF



- メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズは変更されません。
- 記録画像サイズが L サイズ、M サイズの場合に、画像サイズを圧縮して転送します。このとき、ON  のときは約 12 メガピクセル、ON  のときは約 6 メガピクセルに圧縮されます。圧縮後のサイズは画像のアスペクト比によって異なります。

無線通信周波数設定

無線 LAN 通信を行うときの無線 LAN の周波数を設定します。

設定値

2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)

5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)



- 5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯 (W52) が使用可能かご確認ください。
- 購入した国・地域によって選べる設定値は異なります。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー

JPEG

RAW

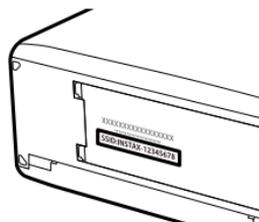
HEIF

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



Frame.io Camera to Cloud

Frame.io に関するさまざまな設定ができます。

接続する

登録した接続セットを選び、Frame.io プロジェクトに接続できます。

切断する

Frame.io プロジェクトとの接続を解除して、ネットワーク接続を終了します。

接続コードを取得

Frame.io プロジェクトに接続するための接続コードを表示します。パーソナルコンピューターやタブレットからアクセスした Frame.io の画面に入力するとカメラと Frame.io をペアリングできます。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー			
MOV - PROXY	MOV - ProRes	OTHER MOV/ MP4	JPEG
RAW	HEIF	TIFF	

アップロード設定

Frame.io でファイルを転送するときの設定ができます。

画像を選択して転送

撮影したファイルを選んで転送予約できます。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

設定値	
ON	OFF

転送 / 一時停止

Frame.io への転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときにファイルを Frame.io に転送します。

設定値	
ON	OFF

ルート証明書

Frame.io への接続に必要なルート証明書をカメラに設定できます。

サブメニュー	説明
記録メディアから 読込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

 ルート証明書の設定は、ネットワーク / USB 設定メニューの **FTP オプション設定** > **ルート証明書** と共通です。片方のルート証明書を変更すると、もう片方も変更されます。

アップロード状況

Frame.io へのファイルの転送状況を確認できます。

転送予約リスト

転送待ちのファイルを確認できます。

転送予約リセット

Frame.io へのすべての転送予約を解除できます。

FTP オプション設定

FTP 転送に関するさまざまな設定ができます。

画像を選択して転送

撮影した画像を選んで転送予約できます (279)。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影した画像を自動的に転送予約します。

設定値	
ON	OFF

ファイル形式選択

転送する画像のファイル形式を設定します。ファイル形式ごとに ON と OFF をそれぞれ設定できます。

サブメニュー					
JPEG	RAW	HEIF	TIFF	MOV	MP4

FTP 転送のキャプション

FTP 転送する画像や動画に付けるキャプションを設定できます。

サブメニュー	説明
デフォルト キャプション	<input checked="" type="checkbox"/> 保存設定 > デフォルトキャプションで設定したキャプションを付けます。
登録した キャプション	キャプションを作成したり、作成したキャプションを選んだりすることができます。
キャプションなし	キャプションを付けずに転送します。

転送 / 一時停止

FTP サーバーへの転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときに、撮影した画像を FTP サーバーに転送します。

設定値	
ON	OFF

FTP パワーセーブ

ON にすると、予約したファイルの転送が終わった時にネットワーク機能の電源をオフにして節電します。FTP 転送が追加予約されると、再びネットワーク機能の電源をオンにして転送を行います。

設定値	
ON	OFF

ルート証明書

FTP サーバータイプに **FTPS** を設定しているときに使用する独自のルート証明書をカメラに設定できます (📖 276)。

サブメニュー	説明
記録メディアから 読込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

 ルート証明書の設定は、ネットワーク/USB 設定メニューの **Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定 > ルート証明書** と共通です。片方のルート証明書を変更すると、もう片方も変更されます。

転送予約リセット

選択している接続セットに登録されている FTP サーバーへの、すべての転送予約を解除できます。

USB 給電 / 通信設定

パーソナルコンピューターやスマートフォンなどの機器と USB ケーブルで接続したときにカメラに給電するか、カメラと通信するかを設定します。

設定	説明
自動	接続した機器からカメラに給電するか、接続した機器と通信するかを自動的に切り替えます。
給電 ON/ 通信 OFF	接続した機器から給電します。カメラのバッテリーの消費を抑えることができます。接続した機器との通信はできません。
給電 OFF/ 通信 ON	カメラに給電せず、接続した機器と通信を行います。



給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器からは給電できません。これらの機器と接続するときはあらかじめ**給電 OFF/ 通信 ON** に設定してください。**給電 ON/ 通信 OFF** のまま接続すると、データの転送などができない場合があります。



カメラの電源がオフのときは、設定にかかわらずバッテリーの充電を行います。

情報表示

通信に関する情報を表示します。

サブメニュー	説明
ハードウェア情報	カメラの無線 LAN の MAC アドレスおよび IP アドレス、Bluetooth の MAC アドレスを確認することができます。
転送予約状況	Frame.io や FTP サーバーへの画像の転送先や転送状況を確認できます。
エラーの詳細	画面に  や  が表示されたときにエラーの内容を確認できます (p.426)。

ネットワーク /USB 設定初期化

ネットワーク /USB 設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。

セットアップメニュー

9

セットアップメニュー（基本設定）

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。



フォーマット

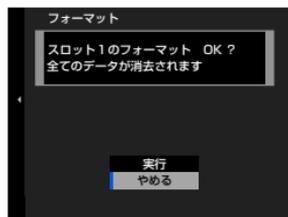
メモリーカードや USB 接続した SSD をフォーマット（初期化）します。

1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

2 フォーマットしたいメモリーカードが入っているスロット（スロット1/スロット2）を選びます。

 USB 端子に SSD が接続されているときは SSD も選べます。

3 MENU/OK ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



4 実行を選び、MENU/OK ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

 確認画面で **やめる** を選んだ状態で MENU/OK ボタンを押したり、DISP/BACK ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- ❗ プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

 （消去）ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を長押ししてもフォーマット画面を表示できます。

🏠 エリア設定

お住まいの地域やサマータイムの設定をします。

エリア設定

世界地図からお住まいの地域を選択します。

サマータイム

サマータイムを使用するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	サマータイムを使用します。
OFF	サマータイムを使用しません。

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。
- 3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。

 **+** 現地を選ぶときは、あらかじめ  エリア設定でお住まいの地域を設定してください。

現地時間の設定方法

1  現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの左右で旅行先のエリアを選びます。

 サマータイムを使用したいときは**サマータイム**を **ON** に設定してください。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

 **+** 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に **+** と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

マイメニュー設定

静止画撮影時によく使うメニューなどを  **マイメニュー**に登録しておくことができます（ 349）。

マイメニュー設定

動画撮影時によく使うメニューなどを  **マイメニュー**に登録しておくことができます（ 349）。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、ブロワーでセンサーをクリーニングしてください (p.404)。

バッテリー劣化度

バッテリーの劣化状態をチェックできます。バッテリーの劣化状態を0～4の目盛りの位置で表示します。数値が大きいくほどバッテリーの劣化が進んでいることを示します。



 バッテリーが劣化すると、バッテリーの消耗が早くなります。新しいバッテリーをお買い求めいただくことをおすすめします。

ファームウェアアップデート

メモリーカードに保存したファームウェアを使用して、カメラやレンズなどのファームウェアの更新ができます（ 405）。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選び MENU/OK ボタンを押します。

設定	説明
静止画メニュー リセット	静止画撮影メニューの  カスタム登録 / 編集 の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
動画メニュー リセット	動画撮影メニューの  カスタム登録 / 編集 の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの 日時設定 、  エリア設定 、 世界時計 、 著作権情報 以外がリセットされます。
初期化	ホワイトバランスのカスタムの内容以外の全ての設定がリセットされます。

2 確認画面で実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。

認証

セットアップメニューの **基本設定** > **認証** を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

セットアップメニュー（音設定）

カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。



AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

REC 開始終了音量

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

MSEF 電子シャッター音量

メカニカルシャッターや電子先幕シャッター使用時のシャッターをきる
ときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

MSEF 電子シャッター音

メカニカルシャッターや電子先幕シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド1	シャッター音1に設定します。
♪2サウンド2	シャッター音2に設定します。
♪3サウンド3	シャッター音3に設定します。

ES 電子シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
🔊(1)	音量「大」に設定します。
🔊(1)	音量「中」に設定します。
🔊(1)	音量「小」に設定します。
🔊OFF	消音に設定します。

ES 電子シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド1	シャッター音1に設定します。
♪2サウンド2	シャッター音2に設定します。
♪3サウンド3	シャッター音3に設定します。

再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。

4ch 音声再生

XLR マイクアダプターを使用して、4ch 録音で撮影された動画を再生するときの音声を選べます。

設定	説明
XLR	XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を再生します。
カメラ	カメラの内蔵マイクまたはマイク端子に取り付けられた外部マイクの音声を再生します。

 再生画面でフォーカスレバーを中央に押しして設定を切り替えることもできます。

セットアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。



VIEW MODE 設定

アイセンサー、EVF（ファインダー）、LCD（液晶モニター）の設定を切り替えます（ 18）。

EVF 明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	基準の明るさを設定すると、カメラが自動的に適切な明るさに調整します。
マニュアル	-7 ~ +5 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。



2 MENU/OK ボタンで決定します。

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。

2 MENU/OK ボタンで決定します。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、表示を終了します。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（M）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できません。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。デイトライティング撮影など、撮影時に露出の条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。

ナチュラルライブビュー

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピアでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

F-Log ビューアシスト

ON にすると、F-Log 撮影時や F-Log 撮影した動画の再生時に、階調補正を適用した映像（BT.709 相当）を画面に表示します。

設定値

ON

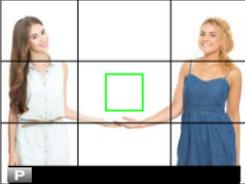
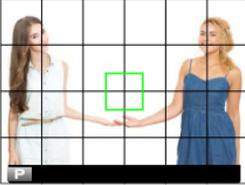
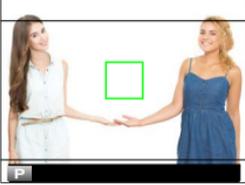
OFF

電子水準器設定

撮影時の電子水準器の表示を設定できます（📖 25）。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます（24 コマ）。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面の表示について」をご覧ください（📖 23）。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

再生時拡大倍率

再生時にリアコマンドダイヤルの中央を押して画像を拡大するときの拡大倍率を変更できます。

設定	説明
2倍（中央から）	撮影した画像の中央をそれぞれ設定した倍率で拡大表示します。
4倍（中央から）	画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。
8倍（中央から）	
等倍（合焦点から）	フォーカスエリア枠を中心にピクセル等倍で表示します。撮影した画像サイズにより、拡大倍率は変わります。
前回の倍率 （中央から）	前回到画像を再生したときの拡大倍率で、画像の中央を拡大表示します。画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル（m）に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート（ft.）に設定します。

2 画面モード表示設定

情報表示切り替えの「2画面」の表示設定を変更できます。

設定	説明
R: フォーカス L: フレーム	R (右) 側の子画面 (小さい画面) にピントを合わせた位置を拡大表示し、L (左) 側の親画面 (大きい画面) に撮影画面全体を表示します。
R: フレーム L: フォーカス	R (右) 側の子画面 (小さい画面) に撮影画面全体を表示し、L (左) 側の親画面 (大きい画面) にピントを合わせた位置を拡大表示します。

画面のカスタマイズ

撮影画面に表示したい項目を設定できます (📖 23)。

情報表示拡大モード (EVF)

ON にすると、EVF 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

! 情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (15)。

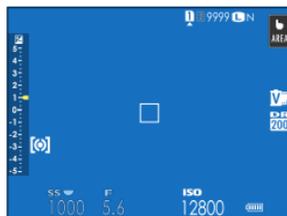
📄 ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます (357)。

情報表示拡大モード (LCD)

ON にすると、LCD 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

! 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (17)。

📄 ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます (357)。

情報表示拡大 表示設定

表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF)、情報表示拡大モード (LCD) を ON にしたときに拡大表示する項目を変更できます。



サブメニュー	説明
① 露出表示	画面の下部に表示する項目を選びます。画面に表示する項目には、 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
② <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ	ON にすると、露出補正ゲージが拡大表示されます。
③ L1、L2、L3、L4	画面の左側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。
④ R1、R2、R3、R4	画面の右側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。

情報表示コントラスト調整

表示画面のコントラストを調整できます。

設定	説明
高コントラスト	コントラストを高めに（明暗差を大きく）設定します。
通常	通常表示です。
低コントラスト	コントラストを低めに（明暗差を小さく）設定します。
暗所	暗い環境で使用するときに適したコントラストに設定します。

位置情報表示

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を表示できます。

設定値

ON

OFF

サブ液晶モニター設定

サブ液晶モニターに表示する画面を設定します。設定は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。設定できる画面は次のとおりです。

設定	説明
情報表示	カメラの設定を表示します。表示する項目は変更できます。
ダイヤル	ISO 感度とシャッタースピードをダイヤルのイラストで表示します。
ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。

 サブ液晶モニター切替ボタンを押すことで、それぞれの画面を切り替えることができます。

情報表示に表示する項目を変更する

情報表示に表示する項目は次のように変更できます。

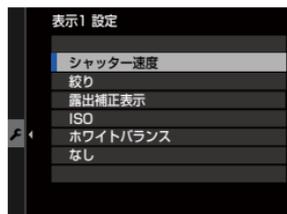
- 1 セットアップメニューから  表示設定 > サブ液晶モニター設定を選びます。
- 2 静止画撮影時または動画撮影時を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3 情報表示を選び、MENU/OK ボタンを押します。



4 表示を変更する場所を選び、MENU/OK ボタンを押します。



5 表示する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

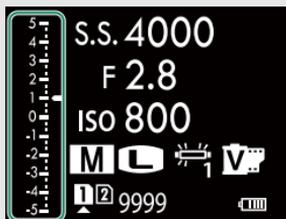


割り当て可能な項目は次のとおりです。

- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正表示
- ISO
- 動画モード
- 撮影モード
- 測光
- ドライブモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 画像サイズ
- 画質モード
- シャッター方式
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 35mm フォーマットモード
- ブーストモード
- プレ防止
- セルフタイマー
- 通信状況
- なし

6 手順 4 と手順 5 を繰り返して、表示項目を設定します。

 **ゲージ**の場所はゲージのオンまたはオフのみ選べます。



 **ゲージ**

サブ液晶モニター背景色

周囲の明るさや暗さに応じてサブ液晶モニターの背景色を変えることで、サブ液晶モニターを見やすくなります。

設定	説明
黒	暗い場所で撮影するときに選びます。
白	明るい場所で撮影するときに選びます。

 サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

クイックメニュー背景設定

静止画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

設定値	
透明	黒

クイックメニュー背景設定

動画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

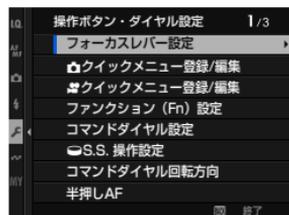
設定値	
透明	黒

セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定** (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
 ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

クイックメニュー登録 / 編集

静止画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (📖 351)。

クイックメニュー登録 / 編集

動画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (📖 351)。

ファンクション（Fn）設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます（ 357）。

コマンドダイヤル設定

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンドダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 にシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト)) または絞り値 (絞り)* を割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3 に、シャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り)*、露出補正 (露出補正)、ISO 感度 (ISO)、またはなしを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 3	
リアコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル回転時の機能をシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り)*、露出補正 (露出補正)、ISO 感度 (ISO)、またはなしに割り当てます。
露出補正割り当て	露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときに、フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルのどちらか、または両方で露出補正をするかを選びます。

* 撮影モードが **A** (絞り優先) か **M** (マニュアル) で、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているとき



- コマンドダイヤル設定は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 の順に切り替えます。

S.S. 操作設定

OFF にすると、コマンドダイヤルによるシャッタースピードの微調整機能が無効になります。

設定値	
ON	OFF

コマンドダイヤル回転方向

コマンドダイヤルで数値を変更するときの、ダイヤルを回す向きを変更できます。フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルでそれぞれ設定できます。

設定	説明
← → +	コマンドダイヤルを右に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。
+ ← →	コマンドダイヤルを左に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。

半押し AF

ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	<ul style="list-style-type: none">● ON : シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。● OFF : シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。
AF-C	<ul style="list-style-type: none">● ON : シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。● OFF : シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ONにすると、シャッターボタン半押し時にAEロック（露出を固定）します。フォーカスモードが **S**（AF-S）または **M**（マニュアルフォーカス）のときと、**C**（AF-C）のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定値	
ON	OFF

 連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

レンズなしリリース

ONにすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値	
ON	OFF

カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
 時計回り	フォーカスリングの回転方向を  時計回りに設定します。
 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を  反時計回りに設定します。

 一部の交換レンズでは仕様により、設定を変更しても動作が反映されません。

フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
リニア	回転速度に応じず、回転量に対してリニアにピント移動します。

 一部の交換レンズでは仕様により、設定を変更しても動作が反映されません。

AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

AWB-LOCK 設定

AWB（オートホワイトバランス）ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。AWBロックを使用すると、ホワイトバランス設定が  **AUTO** ホワイト優先、**AUTO**、 **AUTO** 雰囲気優先のときにホワイトバランスを固定できます。

設定	説明
AWB-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AWB ロックします。
押下切替	ボタンを押すと AWB ロックされ、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

露出補正ボタン設定

露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
 押下中のみ (P)	ボタンを押している間、リアコマンドダイヤルで露出を補正できます。
 押下切替 (S)	ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう 1 度ボタンを押して露出補正を終了します。

▶ Fn1 ボタン設定

再生モードで **Fn1** ボタンを押したときの動作を設定できます。

設定	説明
☐ スマートフォン 転送予約	表示している画像を転送予約します。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
🎵 選択 & スマート フォン転送予約	画像選択画面を表示します。ペアリングしているスマートフォンに転送する画像を選んで転送予約できます (231)。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
🌐 FTP 転送予約	表示している画像を FTP サーバーに転送予約します。
🌐 FTP 優先転送 予約	表示している画像を FTP サーバーに優先転送予約します。すでに転送予約中の画像がある場合でも先に転送されます。
🌐 Frame.io 転送予約	表示している画像を Frame.io に転送予約します。
📶 ワイヤレス通信	ワイヤレス通信を行います。

タッチパネル設定

液晶モニター（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

📷 タッチパネル設定

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

📷 ダブルタップ拡大

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。
OFF	タッチによる画像拡大はしません。

📺 タッチファンクション

設定	説明
ON	タッチファンクションを使用します。
OFF	タッチファンクションを使用しません。

📺 タッチパネル設定

設定	説明
ON	再生時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

EVF タッチパネル有効範囲

EVF 使用時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。タッチパネルの有効範囲は次の中から選びます。

設定	説明
<input type="checkbox"/>	全面で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右下 1/4 側で動作
<input type="checkbox"/>	左半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左下 1/4 側で動作
OFF	タッチパネルとして使用しません。

ロック

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none">解除：ロック指定を解除します。全てロック：機能別ロック設定で選択できるすべてのボタンや機能を一括でロックします。機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

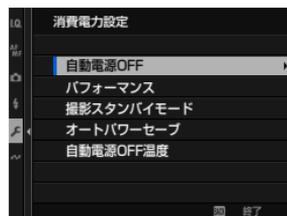


撮影画面で **MENU/OK** ボタンを長押しすると機能別ロックができます。もう一度長押しするとロックを解除します。

■ セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、消費電力設定を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能や EVF 表示の性能がアップします。

設定	説明
ブースト	<p>カメラの AF 性能や EVF 表示の性能がアップします。バッテリーの持続時間は ノーマル よりも短くなります。</p> <p>次の中から優先する項目を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none">• AF 優先 - 通常：オートフォーカスの動作速度を速くします。• AF 優先 - 低照度：オートフォーカスの動作速度を速くし、さらに EVF や LCD の明るさを調整して暗所での被写体を見やすく表示します。映像にブレが生じると、残像が発生する場合があります。• EVF 表示解像度優先：ファインダー表示の解像度を高くなります。• EVF 表示フレームレート優先：ファインダー表示のフレームレートを高くして、動きをなめらかにします。 <p> 液晶モニター表示の場合は、AF 優先 - 通常で動作します。</p>
ノーマル	<p>カメラの AF 性能や EVF 表示の性能、バッテリーの持続時間を標準の性能にします。</p>

撮影スタンバイモード

撮影スタンバイモードになるまでの時間を設定できます。

設定	説明
5分	設定した時間カメラを操作しないと、カメラ機能が休止し省電力モードになります。復帰する場合は MENU/OK ボタンなどを押してください。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	撮影スタンバイモードは使用しません。

オートパワーセーブ

バッテリーを長持ちさせるモードに設定できます。

設定	説明
ON	一定時間何も操作しないしていると、フレームレートが低下して、自動的にバッテリーを長持ちさせるモードになります。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。
OFF	オートパワーセーブは使用しません。

自動電源 OFF 温度

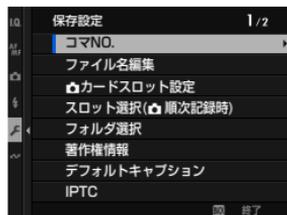
カメラの温度が上昇した際にはメッセージが表示され、さらに上昇すると、撮影を中断し電源を自動的にオフにします。その際の温度を変更できます。

設定	説明
標準	カメラの電源をオフにする温度を標準に設定します。
高	標準に比べて、カメラの温度が高くなっても撮影することができます。動画撮影時など高に設定すると、標準に比べて撮影時間が長くなります。カメラを持ち続けると低温やけどの恐れがありますので、三脚などをお使いください。

セットアップメニュー（保存設定）

画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。

- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。電源をオフにしてから、フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて撮影してください。
- 基本設定** > **リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

ファイル名編集

ファイル名（DSCF****/_DSF****）をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

📷 カードスロット設定

2枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。
分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像やHEIF画像をそれぞれ保存します。この設定は 📷 画質設定 > 画質モード が、 SUPER FINE+RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW のときのみ有効です。

スロット選択 (📷 順次記録時)

📷 カードスロット設定が順次記録のときに、最初に記録するメモリーカードスロットを設定できます。

設定値	
スロット1	スロット2

フォルダ選択

記録フォルダの切り替えや新規作成ができます。

設定	説明
フォルダ選択	フォーカスレバーを上下に動かして既存のフォルダを選択し、 MENU/OK ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダに保存されます。
フォルダ作成	5文字のフォルダ名を入力し決定した後、撮影すると、入力した名前のフォルダが作成され、画像はそのフォルダに保存されます。

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。

デフォルトキャプション

撮影した画像や動画に付けるキャプションを設定できます。

表示

現在登録されているキャプションを確認できます。

編集

キャプションを入力します。

削除

現在登録されているキャプションを削除します。

IPTC

撮影した画像に付ける IPTC 情報を設定できます。

IPTC を付加

ON にすると、撮影した画像に IPTC 情報を付けることができます。

設定値	
ON	OFF

確認 / 編集

IPTC 情報を入力したり、現在登録されている IPTC 情報を確認したりできます。

リセット

現在登録されている IPTC 情報を削除します。

位置情報記録

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録することができます。

設定値

ON

OFF

ショートカット機能

10

ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューをマイメニューやクイックメニューに登録して使用したり、ファンクションボタン、タッチファンクションで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	目録
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MV (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	349
クイックメニュー	Q ボタンを押すと Q (クイックメニュー) が表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q (クイックメニュー) で設定値を変更することもできます。	351
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	357
タッチファンクション	タッチファンクション (T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4) でタッチパネルをフリックして、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	362

マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY** (マイメニュー) タブを選びます。



! **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

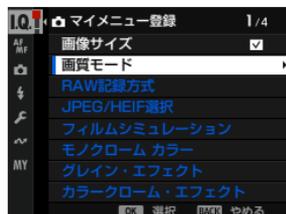
よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶ则表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定**または **マイメニュー設定**を選びます。
メニューが表示されます。



順序変更を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除**を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

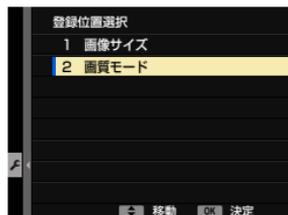
- 2 **登録**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

3 登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。
もう一度 **MENU/OK** ボタンを押してメニューの選択画面に戻ります。

4 次に登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



5 手順 4 を繰り返してマイメニューを登録します。
マイメニューの登録を終了するときは **DISP/BACK** ボタンを押します。

 最大 16 項目 (8×2 ページ) のメニューが登録できます。

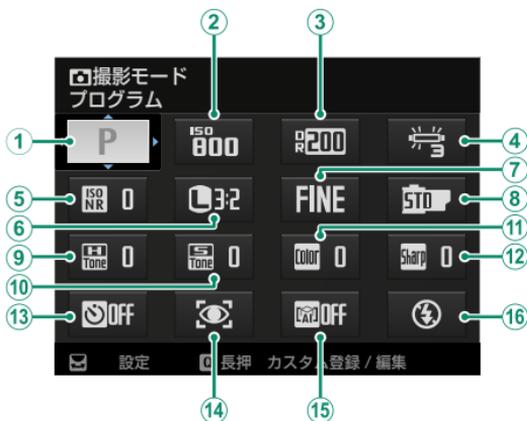
クイックメニュー

クイックメニューを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。クイックメニューは **Q** ボタンを押して表示させます。

クイックメニュー画面

クイックメニューに表示する項目は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。工場出荷時は、クイックメニューに以下の機能が割り当てられています。

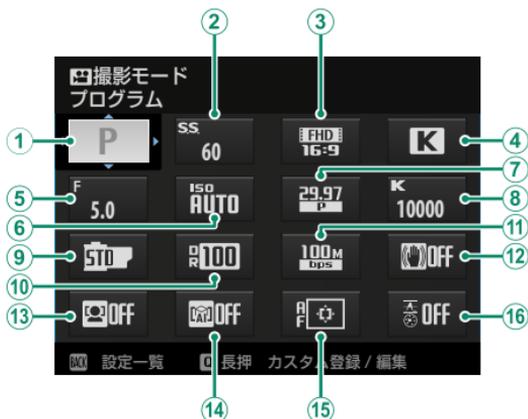
静止画撮影時



工場出荷時の設定

① 撮影モード	⑨ ハイライトトーン
② 感度	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ 高感度ノイズ低減	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ 被写体検出 AF 設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ フラッシュ機能設定

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。



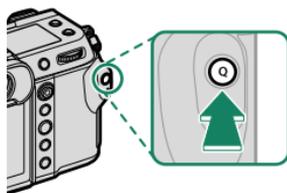
工場出荷時の設定

① 撮影モード	⑨ フィルム シミュレーション
② シャッタースピード	⑩ ダイナミックレンジ
③ 動画モード 解像度/アスペクト比	⑪ ビットレート
④ ホワイトバランス	⑫ プレ防止モード
⑤ 絞り (動画専用操作モード)	⑬ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑥ 感度	⑭ 被写体検出 AF 設定
⑦ 動画モード フレームレート	⑮ 動画 AF モード
⑧ ホワイトバランス色温度 (K 設定時)	⑯ ウェーブフォーム / ベクトルスコープ

各メニュー (②～⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。

設定の確認と変更

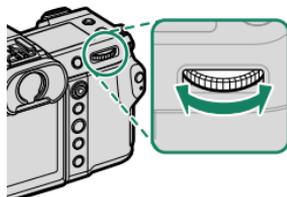
- 1 撮影画面で **Q** ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。



 クイックメニューが表示されているときに **Q** ボタンを長押しすると、
 カスタム登録/編集または  カスタム登録/編集の画面が表示されます。

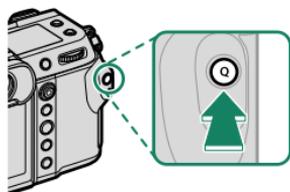
- 4 **Q** ボタンを押します。
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

- 
- クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。
 - Q** ボタンはファンクションボタンとして使用できます。 **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で、ファンクションボタンの機能を他の機能に割り当てることができます。また、ファンクションボタンの機能を他のボタンに割り当てすることもできます (p.357)。
 -  **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で **Q ボタン設定をなし**に設定すると、**Q** (クイックメニュー) ボタンは無効になります。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1 撮影画面で **Q** ボタンを長押しします。
クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



 静止画撮影時 / 動画撮影時によって、静止画または動画のクイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

- 2 割り当てを変更するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

 クイックメニューの割り当ては、 操作ボタン・ダイヤル設定 >  クイックメニュー登録 / 編集または  クイックメニュー登録 / 編集からも設定できます。

割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- AF モード
- AF-C カスタム設定
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

割り当て可能なメニュー（動画）

- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
- 動画感度
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
-  セルフタイマー
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードブースト
- シャッタースピード
- 絞り（動画専用操作モード ）
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

ファンクション機能

ファンクションボタン、タッチファンクションに、それぞれ機能を1つ割り当てられます。

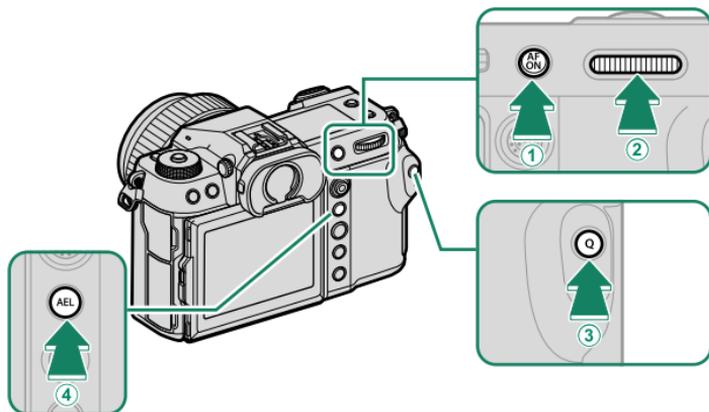
ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

ファンクションボタンの工場出荷時設定

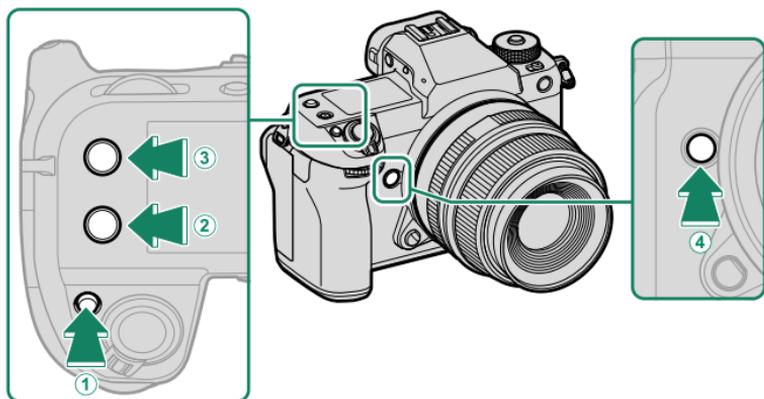
工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。

背面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① AFON ボタン	AF-ON
② リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
③ Q ボタン	クイックメニュー
④ AEL ボタン	AE LOCK のみ

前面 / 天面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn1 ボタン	露出補正
② Fn2 ボタン	顔検出 ON/OFF
③ Fn3 ボタン	サブ液晶モニター切替
④ Fn4 ボタン	パフォーマンス

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- サブ液晶モニター切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- コマンドダイヤルロック
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK

- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すとピント合わせを行います。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます (📖 173)。

カスタム 1 設定呼び出しの割り当て

カスタム 1 設定呼び出しを割り当てたボタンを撮影中に押すと、一時的にモードダイヤルの**C1** (カスタム 1) に割り当てた設定で撮影できます。もう一度押すと元の設定に戻ります。

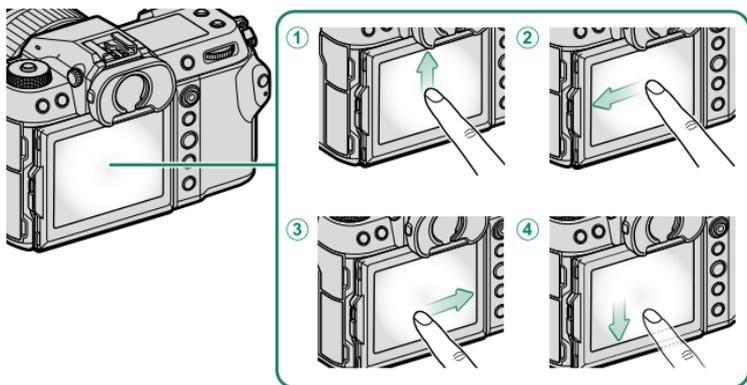
タッチファンクション

タッチファンクション (T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4) 機能は、タッチパネル (液晶モニター) のフリック動作で機能呼び出すことができます。

 タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチファンクションを ON にしてください。

タッチファンクションの工場出荷時設定

工場出荷時に割り当てられている機能とフリック方向は次のとおりです。



タッチファンクション	割り当てられている機能
① T-Fn1 (液晶モニターを上フリック)	ヒストグラム
② T-Fn2 (液晶モニターを左フリック)	フィルム シミュレーション
③ T-Fn3 (液晶モニターを右フリック)	ホワイトバランス
④ T-Fn4 (液晶モニターを下フリック)	電子水準器切替

タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 📶 セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
- 📶 プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- サブ液晶モニター切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- コマンドダイヤルロック
- ロック指定

- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



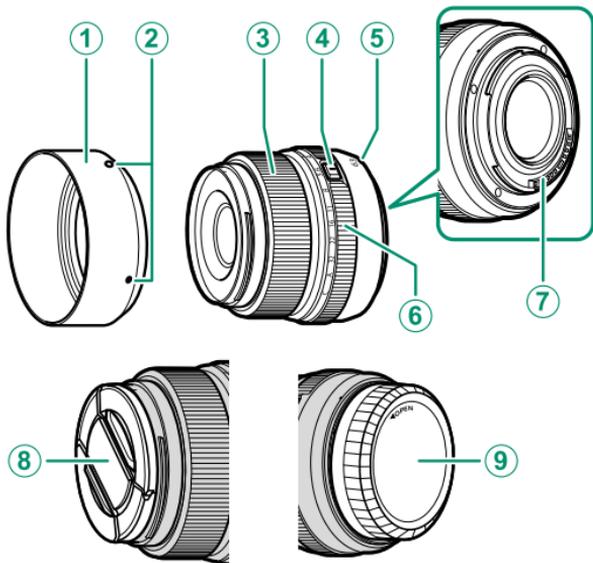
なしを選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。

オプション品・ 外部機器の使い方

交換レンズ

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ 絞りリングロック解除ボタン
- ⑤ 取り付け指標（焦点距離）
- ⑥ 絞りリング
- ⑦ レンズ信号接点
- ⑧ レンズフロントキャップ
- ⑨ レンズリアキャップ

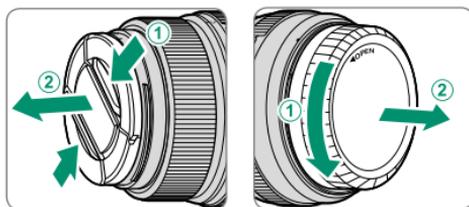
 ここでは、GF63mmF2.8 RWR を例に説明しています。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

レンズキャップの取り外し方

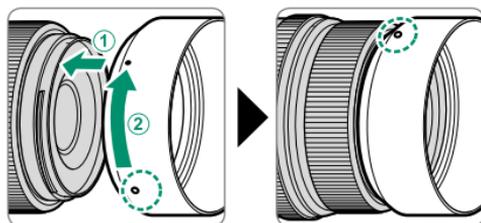
図のようにレンズキャップを取り外します。



❗ レンズキャップは形状が異なることがあります。

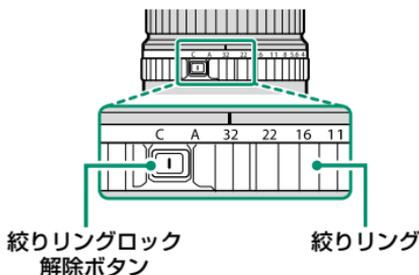
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。



絞りリング

絞りリングで、撮影時の絞り (F 値) の設定方法を選択できます (モードダイヤルが **A** (絞り優先)、または、**M** (マニュアル) のとき)。



設定	説明
 C ポジション	絞りリングを A/C ポジションに合わせると、カメラ本体のコマンドダイヤルで絞り (F 値) を設定できます。
 A ポジション	
 絞り目盛り (A/C ポジション以外)	絞りリングの目盛りで、絞り (F 値) を設定できます。

 絞りリングを **A/C** ポジションに合わせるときや、**A/C** ポジションから解除するときは、絞りリングロック解除ボタンを押しながら絞りリングを回してください。

T/S レンズについて

EVF や LCD にレンズのシフト量やレボルビング量を表示できます (📖 23)。シフト量は 0.5mm 刻み、レボルビング量は 3° 刻みで表示されます。



 シフト量やレボルビング量は撮影した画像の EXIF 情報にも記録されます。

クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使うと、大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

 カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**フラッシュ設定 > 赤目補正を赤目抑制発光に設定**します。

他社製のフラッシュをお使いになるときのご注意

カメラのホットシューに300V以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。TTL非対応のフラッシュを使用する場合は、発光モードを**M**にしてください。

クリップオンフラッシュ・シンクローターミナルを設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **1** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
シンクローターミナル	別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。シンクローターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューのX接点のみを使用した撮影で使用します。	371
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	372
コマンダー(光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したコマンダーフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	375

 ホットシューに何も接続されていない場合やカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクローターミナル**の設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

シンクローターミナル

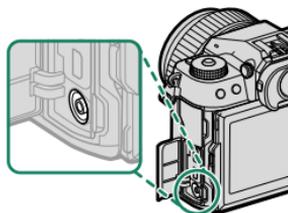
別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	<p>ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● M: 撮影に同期して、ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッタースピードを設定してください。 ● OFF: ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号を発行しません。
②同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FRONT (先幕): シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 ● REAR (後幕): シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

シンクローターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクローターミナルに接続してください。



クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	<p>フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">• TTL : TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。• M : 被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。• Multi : 対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。• OFF : フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

項目	設定 / 説明
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 • モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 ($1/1$) から $1/512$ 発光まで、$1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 • モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、$1/4$ 発光から $1/512$ 発光まで $1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。
③ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 罫 (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。 • 犂 (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。 • 罫 (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

項目	設定 / 説明
④同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FRONT (先幕): シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 ● REAR (後幕): シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 ● (AUTO FP(HSS)): FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕 となります。 <p>* AUTO FP(HSS) 選択時は、シャッタースピードによっては撮影した画像に横縞が発生することがあります。</p>
⑤ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑥配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画面角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ☞ (光量優先): フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。 ● ☞ (スタンダード): 撮影画面角に対して最適な照射角にします。 ● ☞ (配光優先): 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
⑦LED ライト 設定	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵の LED ライトの用途を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ☞ (キャッチライト): キャッチライトのみ使用します。 ● AF (AF 補助光): AF 補助光のみ使用します。 ● ☞ (AF 補助光+キャッチライト): AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。 ● OFF: どちらも使用しません。
⑦TIMES* (発光回数)	<p>モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑧Hz* (発光周波数)	<p>モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。</p>

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

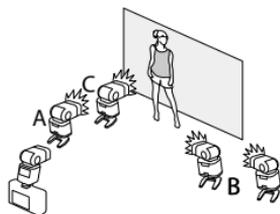
コマンダー（光通信）

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



項目	設定 / 説明
①A グループ モード ②B グループ モード ③C グループ モード (発光モード)	<p>それぞれのグループの発光モードを設定します。A、B グループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。C グループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TTL : TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。 • TTL% : A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。 • M : M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。 • Multi : A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。 • OFF : OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。
④A グループ 調光補正 / 発光量 ⑤B グループ 調光補正 / 発光量 ⑥C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 <p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>

項目	設定 / 説明
⑦ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">  (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。  (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。  (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
⑧ 同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none">  (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。  (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。  (AUTO FP(HSS)) : FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。
⑨ ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑩ 配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none">  (光量優先) : フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。  (スタンダード) : 撮影画角に対して最適な照射角にします。  (配光優先) : 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

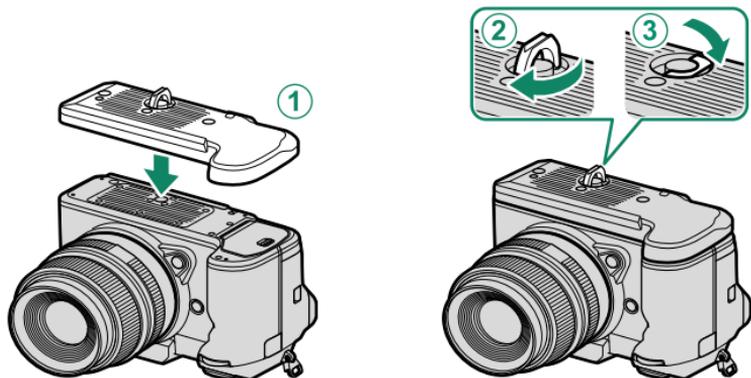
項目	設定 / 説明
⑪ コマンダー設定 (コマンダー発光設定)	<p>モードが TTL、TTL%、M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Gr A : A グループに設定します。 • Gr B : B グループに設定します。 • Gr C : C グループに設定します。 • OFF : 撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
⑪ TIMES (発光回数)	<p>モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑫ CH 設定	<p>コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。</p>
⑫ Hz (発光周波数)	<p>モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。</p>

ハンドグリップ

ハンドグリップ MHG-GFX S を取り付けると、カメラの操作性が向上します。

ハンドグリップの取り付け方

次の図のようにしてハンドグリップを取り付けます。



12

資料

カメラで使えるアクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製アクセサリを使用できます。最新情報やその他のアクセサリについては「対応情報」<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W235：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

デュアルバッテリーチャージャー BC-W235：充電式バッテリー NP-W235 を2個同時に充電できます。充電時間は約200分（+25℃において）です。30W以上の出力に対応した給電機器を使用することで充電時間が最短約150分になります。

GF シリーズレンズ：FUJIFILM G マウント専用の交換レンズです。

アイカップ EC-XH W/EC-XT L/EC-XT M/EC-XT S/EC-GFX：ファインダー接眼部に装着するアイカップです。

マウントアダプター H MOUNT ADAPTER G：GX645AF用の交換レンズ SUPER EBC FUJINON HC レンズ9本とテレコンバータ1本をカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-18G WR/MCEX-45G WR：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

ビューカメラアダプター VIEW CAMERA ADAPTER G：「CM FUJINON」など、往年のフジノン大判カメラ用レンズなどを使用して撮影を行う際に使用するビューカメラアダプターです。

クリップオンフラッシュ EF-X500：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1：EF-X500 用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

クリップオンフラッシュ EF-60：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 60 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、別売ワイヤレスコマンダー EF-W1 をコマンダーとしたリモートフラッシュとしても使用できます。

ワイヤレスコマンダー EF-W1：NAS* 無線通信方式に対応したフラッシュ用ワイヤレスコマンダーです。別売クリップオンフラッシュ EF-60 やニッシンジャパン株式会社の NAS 対応フラッシュと合わせて使用できます。

*NAS はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。

クリップオンフラッシュ EF-42：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

リモートレリーズ RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

ハンドグリップ MHG-GFX S：カメラのホールディング性を高めます。クイックシュー式の雲台に対応するアリガタレール形状をしています。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。

ボディキャップ BCP-002：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

カメラで使えるソフトウェア・サービス

このカメラでは、以下のソフトウェアやサービスを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

スマートフォン用アプリケーション

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです。

<https://fujifilm-dsc.com/>

RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPix

RAW 画像をパーソナルコンピュータ上で現像できるパーソナルコンピュータ用アプリケーションです。富士フィルムのウェブサイトから無償で入手可能です。

<https://fujifilm-x.com/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>



- 本ソフトウェアは、アドワー株式会社が提供するソフトウェアです。
- 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>

FUJIFILM RAW Converter

RAW 画像をパーソナルコンピュータ上で現像できるパーソナルコンピュータ用アプリケーションです。Capture One 社から無償で入手可能です。

<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm#rawconverter>

 対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

Capture One

Capture One 社のテザー撮影、RAW 現像に対応したワークフローソフトウェアです。

<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm>

 対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

FUJIFILM Tether Shooting Plug-in (Lightroom 専用)

Adobe Lightroom Classic のプラグインソフトウェアです。

- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO / FUJIFILM Tether Shooting Plug-in

<https://fujifilm-x.com/products/software/adobe-photoshop-lightroom-tether-plugin/>

FUJIFILM X Acquire

カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルまたは Wi-Fi 経由で接続し、撮影した画像をパーソナルコンピュータに自動転送して指定したフォルダに保存したり、USB 接続によりカメラ設定をバックアップ/リストアしたりすることができるパーソナルコンピュータ用アプリケーションソフトウェアです。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-acquire/>

FUJIFILM X RAW STUDIO

パーソナルコンピューターとデジタルカメラを USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューターに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジンを使用して演算することで、高速かつ高品質な RAW 現像を実現します。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-raw-studio/>

FUJIFILM Pixel Shift Combiner

ピクセルシフト撮影した複数の画像の合成や、偽色の低減処理ができるパーソナルコンピューター用アプリケーションです (📖 119)。

<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>

Frame.io Camera to Cloud

ネットワークを通してカメラから Frame.io のプラットフォームへ静止画や動画を直接転送できます。

<https://frame.io/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お取り扱い内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。



電源プラグを
抜く

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。



風呂、シャワー
室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

警告

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 一度端子部分が曲ってしまったコネクタは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。歩き撮りをする場合には、周囲の状況に注意してください。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ \oplus \ominus ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。



指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

⚠ 警告

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

- ❌ 視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

- ❌ 低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
- 自動電源 OFF 温度を高く設定してご使用される場合

- ❗ バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。

- ❗ 可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

- ❗ 電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

- ❗ メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。

- ❗ 誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。

- ❗ 飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

-  **油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**
火災・感電の原因になることがあります。
- 異常な高温になる場所に置かない。**
-  **窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。**
火災の原因になることがあります。
-  **本製品の上に重いものを置かない。**
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。
- AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。**
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
-  **本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。**
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
-  **電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **充電終了後は充電器をコンセントから抜く。**
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜く
-  **メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。**
飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。
- 撮影直後にメモリーカードに触れない。**
-  **メモリーカードが高温になり、やけどの原因となることがあります。**
温度が下がってからメモリーカードを取り出してください。
- 定期的な内部点検・清掃を依頼する。**
-  **本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。**

 - ・ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店または弊社修理サービスセンターにご依頼ください。
-  **本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。**

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- カメラと付属の AC パワーアダプターを使用するか、別売のデュアルバッテリーチャージャー BC-W235 を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が +5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーを長期間充電しないとバッテリーの品質が保持できなくなり、充電できなくなるおそれがあります。定期的に充電することをおすすめします。

■ 保存上のご注意

- 長期保管の場合は、電池容量の $\frac{2}{3}$ から半分程度の電池残量で常温保管をお勧めいたします。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が $+15^{\circ}\text{C} \sim +25^{\circ}\text{C}$ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。



バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- 電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

- 室内専用です。
- 接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意**■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、Mac OS X、OS X、macOS、Lightning、Apple ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- CFexpress は CFA (CompactFlash Association) の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- AirGlu™ は Atomos の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパーソナルコンピューターで使用する場合のご注意

- パーソナルコンピューターで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パーソナルコンピューターでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズとアクセサリについてのご注意

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが4.5mm以下の製品をご使用ください。
- 他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続しないでください。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

• 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

2.4XX8

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

• 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

IEEE802.11b/g/n

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

当該無線設備の送信は 5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

本製品の飛行機内での使用については航空会社の指示に従ってください。

本製品は電源オフの状態でも電波を発信することが可能です。搭乗前にネットワーク /USB 設定メニューの機内モードを ON にすると電波の発信を遮断できます。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 水をかけたり、水にぬらしたりしない。

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

 接触禁止

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

 不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。

失明や視力障害になる恐れがあります。

△ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。



逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。

太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。

太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう
にお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブロワーでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ **基本設定** > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、ブローでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社修理サービスセンターでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

1 センサーの表面に付着したほこりをブロー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

- ❖ ブローはブラシの付いていないものを使用してください。ブローのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに清掃をご依頼されることをおすすめします。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。



最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

カメラ起動時に更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**DISP/BACK** ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、ファームウェアを更新できます。更新が終わったらカメラの電源を一度オフにしてください。

セットアップメニューから更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**基本設定 > ファームウェアアップデート**を選んでファームウェアを更新できます。

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する(手動更新)

スマートフォンアプリケーションを使用している場合は、スマートフォンアプリケーションからファームウェアを更新できます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

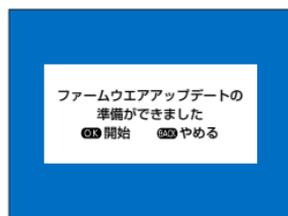
<https://fujifilm-dsc.com/>

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する(自動更新)

FUJIFILM XApp Ver.2.0.0 以降を使用している場合は最新のファームウェアが自動的にスマートフォンからカメラにダウンロードされます。

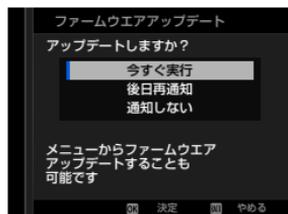
- 1 カメラ使用時、更新の準備ができている場合は確認画面が表示されます。

開始を選びます。



やめるを選ぶと、翌日以降カメラの電源をオンにしたときに確認画面が再度表示されます。

- 2 選択画面が表示されたら今すぐ実行を選びます。



- 後日再通知を選ぶと、3 日後に確認画面が再度表示されます。
- 通知しないを選ぶと、確認画面は表示されません。

3 実行を選びます。

4 画面の指示にしたがってファームウェアを更新します。

5 更新完了の画面が表示されたらカメラの電源をオフにします。

- ❗ ファームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファームウェアの更新中は EVF は表示されません。液晶モニターの表示をご覧ください。
- ファームウェアの更新にかかる時間は、ファームウェアの容量によって変わります。最大で約 10 分かかる場合があります。
- ファームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/error-message/>

ファームウェアバージョンの確認方法

❏ **基本設定 > ファームウェアアップデート** を選ぶとバージョン情報を確認できます。

- ❏ 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

バッテリー、電源について

症状	処置
ON/OFF（電源）レバーをONに合わせても電源がオンになりません。	<ul style="list-style-type: none">ご購入時にはバッテリーは充電されていません。バッテリーを充電してください。充電済みのバッテリーを使ってください（図 48）。バッテリーを正しい方向で入れ直してください（図 41）。バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。
バッテリーの消耗が早いです。	<ul style="list-style-type: none">低温環境下でご使用の場合は、バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。バッテリー劣化度を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。メニュー フォーカス設定 > プリ AF を OFF にしてください。メニュー 表示設定 > EVF 明るさや LCD 明るさで表示の明るさを調整してください。メニュー 消費電力設定の設定を変更してください。

症状	処置
使用中に電源がオフになってしまいました。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの残量が不足していないかどうか確認してください (📖 53)。 • 消費電力設定 > 自動電源 OFF で時間を設定しているときは、その時間が経過すると自動的にオフになります。 • カメラの温度が高くなると、自動的にオフになります (📖 341)。 • インターバルタイマー撮影で撮影間隔が長い場合は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になるか、シャッターボタンを押すと画面表示が復帰します。
カメラの電源が切れません。	インジケーターランプの点灯状況を確認してください (📖 10)。

充電について

症状	処置
充電が開始されません。 (USB 充電時)	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの電源がオンのときは充電は開始されません。電源をオフにしてください。 • バッテリーが満充電されているときは充電は開始されません。 • AC アダプターやパーソナルコンピューター、USB ケーブル、カメラの接続状態を確認してください。 • パーソナルコンピューターから充電する場合は、パーソナルコンピューターの電源が入っていることを確認してください。 • バッテリーが低温または高温の場合は、安全上の理由で充電が開始されません。バッテリーの温度が常温に戻ってから再度充電してください。

症状	処置
充電時間がかかりすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが低温または高温の場合は、安全上の理由で充電が遅くなる場合があります。バッテリーの温度が常温に戻ってから再度充電してください。 • 30W以上の出力に対応したUSB PD 対応電源を使用すると、充電時間が短くなります。
充電中にインジケータランプが点滅して充電できません。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください (41)。 • バッテリー劣化度を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社デジタルカメラサポートセンターにお問い合わせください (308、382、446)。

給電について

症状	処置
給電状態アイコンが表示されません。	USB 給電 / 通信設定 を自動または 給電 ON/ 通信 OFF にしてください。

メニューなどの設定時

症状	処置
メニューが日本語以外で表示されています。	言語設定を 日本語 にしてください (56、307)。

撮影時

基本撮影について

症状	処置
シャッターボタンを押しても撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 記録メディアが正しくセットされているか確認してください。 メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側になっていないかどうか確認してください。 記録メディアの空き容量を確認してください。 メモリーカードなしで撮影する場合は 操作ボタン・ダイヤル設定 > カードなしリリースを ON にしてください。 フォーカス設定 > リリース優先 / フォーカス優先がフォーカスに設定されていると、フォーカスが合わないときには撮影できない場合があります。 他社製レンズなどをご使用の場合は、操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズなしリリースを ON にすると撮影できる場合があります。

動画撮影について

症状	処置
動画撮影が勝手に終了してしまいました。	<p>記録メディアの書き込み速度が遅い場合には、録画が停止する場合があります。対応する記録メディアについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは「対応情報（カメラ）」を参照してください。</p> <p>https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/</p>

連続撮影（連写）について

症状	処置
連写速度が遅くなります。	連写速度は、レンズの種類や記録メディアの書き込み速度、フラッシュ使用、露出条件、カメラの設定、バッテリー残量、ご使用環境の気温などの条件によって低下することがあります。

顔検出について

症状	処置
顔を検出できません。	<ul style="list-style-type: none">• なるべく顔の全体が見えるようにしてください。• 顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。• 顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。• フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしてください。• カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。• 適切な明るさで撮影してください。

被写体検出について

症状	処置
被写体を検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> なるべく被写体の全体が見えるようにしてください。 被写体が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。  フォーカス設定 > 被写体検出 AF 設定を被写体検出 ONにしてください。 適切な明るさで撮影してください。

フラッシュについて

症状	処置
フラッシュが発光しません。	<ul style="list-style-type: none">  撮影設定 > シャッター方式や  フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定、ドライブモードを確認してください。 外部フラッシュを使用している場合は、外部フラッシュの説明書を確認してください。
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。 カメラを正しく構えてください。 シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください (📖 76、80、433)。

撮影した画像の異常について

症状	処置
画像がぼやけています。 画像がブレています。	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードをマニュアルフォーカス以外にしてください。三脚を使用して撮影してください。また、リモートレリーズ、セルフタイマー撮影機能を使用することをおすすめします。手持ち撮影する場合は、手ブレを起こさないように、カメラをしっかり構えシャッターボタンを静かに押ししてください。カメラのブレ防止機能をオンにしてください（ 170）。手ブレ補正機能を搭載したレンズを使用しているときは、手ブレ補正機能をオンにしてください。暗い場所では、シャッタースピードが遅くなることがあります。シャッタースピードを速くする、ISO感度を上げる、フラッシュを使用する、などの方法で撮影してください。AE/AF ロック撮影してください。フォーカスエリアを1～2段階大きくしてから撮影してください。

症状	処置
<p>存在しないものが写り込んだり、被写体が歪んで記録されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 光の反射などで、目には映らない特定の現象が画像に写ることがあります。 • カメラシステムや光線の特性によって発生する事例をホームページの Q&A でご紹介しています。撮影方法などで現象の発生を抑制することができる場合がありますのでご参照ください。
<p>画像に点状のノイズがあります。</p>	<p>撮像素子の特性* によるもので、故障ではありません。 画質設定 > ピクセルマッピング を実行してください。</p> <p>* 撮像素子が X 線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点（白、赤、青など）」が生じる場合があります。 ピクセルマッピング を行うと輝点が軽減されます。</p>
<p>画像にノイズが撮影されます。</p>	<p>しばらく電源オフにしたあとでご利用ください (頁 52、425)。</p>

再生時

1 コマ再生について

症状	処置
画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。
拡大表示できません。	<ul style="list-style-type: none">リサイズした画像は、再生ズームができません。他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。

動画再生について

症状	処置
カメラから音が出ません。	<ul style="list-style-type: none">再生音量を調節してください (☞ 314)。動画撮影時はマイクをふさがないでください。再生中はスピーカーをふさがないでください。

消去について

症状	処置
選択した画像を消去できません。	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください (☞ 226)。
全コマ消去したのに画像が残っています。	

コマナンバーについて

症状	処置
コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります (☞ 342)。

接続時

テレビとの接続について

症状	処置
カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続した場合、再生モードでは、カメラの画面には何も表示されません。
カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> ファインダーに目を近づけてください。 EVF や LCD の表示の設定を変更してください (18)。
テレビに画像、音声が出ません。	<ul style="list-style-type: none"> 確認して正しく接続し直してください。 テレビの入力を「HDMI」にしてください (62)。 テレビの音量を調節してください。 テレビ側の対応解像度とフレームレートを確認してください。

パーソナルコンピューターとの接続について

症状	処置
パーソナルコンピューターがカメラを認識しません。	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルを確認して正しく接続し直してください (253)。 あらかじめ用途に応じた接続モードを設定してから接続してください。 パーソナルコンピューターで使うアプリに対応したカメラの接続モードを設定してください。また、パーソナルコンピューターのアプリ側の設定も確認してください。

スマートフォンなどの接続について

症状	処置
iPhone、iPad と接続できません。	給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器と接続するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの USB 給電 / 通信設定 をあらかじめ 給電 OFF / 通信 ON に設定してください。
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンに搭載されている端子の形状によって、接続方法が異なります (250)。

無線通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

症状	処置
<p>スマートフォンと接続できません。</p> <p>スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。</p> <p>画像送信が途中で失敗 / 切断します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンを近づけてご使用ください (📖 245)。 電波を発する機器から離れてご使用ください。
<p>スマートフォンに送信できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください (📖 245)。 操作をはじめからやり直してください。周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。 このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画の送信には時間がかかる場合があります。またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。

その他

カメラの動作などについて

症状	処置
カメラのボタンなどを操作しても動きません。	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください (☞ 41)。• 充電済みのバッテリーを使ってください (☞ 48)。• USB もしくは LAN の接続モードを確認してください。• MENU/OK ボタンを長押しして、ロックを解除してください (☞ 15、17)。• インジケータランプの点灯状況を確認してください。解消されない場合は、バッテリーを入れ直してカメラが動作するかご確認ください。• 操作ボタン・ダイヤル設定 > ロックでボタンなどがロックされていないかどうかを確認してください。
カメラが正常に作動しなくなりました。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください (☞ 41)。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

音について

症状	処置
音が出ません。	各設定の音量を調整してください (☞ 311)。

Q (クイックメニュー)

症状	処置
Q ボタンを押してもクイックメニューが表示されません。	TTL-LOCK を解除してください (☞ 173)。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 適切な明るさ(露出)ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 レンズとカメラの間に異物がないか確認してください。 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパーソナルコンピューターでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パーソナルコンピューターでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	静止画または動画を記録中にメモリーカードを取り出しました。	記録中はメモリーカードを取り出さないでください。
	書き込み速度の遅いメモリーカードを使用するため記録できません。	動画撮影時は、設定に適した速度のカードをご使用ください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を連番に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとしてしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 🔊 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません 🔊 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。

警告表示	警告内容	処置
 実行できません  実行できません	実行できない操作をしようとしました。	他のカメラで撮影した画像や動画にはできない操作があります。
 (黄) 温度が上昇しています	自動電源 OFF 温度が標準のときにカメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。
 (黄) 温度上限に近づいています 持ち続けしないでください	自動電源 OFF 温度が高のときにカメラの温度が上限に近づいています。低温やけどの恐れがありますので、カメラを持ち続けず、三脚などをお使いください。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。カメラの温度が上昇すると、画像にノイズが多くなる場合があります。
 (赤) 温度上限に到達しました シャットダウンします	温度が上限に達したため自動的に電源がオフになります。	

エラー表示

画面に  や  が表示されたときは、ネットワーク/USB設定メニューの**情報表示** > **エラーの詳細**でエラー表示を確認し、処置を行ってください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
無線 LAN 経由でネットワークに接続されていません	アクセスポイントに接続できていますか？	アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。
		アクセスポイントの設定や IP アドレスの設定を確認してください。
		電波を妨害している機器から離してください。
		アクセスポイントの近くに移動してください。
DHCP サーバーから IP アドレスが取得できないか、IP アドレスの設定に問題があります	アクセスポイントへ接続するための設定は正しいですか？	アクセスポイントのパスワードが正しく設定されていることを確認してください。
		アクセスポイントと同じ暗号化方式を設定してください。
		SSID が正しく設定されていることを確認してください。
DHCP サーバーから IP アドレスが取得できないか、IP アドレスの設定に問題があります	ネットワーク上に DHCP サーバーはありますか？	DHCP サーバーが無い場合は IP アドレスなどを手動で設定してください。
	DHCP サーバーが停止していませんか？	ネットワーク管理者に問い合わせください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
FTP サーバーが見つからないか、FTP サーバーと通信できません	ネットワーク上に同じ IP アドレスが存在していませんか？	同じネットワークに接続している機器と重複しないように IP アドレスを変更してください。
	IP アドレス設定が間違っていないですか？	DHCP サーバーがある場合は IP アドレス設定を自動に設定してください。 IP アドレスを手動で設定している場合は IP アドレスなどが正しいことを確認してください。
	DNS サーバーの設定は正しいですか？	DNS サーバーのアドレスを手動で設定した場合は、アドレスが正しいことを確認してください。
	FTP サーバーの設定は正しいですか？	FTP サーバーの設定(サーバータイプ/サーバーアドレス/ポート/プロキシ設定)が正しく設定されていることを確認してください。
	FTP サーバーが停止していませんか？	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
FTP サーバーにログインできませんでした	ユーザー名とパスワードが間違っていないですか？	ユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認してください。
FTP サーバーにファイルを送信もしくは保存できませんでした	FTP サーバーのアクセス権限の設定は正しいですか？	FTP サーバーのアクセス権限(書き込み)が正しく設定されていることを確認してください。
	FTP サーバーのディスク容量が一杯になっていませんか？	FTP サーバーの空き容量を確認してください。
CA ルート証明書が有効ではありません	ルート証明書が期限切れになっていませんか？	カメラ本体の日付設定が正しい日時に設定されていることを確認の上、更新された CA ルート証明書を読み込んでください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
Frame.io と接続できません		Frame.io サーバーの状態を確認してください。
	Frame.io のサーバーに問題が生じていませんか？	Frame.io サーバーに問題がある可能性があります。時間をおいて再度試してください。
	カメラ本体の日付設定は正しいですか？	カメラ本体の日付設定が正しい日時に設定されていることを確認してください。
	ネットワークは正しく設定されていますか？	接続しているネットワークの設定を確認してください。
予期しないエラーが発生しました	—	カメラの電源を入れ直してください。
	—	ネットワーク管理者に問い合わせください。
予期しないエラーが発生しました	—	カメラの電源を入れ直してください。
	—	ネットワーク管理者に問い合わせください。

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード		
			64GB		
画質		SUPER FINE	FINE	NORMAL	
静止画	4:3	1040	1560	2490	
	RAW (非圧縮)	300			
	RAW (ロスレス圧縮)	590			
	RAW (圧縮)	880			
動画*	4K 2160	79分			
	FHD 1080	79分			

*ビットレートが工場出荷時の設定の場合。

- 
 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります (p.70)。
- 32GB以下のメモリーカード使用時は、ビットレート設定に応じて動画ファイルが分割されることがあります。その他のメモリーカード使用時でも、1時間以上の長時間動画を連続して撮影した場合に動画ファイルが分割されて記録されることがあります。ファイル分割時も動画撮影は一時中断することなく続きます。

主な仕様

システム	
製品名	FUJIFILM GFX100S II
製品型番	FF230002
有効画素数	約 1 億 200 万画素
撮像素子	43.8mm × 32.9mm BA、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード（弊社推奨品）
メモリーカードスロット	SD カード × 2（UHS-II 対応）
記録方式	<ul style="list-style-type: none">• 静止画：DCF2.0 準拠• 圧縮：Exif Ver.2.32 JPEG 準拠 / DPOF 対応、HEIF 対応（4:2:2 10bit）• 非圧縮 / ロスレス圧縮 / 非可逆圧縮：RAW（RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要）、RAW+JPEG 記録あり、TIFF（RGB）• 動画：HEVC/H.265、H.264、ProRes 規格準拠• 音声（ボイスメモを含む）：<ul style="list-style-type: none">- LPCM（2ch：24bit 48kHz サンプルング）- AAC（MP4 記録時のみ）• 音声（XLR マイクアダプター使用時）：<ul style="list-style-type: none">- LPCM（2ch：24bit 48kHz サンプルング、4ch：24bit 48kHz サンプルング）- AAC（MP4 記録時のみ、2ch：16bit、48kHz サンプルング）

システム																											
記録画素数	<table border="0"> <tr> <td>L 4:3 (11648 × 8736)</td> <td>L 65:24 (11648 × 4304)</td> </tr> <tr> <td>L 3:2 (11648 × 7768)</td> <td>L 5:4 (10928 × 8736)</td> </tr> <tr> <td>L 16:9 (11648 × 6552)</td> <td>L 7:6 (10192 × 8736)</td> </tr> <tr> <td>L 1:1 (8736 × 8736)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 4:3 (8256 × 6192)</td> <td>M 65:24 (8256 × 3048)</td> </tr> <tr> <td>M 3:2 (8256 × 5504)</td> <td>M 5:4 (7744 × 6192)</td> </tr> <tr> <td>M 16:9 (8256 × 4640)</td> <td>M 7:6 (7232 × 6192)</td> </tr> <tr> <td>M 1:1 (6192 × 6192)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S 4:3 (4000 × 3000)</td> <td>S 65:24 (4000 × 1480)</td> </tr> <tr> <td>S 3:2 (4000 × 2664)</td> <td>S 5:4 (3744 × 3000)</td> </tr> <tr> <td>S 16:9 (4000 × 2248)</td> <td>S 7:6 (3504 × 3000)</td> </tr> <tr> <td>S 1:1 (2992 × 2992)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RAW (11808 × 8754)</td> <td>TIFF (11648 × 8736)</td> </tr> </table>	L 4:3 (11648 × 8736)	L 65:24 (11648 × 4304)	L 3:2 (11648 × 7768)	L 5:4 (10928 × 8736)	L 16:9 (11648 × 6552)	L 7:6 (10192 × 8736)	L 1:1 (8736 × 8736)		M 4:3 (8256 × 6192)	M 65:24 (8256 × 3048)	M 3:2 (8256 × 5504)	M 5:4 (7744 × 6192)	M 16:9 (8256 × 4640)	M 7:6 (7232 × 6192)	M 1:1 (6192 × 6192)		S 4:3 (4000 × 3000)	S 65:24 (4000 × 1480)	S 3:2 (4000 × 2664)	S 5:4 (3744 × 3000)	S 16:9 (4000 × 2248)	S 7:6 (3504 × 3000)	S 1:1 (2992 × 2992)		RAW (11808 × 8754)	TIFF (11648 × 8736)
L 4:3 (11648 × 8736)	L 65:24 (11648 × 4304)																										
L 3:2 (11648 × 7768)	L 5:4 (10928 × 8736)																										
L 16:9 (11648 × 6552)	L 7:6 (10192 × 8736)																										
L 1:1 (8736 × 8736)																											
M 4:3 (8256 × 6192)	M 65:24 (8256 × 3048)																										
M 3:2 (8256 × 5504)	M 5:4 (7744 × 6192)																										
M 16:9 (8256 × 4640)	M 7:6 (7232 × 6192)																										
M 1:1 (6192 × 6192)																											
S 4:3 (4000 × 3000)	S 65:24 (4000 × 1480)																										
S 3:2 (4000 × 2664)	S 5:4 (3744 × 3000)																										
S 16:9 (4000 × 2248)	S 7:6 (3504 × 3000)																										
S 1:1 (2992 × 2992)																											
RAW (11808 × 8754)	TIFF (11648 × 8736)																										
レンズマウント	FUJIFILM G マウント																										
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：ISO80～12800 (1/3 段ステップ)、AUTO1～3 ISO40、25600、51200、102400 は拡張モード 動画：ISO 100～12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO25600 は拡張モード 																										
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> TTL256 分割測光 マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点 																										
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル																										
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：-5EV～+5EV (1/3 段ステップ) 動画：-2EV～+2EV (1/3 段ステップ) 																										

システム

シャッタースピード

- **メカニカルシャッター／電子先幕シャッター**
 - P/A モード時：30 秒～ $1/4000$ 秒
 - S/M モード時：60 分～ $1/4000$ 秒
 - バルブ：最長 60 分
- **電子シャッター／メカニカル+電子／電子先幕シャッター+電子**
 - P/A モード時：30 秒～ $1/16000$ 秒
 - S/M モード時：60 分～ $1/16000$ 秒
 - バルブ：最長 60 分



連写時は設定されるシャッタースピードの範囲が異なる場合があります。

連写

選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG

連写モード	メカニカルシャッター	電子シャッター
CH 高速連写	7.0、5.0	3.0*
CL 低速連写	2.0	

* 35mm フォーマットモードのときは 4.1 コマ



連写速度と連続記録枚数は、撮影環境やご使用のメモリーカードによって変わります。

フォーカス

- **モード**：シングル AF、コンティニューアス AF、マニュアルフォーカス (リング回転式)
- **AF 方式**：インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF)
- **AF フレーム選択**：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング、オール

ホワイトバランス

オート (ホワイト優先、AUTO、雰囲気優先)、カスタム 1～3、色温度 (ケルビン値) 設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中

セルフタイマー

- **静止画**：OFF、2 秒、10 秒
- **動画**：OFF、3 秒、5 秒、10 秒

フラッシュ発光モード

- **モード**：TTL (フラッシュ発光 AUTO, スタンダード、スローシンクロ)、マニュアル、マルチ、OFF
- **同調モード**：先幕、後幕、AUTO FP (ハイスピードシンクロ)
- **赤目補正**：赤目抑制発光、OFF

システム	
ホットシュー	あり (TTL フラッシュ対応)、同調シャッタースピード $1/125$ 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/125$ 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー (EVF)	0.5 型有機 EL ファインダー、約 576 万ドット、ファインダー倍率 0.84 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m^{-1} のとき)、対角視野 約 40 度 (水平視野 約 32 度) <ul style="list-style-type: none"> 視度調節: $-5\text{m}^{-1} \sim +3\text{m}^{-1}$ (dpt) アイポイント: 約 24mm
液晶モニター (LCD)	<ul style="list-style-type: none"> 背面: 3.2 型カラー液晶モニター、約 236 万ドット、3 方向チルト式、タッチパネル付き 天面: 1.80 型 memory LCD、303 × 230 ドット
動画 (ステレオ音声付き)	<ul style="list-style-type: none"> 画像サイズ: 4K 16:9、5K 17:9、FHD 16:9、FHD 17:9 フレームレート: 59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P 記録 / 出力形式: <ul style="list-style-type: none"> H.265 (MOV、4:2:2 10bit/4:2:0 10bit、720/360/200/100/50Mbps) H.264 (MOV/MP4、4:2:0 8bit、360/200/100/50Mbps) ProRes 422 HQ / ProRes 422 / ProRes 422 LT (MOV、4:2:2 10bit) HDMI 出力対応 (Atomos 社製外部レコーダーおよび Blackmagic 社製外部レコーダー用 RAW 出力に対応、4:2:2 8bit/4:2:2 10bit)

入出力端子

マイク入力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
ヘッドホン出力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
リモートリリース端子	φ 2.5 mm 3 極ミニジャック
デジタル入出力	USB 端子 : USB Type-C® USB 10Gbps PRODUCT supports USB Power Delivery
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)

電源部、その他

電源 充電式バッテリー NP-W235 (付属)

バッテリー作動可能
枚数 / 時間の目安

- バッテリー：NP-W235
- レンズ：GF63mmF2.8 R WR 使用
- クリップオンフラッシュ：非装着
- 撮影モード：Pモード
- オートパワーセーブ：ON

静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト ^{*1}	約 470 枚	約 390 枚
ノーマル	約 530 枚	約 470 枚

1回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
4K ^{*2}	約 80 分	約 120 分
FHD ^{*3}	約 70 分	約 120 分

*1 パフォーマンスが EVF 表示フレームレート優先の場合

*2 フレームレート 29.97fps の場合

*3 フレームレート 59.94fps の場合

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなり、時間は短くなります。

電源部、その他

本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	150.0mm × 104.2mm × 87.2 (44.0°) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
本体質量	約 802g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
撮影時質量	約 883g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	<ul style="list-style-type: none">• 温度：-10℃～+40℃ (バッテリー充電時：+5℃～+40℃)• 湿度：10%～80% (結露しないこと)

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none">• イスラエル、インドネシア ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch)• アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、中国、インド、韓国、マレーシア ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch) ：5180 MHz～5320 MHz (W52、W53) ：5745 MHz～5825 MHz (UNII-3)• EU 加盟国、イギリス、日本、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、レバノン、ウズベキスタン ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch) ：5180 MHz～5320 MHz (W52、W53) ：5500 MHz～5700 MHz (W56)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402MHz～2480MHz

バッテリー NP-W235

公称電圧	7.2V
公称容量	2350mAh
定格容量	2200mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	38.92mm × 22.8mm × 52.26mm
質量	約 79g

AC パワーアダプター AC-5VJ

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	MAX 50VA
定格出力	DC5.0V MAX 3A
使用温度	0℃～+ 40℃
質量 (本体のみ)	約 45g ± 2g

 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

- 2 画面表示、22
- 2 画面モード表示設定、322
- 4ch 音声再生、314
- 35mm フォーマットモード、170

【A～Z】

- A** (絞り優先撮影)、78
- AE/AF-LOCK 設定、334
- AE/AF ロック、108
- AEL** (AE ロック) ボタン、109
- AE ブラケットिंग、112
- AE ブラケットिंग設定、167
- AE ロック、108
- AF+MF、155, 199
- AF-ON、361
- AF-C カスタム設定、145, 197
- AF (オートフォーカス)、90
- AF 警告、10
- AF 合焦音量、311
- AF ロック、108
- AFON** ボタン、109
- AF ポイント表示、149
- AF 補助光、173, 190
- AF モード、93, 144, 196
- AF モードオール設定、144
- ATOMOS AirGlu BT、209
- AUTO 設定、105
- AWB-LOCK 設定、335
- Bluetooth ON/OFF、292
- Bluetooth 機器一覧、291
- Bluetooth/ スマートフォン設定、291
- BULB** (バルブ撮影)、81
- C** (AF-C)、91, 94, 145, 157, 197
- CH 設定、174
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、20, 214
- DNS サーバー、264, 268
- DPOF 指定、236
- DRIVE** ボタン、8
- D レンズ優先、133, 220
- EVF (ファインダー)、14, 18
- EVF 明るさ、20, 315
- EVF 鮮やかさ、20, 315
- EVF 色調整、316
- EVF タッチパネル有効範囲、31, 338
- Fn** (ファンクション) ボタン、357
- F-Log/HLG 撮影、183
- F-Log ビューアシスト、320
- Fn1** ボタン設定、336
- Frame.io、265
- Frame.io Camera to Cloud、295, 387
- FTPS、299
- FTP オプション設定、298
- FTP サーバー、272
- FTP 転送のキャプション、298
- FTP パワーセーブ、299
- FUJIFILM instax SHARE、237, 256, 295
- FUJIFILM Pixel Shift Combiner、119, 387
- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in、386
- FUJIFILM X Acquire、283, 386
- FUJIFILM X RAW STUDIO、282, 387
- HDMI、62, 181
- HDMI ケーブル、62
- HDMI 出力設定、181
- HDMI 出力情報表示、181
- HDMI タイムコード出力、209
- HDMI レックコントロール、181

- HEIF、127
 - HEIF を JPEG/TIFF に変換、221
 - instax プリンター接続設定、295
 - instax プリンタープリント、237, 257
 - IPTC、345
 - IP アドレス、263, 267
 - ISO 感度、104, 169, 187
 - ISO ブラケットリング、111
 - JPEG/HEIF 選択、127
 - LCD (液晶モニター)、11, 16, 18, 31
 - LCD 明るさ、20, 317
 - LCD 鮮やかさ、20, 317
 - LCD 色調整、317
 - LED ライト設定、173
 - MENU/OK** ボタン、29, 124, 192, 218, 304
 - MF アシスト、156, 199
 - MF アシストフォーカスリング連動、156, 199
 - M** (マニュアルフォーカス)、99
 - P** (プログラム撮影)、58, 74
 - P、S、A、M** 撮影、74
 - ProRes、180
 - Q** (クイックメニュー) ボタン、351
 - RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIC、385
 - RAW 画像、125
 - RAW 記録方式、126
 - RAW 現像、219, 282, 385, 386, 387
 - RAW 出力設定、182
 - REC 開始終了音量、312
 - REC 枠表示、189
 - SD/SDHC/SDXC メモリーカード、46
 - S** (シャッタースピード優先撮影)、76
 - S** (AF-S)、91, 93, 157
 - SSD、47
 - S.S. 操作設定、332
 - T/S レンズ、368
 - TTL、372
 - TTL-LOCK、173, 361
 - TTL-LOCK モード、173
 - USB カードリーダー、250
 - USB 給電 / 通信設定、300
 - USB ケーブル、51
 - VIEW MODE 設定、18, 315
 - WB シフト、135, 220
 - XLR マイクアダプター、69
 - XLR マイクアダプター設定、206
 - X RAW STUDIO、282, 387
- 【あ】**
- アイカップ、12
 - アイセンサー、18, 19
 - 赤目補正、172, 369
 - アクセスポイント、262
 - 圧縮方式、179
 - 後幕シャッター、371, 374, 377
 - アドレス、263, 267, 301
 - アベレージ (測光)、106
 - 位置情報記録、346
 - 位置情報表示、326
 - 色温度、136
 - 色空間、139, 220
 - インジケーターランプ、10, 190, 242
 - インターバルタイマー撮影、164
 - インターバルタイマー撮影間隔優先、166
 - インターバルタイマー撮影露出平準化、166
 - ウィザードで登録、284
 - ウェブフォーム / ベクトルスコープ、188
 - ウェブカメラ、255
 - 液晶モニター (LCD)、11, 16, 22
 - エリア設定、305
 - オートフォーカス (AF) 撮影、90
 - オプション品 (別売アクセサリ)、382

お手入れについて、403
オーディオ設定（撮影メニュー）、203
オートパワーオフ（自動電源 OFF）、339
オートパワーセーブ、341
オール（AF モード）、93, 94
音設定（セットアップメニュー）、311
温度保護機能、69

【か】

カードスロット設定、343
カードなしリリース、333
海外で使うとき、397
開始時間設定、207
外部フラッシュ（別売クリップオンフラッシュ）、369
外部マイク、69
外部マイクレベル設定、203
カウントアップ設定、208
顔検出 / 瞳 AF 設定、151, 198
拡大表示、98, 102, 217
風音低減、204
画質設定（撮影メニュー）、124, 192
画質モード、125, 220
カスタム 1 設定呼び出し、361
カスタム登録内容の自動更新、140, 191
カスタム登録 / 編集、140, 191
カスタムホワイトバランス、135
カスタムモード、84
画像回転、227
画像コピー、230
画像サイズ、124, 220
画像を選択して転送、296, 298
カメラで使えるソフトウェア・サービス、385
画面のカスタマイズ、322
カラー、138, 193, 220
カラークローム・エフェクト、131, 220
カラークローム ブルー、131, 220
感度（ISO 感度）、104, 169, 187
機内モード、290, 400
基本設定（セットアップメニュー）、304
キャッチライト、173
給電状態、50
距離指標、101
距離指標の単位、321
記録画素数、431
クイックメニュー（Q メニュー） ボタン、351, 354
クイックメニュー登録 / 編集、330
クイックメニュー背景設定、329
クリップオンフラッシュ、369, 370, 372
グレイン・エフェクト、130, 220
ゲートウェイ、264, 268
ケーブルプロテクター、5
減感（増感 / 減感）、220
言語、56, 307
高感度ノイズ低減、138, 194, 220
交換レンズ、39, 366
工場出荷時（リセット）、309
合焦マーク、92
コマ NO.（コマナンバー）、342
コマンダー設定、174
コマンダー（光通信）、375
コマンドダイヤル、9
コマンドダイヤル回転方向、332
コマンドダイヤル設定、331
コンティニュース AF（C）、91

【さ】

再生音量、314
再生時拡大倍率、321
再生時の表示画面、212
再生ズーム、217
再生方法、216
再生メニュー、viii, 218
先幕シャッター、371, 374, 377

- 撮影画像表示、318
- 撮影時 自動画像転送、292, 296, 298
- 撮影時の表示画面、14
- 撮影スタンバイモード、341
- 撮影設定 (撮影メニュー)、162
- 撮影メニュー、iv, 123
- 撮影モード、7, 58, 66
- サブ液晶モニター、26
- サブ液晶モニター照明ボタン、28
- サブ液晶モニター設定、326
- サブ液晶モニター背景色、28, 329
- サブネットマスク、264, 267
- サマータイム、305
- 自動電源 OFF (オートパワーオフ)、339
- 自動電源 OFF 温度、341
- 視度調節ダイヤル、13
- 絞りリング、368
- 絞り値、74, 78, 80
- 絞り優先 (A) 撮影、78
- シャープネス、138, 194, 220
- シャッタースピード、74, 76, 80, 432
- シャッタースピード優先、76
- シャッター選択、141
- シャッター方式、168
- 周辺光量補正、143, 195
- 消去、64, 222
- ショートカット機能、348
- 消費電力設定 (セットアップメニュー)、339
- 情報表示、301
- 情報表示拡大 表示設定、325
- 情報表示拡大モード (EVF)、323, 325
- 情報表示拡大モード (LCD)、324, 325
- 情報表示コントラスト調整、325
- 情報表示の切り替え、20, 214
- 初期化、309
- 初期設定、54
- シングル AF (S)、91
- シングルポイント (AF モード)、93, 94
- シンクローミナル、369, 370, 371
- ズームリング、59
- スポット (測光)、106
- スマートフォン、171, 233
- スマートフォンアプリケーション、245
- スマートフォン位置情報同期、292
- スマートフォン送信時圧縮、293
- スマートフォンに画像転送、231
- スムーススキン・エフェクト、131, 220
- スローシンクロ、373, 377
- スロット切り替え、218
- スロット選択、343
- 静止画 (再生)、61
- 静止画 / 動画切替スイッチ、8
- 静止画 (プログラム撮影)、58
- 世界時計、306
- 接続セット、244
- 接続セット選択、289
- 接続セット登録 / 編集、284
- セットアップメニュー、ix, 303
- ゼブラ設定、187
- ゼブラレベル、187
- セルフタイマー、162
- セルフタイマー音量、311
- セルフタイマー設定保持、163
- セルフタイマー (動画)、177
- セルフタイマーランプ、163
- センサークリーニング、308, 403, 404
- 操作音量、312
- 操作ボタン・ダイヤル設定 (セットアップメニュー)、330
- 増感 (増感 / 減感)、220
- ゾーン (AF モード)、93, 94
- ゾーンエリア特性、147
- ゾーンカスタム設定、144

速度変化特性、146
測光、106, 167, 185
測光モード、106
測光&フォーカスエリア連動、157
ソフトウエア、385

[た]
ダイナミックレンジ、132, 193, 220
ダイナミックレンジ BKT、112
タイムコード設定 (撮影メニュー)、207
タイムコード同期設定、209
タイムコード表示、207
多重露出撮影、117
タッチパネル設定、337
タッチパネルモード、160, 201
タッチファンクション、34, 337, 362
縦 / 横位置 AF モード切替、148
縦横自動回転再生、321
縦横自動回転表示、20, 318
ダブルタップ拡大、337
タリーランプ、190
中央部重点 (測光)、106
長秒時ノイズ低減、139
著作権情報、344
データレベル設定、185
テザー撮影、258
デジカメプリント、236
デジタルスプリットイメージ、102, 156
デジタルマイクロプリズム、102, 156
デフォルトキャプション、345
手ブレ、59, 170, 186
テレビ接続 (HDMI 出力)、62
電源、52
電源 OFF 中の画像転送、293, 297, 299
電子先幕シャッター (シャッター方式)、168
電子シャッター音、313

電子シャッター音量、312, 313
電子シャッター (シャッター方式)、168
電子水準器、25
電子水準器設定、320
点像復元処理、139, 220
転送予約リセット、297, 299
動画クロップ倍率固定モード、182
動画再生、71
動画撮影、66
動画設定 (撮影メニュー)、70, 175
動画設定一覧、175
動画専用操作モード、33, 189
動画モード、176
同時消去、224
トーンカーブ、138, 193, 220
トラッキング (AF モード)、94
トリミング、224
ドロップフレーム、208

[な]
内蔵マイクレベル設定、203
長押し (MENU/OK ボタン)、15, 17, 338
長押し (Q ボタン)、354
長押し (再生ボタン)、61, 218
長押し (消去ボタン)、304
長押し (リアコマンドダイヤル中央)、9, 102
ナチュラルライブビュー、319
名前、292
日時設定 / 日時変更、56, 305
認証、310
ネットワーク / USB 設定初期化、301
ネットワーク / USB 設定メニュー、xii, 284

[は]
バージョンの確認方法、407
ハイスピードシンクロ (FP)、374, 377
発光モード、371, 372, 376

- パッシブモード、277
- バッテリー、41, 48, 53
- バッテリー劣化度、308
- パフォーマンス、340
- バルブ撮影、81
- 半押し AF、332
- 半押し AE、333
- ハンドグリップ、379
- ピクセルシフトマルチショット、119
- ピクセルマッピング、140, 194
- 被写界深度確認、79, 101
- 被写界深度スケール、158, 200
- 被写体検出 AF 設定、153, 198
- 被写体保持特性、146, 197
- ヒストグラム表示、24
- ビットレート、180
- 表示設定 (セットアップメニュー)、315
- 表示比率、238
- 標準撮影枚数 / 記録時間、429
- ピントの確認、101
- ファームウェアの更新、405
- ファイル形式、179, 220, 221
- ファイル形式選択、294, 298
- ファイル名編集、343
- ファンクション (Fn) 設定、331, 359
- ファンクション (**Fn**) ボタン、357
- フィルム シミュレーション、128, 192, 220
- フィルムシミュレーション BKT、112, 167
- ブースト、340
- フォーカス BKT、113
- フォーカス BKT 設定、113, 167
- フォーカス位置拡大、155
- フォーカスエリア、95, 97, 144, 196
- フォーカスエリア選択、93, 95, 144, 196
- フォーカス設定 (撮影メニュー)、144, 196
- フォーカスチェック、157, 200
- フォーカスチェックロック、202
- フォーカス点数切り替え、149
- フォーカスピーキング、103, 156, 199
- フォーカスポイント循環、149, 197
- フォーカスマップ、103
- フォーカスメーター、103
- フォーカスモード、91
- フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、158
- フォーカスリミッター、159, 200
- フォーカスリング、334
- フォーカスリング操作、334
- フォーカスレバー、6, 330
- フォーカスレバー設定、330
- フォーマット (初期化)、304
- フォトブックアシスト、234
- フォルダ選択、344
- ブラケットिंग、112
- ブラケットिंग撮影、110
- フラッシュ機能設定、172
- フラッシュ設定 (撮影メニュー)、172
- プリ AF、150
- フリッカー低減、169
- フリッカーレス S.S. 設定、169, 185
- プリント予約 (DPOF)、236
- フレーミングガイド、320
- フレーム間ノイズリダクション、194
- ブレ防止モード、170, 186
- ブレ防止モードブースト、186
- プロキシサーバー、277
- プロキシ設定、181
- プログラム (**P**) 撮影、58, 74
- プログラムシフト、75
- プロテクト、226
- フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、9, 331
- ペアリング、291
- 別売アクセサリ、382

ヘッドホン音量、205
ボイスメモ設定、228
保存設定 (セットアップメニュー)、342
ホワイトバランス、134, 193, 220
ホワイトバランス BKT、111

【ま】

マイク端子設定、204
マイクレベルリミッター、204
マイメニュー (マイメニュー設定)、307, 349
マウントアダプター設定、141, 195
マニュアル (M) 撮影、80
マニュアル時モニター露出 /WB 反映、83, 319
マニュアルフォーカス (M)、99
マルチ再生、217
マルチ (測光)、106
無線通信周波数設定、294
銘板プレート、6
明瞭度、139, 220
メカニカルシャッター (シャッター方式)、168
メディア記録設定、178
メモリーカード、43, 45
メモリーカードスロットカバー、6
モードダイヤル、7
モノクローム カラー、130, 192, 220

【ら】

リアコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、9, 331
リサイズ、225
リセット、309
リモートリリース、83
ルート証明書、297, 299
レーティング、229
リリース優先 (リリース優先 / フォーカス優先)、158
レンズ (取付)、39
レンズ (交換レンズ)、366
レンズキャップ、367
レンズフード、367
レンズなしリリース、333
レンズ登録、141
ローカットフィルター、205
露出補正、107
露出補正ボタン設定、335
ロック、338

【わ】

ワイド (AF モード)、93
ワイヤレス通信、171, 191, 233
ワンプッシュ AF 時の動作、157, 200

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

デジタルカメラ Q&A または本書の「トラブルシューティング / FAQ」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

デジタルカメラ Q&A :

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 修理 / メンテナンスのご依頼は、下記 Web サイトよりお申込みください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>
- Web サイトからお申込みが出来ない場合は、本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付し、修理をご依頼ください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、必要事項に記入をお願いします。
なお、見積は有料となる場合があります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品などに交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご利用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客さまの個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。

- お問い合わせ時あるいは修理依頼時にお客さまからご提供いただいた、お客さまのお名前・住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報は、以下に定める目的の範囲内で利用いたします。
 - ① お客さまからいただいたお問い合わせに対する回答
 - ② 修理・サポート及び関連する製品・サービスの情報提供
 - ③ お客さま対応品質向上のため、及び製品・サービスに関する企画、開発、販促、その他事業活動のためのアンケート調査の実施
 - ④ 製品カタログなどの資料発送
 - ⑤ 個人情報保護法その他法令で認められた利用目的
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩などの事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- お問い合わせいただいた内容により、当社製品・サービスを提供する当社関係会社にて対応することが適切と当社で判断した場合、上記利用目的の範囲内でお客さまの個人情報を当社関係会社に開示することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社における個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご覧ください。
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/privacy>
- お問い合わせ時あるいは修理依頼時の内容などにつきましては、個人を特定できないよう統計的なデータに加工した上で、サービス向上のために利用いたします。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせなどは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは富士フィルムイメージングプラザにお願いいたします。

修理依頼票

- ※ あらかじめ「個人情報の取扱いについて」または「[プライバシーポリシー](#)」をご確認ください。
- ※ 点検・修理時に各種設定が工場出荷状態に戻る可能性がございます。
- ※ 本紙は A4 サイズ（推奨）の用紙に印刷またはコピーしてお使いください。
- ※ 保証期間内の場合は、保証書と購入日の分かる納品書等を添付してください。
- ※ 下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

プライバシーポリシーはこちら



フリガナ			電話番号	
お名前			携帯番号	
			FAX 番号	
フリガナ				
Eメール アドレス	<small>※読み間違えやすい英文字、数字（ゼロとオー、小文字のエルと大文字のアイなど）はフリガナをご記入ください。</small>			
ご住所 ※建物名も ご記入 ください。	〒 ー <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社			
製品名 (型番)		ボディ番号 (機番) <small>保証書あるいは本体に記載 してある8桁の番号です。</small>		
見積連絡	<input type="checkbox"/> 要 (修理金額 円以上の見積り)		<input type="checkbox"/> 不要	
連絡方法	<input type="checkbox"/> SMS <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX			
故障症状 (故障時の様子)				
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再依頼 (前回修理依頼： 年 月)			
発生 状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> まれに <input type="checkbox"/> 1 回のみ		
	他機との接続	<input type="checkbox"/> スマホ接続時 <input type="checkbox"/> テザー撮影時 <input type="checkbox"/> 外部フラッシュ使用時		

- 本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX
03-6625-2809 050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



- 修理に関するご相談受付窓口は・・・

富士フイルム修理サービスセンター

TEL 0570-04-1040

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX
03-6625-2810 050-3786-2040

- 修理品の送付先
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1

※修理に関するサービス内容、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>



- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

